

めて大なりといつてよからう。職業選定には亦かゝる事も考慮に入るべきものなる事は明である。

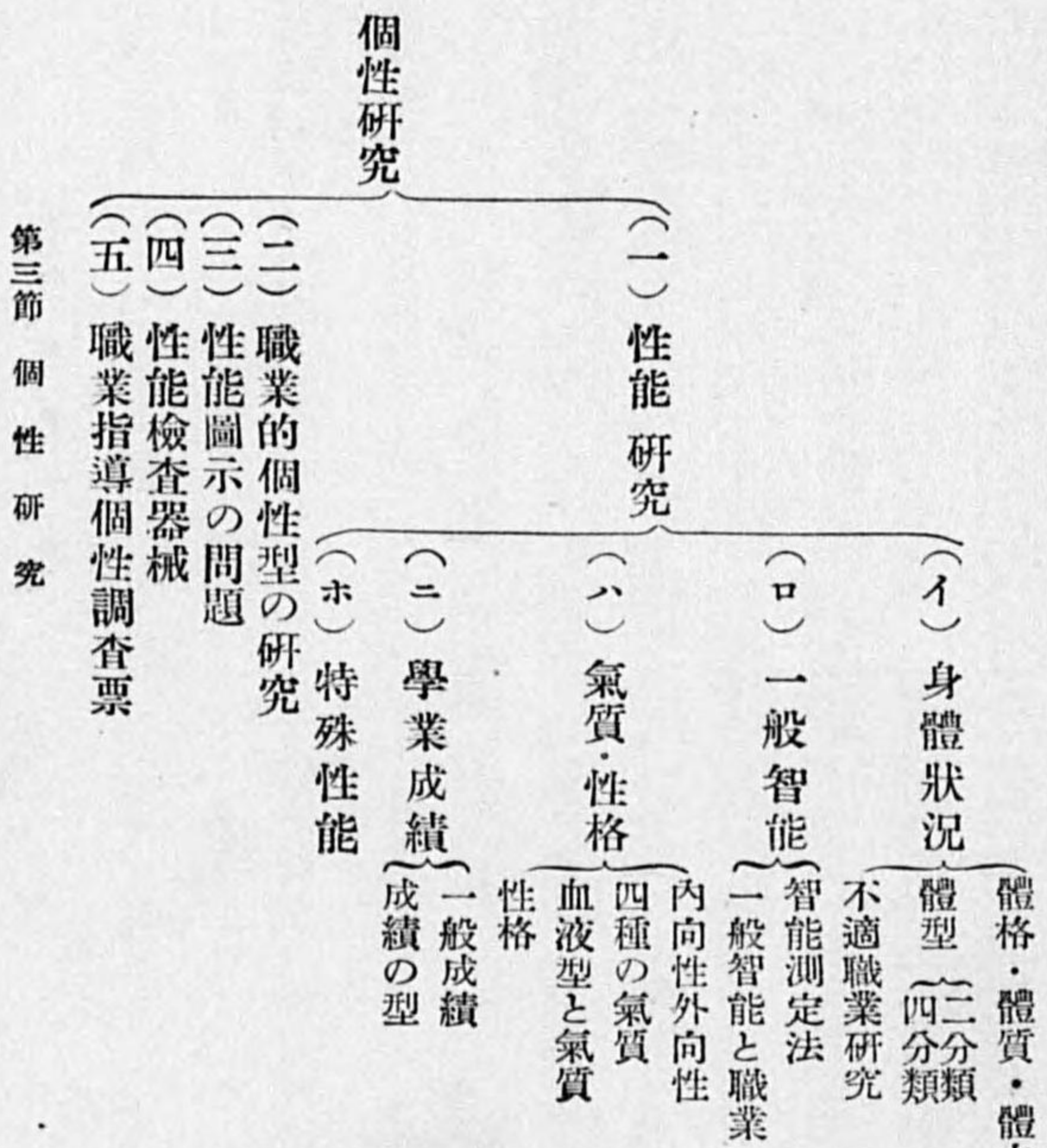
(八) 其の他

男女の性による職業選定の考慮や、年齢即ち適期による考慮や、地方的郷土的色彩による考慮や正業と副業との関係による考慮や、將來住居の本據を定めるために考へねばならぬ條件がある。屢々述べた通り職業選定は人間一生に於ける重大な機會である。充分研究して十分の満足を得るやう計らねばならぬ。

第三節 個性研究

職業を選定するに當り最も大切な條件は個性を研究するといふ事と、職業を研究するといふ事とである。この双方が充分に理解された時始めて適材だ、適職だといふ事が考へられ決定される。ところがこの個性研究といひ職業研究といひ共に非常に難事で中々容易ではない。一般の研究も亦極めて幼稚の状態にある。隨て茲に報告するのもそれ等の研究の中から比較的よく纏まつたもので一

般の参考になると考へらるゝもののみについてある。個性調査法に就ては昭和三年に発表した拙著「實際的個性調査法」(東洋圖書株式合資會社發行)を参照されん事を望む。
本節の研究を豫め概観し易い爲めに一覽表にして見ると次の表の様になる。



(一) 性能研究

職業指導より見た性能では身體狀況・一般智能・氣質性格・學業成績・特殊性能等が其の研究の對照となる。

(イ) 身體狀況

身體狀況に就て攻究すべきは體格・體質・體力・疾病・感官の五方面である。體格とは云ふまでもなく身體の大きさで身長・體重・胸圍・坐高・下肢長・肢極等これに含み、體質とは淋巴分泌等の機能に於ける特異の状態で胸腺淋巴體質・發育不全體質・滲出性體質・痛風神經質・神經病性體質・無力性體質・バセドウ氏病・肢端强大症・腺病質體質等幾つもの種類がある。體力は身體の力で神経系・消化器系・呼吸器系・循環器系等の強さも之れに含めて考へられる。又握力・肺活量・血壓・疲勞性等にもあらわれる力をいふ。疾病には一時性のものと慢性のものとなり、先天的のもの後天的のものとなり、奇形不具と稱すべきものもある。感官とはその文字の如く視覺・聽覺・嗅覺・味覺・觸覺等の故障の有無である。

職業の中には體格については何の制限も設けないものもあるけれども、非常の臂力や體力を要す

る力士や、一定以上の體力を要する軍人や、重き荷物を運搬しなければならぬ仲仕の如く相當以上の體格でないに到底つとまらないものもある。又仕事によると腺病質體質や滲出性體質や無力性體質の如く身體に彈力がなくてはうまくつとまらないものもある。色盲が色の見別けをなさねばならぬ職業を望んだり、色火で信號をする運轉手や航海士を望んでならぬ事は明瞭だし、難聽の者が音樂家とか樂器製造人や調律師を望んでならぬ事も明かである。其の他體力に於ても感官の故障の有無についても、必ず職業選定のとき考慮に入れねばならぬものである。それ等についての研究もあり進んで居ないが二三の参考になる資料がある。

〔體型〕體格體質により身體の構成に自らなる型があるといふ研究である。ドイツ流には二つの體型に分ける研究がある。一は狭身型で一は廣身型である。前者は瘠せ型で後者は肥え型である。

狭身型

廣身型

一般發育

長く細し

短く太し

一般形態

高く

低し

一般營養

瘦せてゐる

肥えてゐる

軀幹・四肢・頭

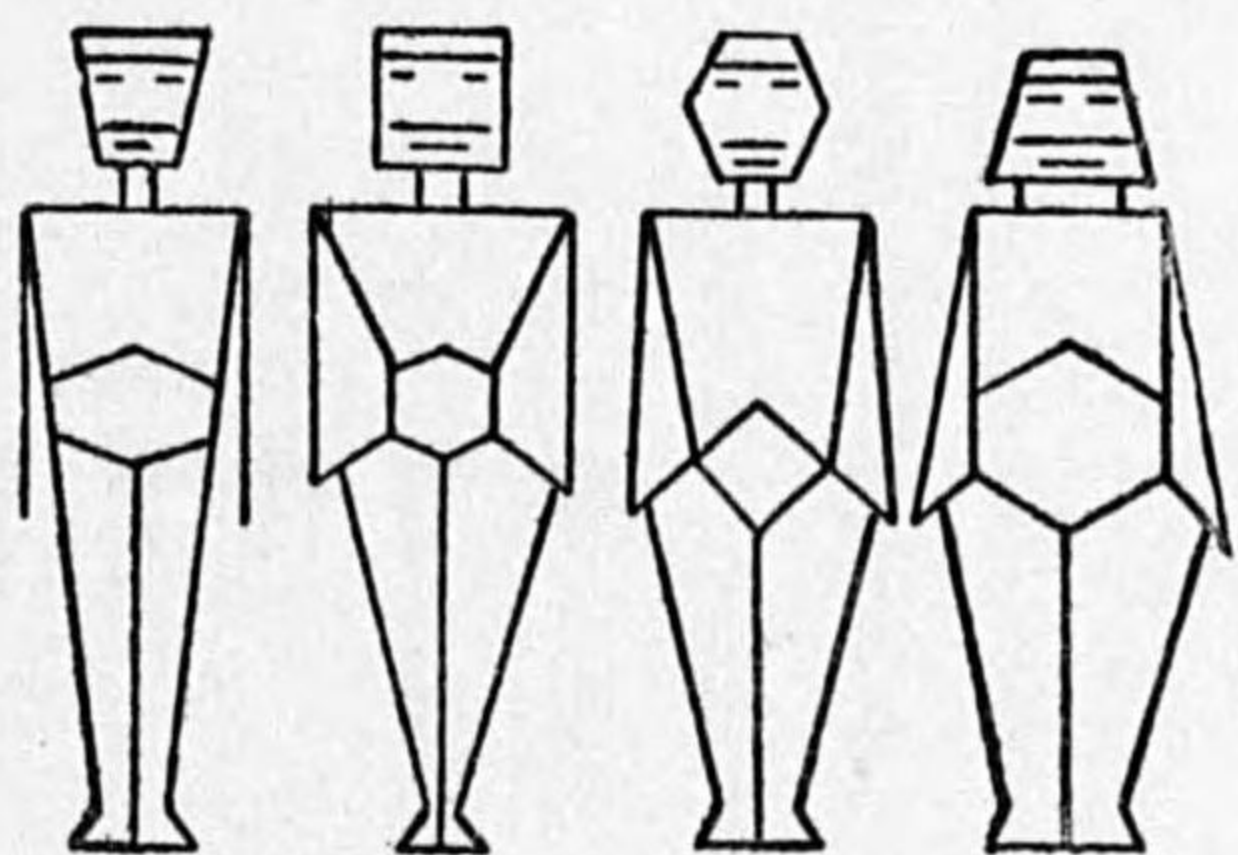
長く細し

短く太し

肩の形	撫肩	怒り肩
肩幅	狭い	広い
胸部	長くて狭くて薄い	短く広く厚い
胸圍	小	大
肋骨	急	緩
肋間	狭く	広い
胸骨下角	鋭	鈍
腹	小さく平坦	大きく膨隆
腹圍	胸圍より小	胸圍より稍小
臍高	中位	下位
骨盤	急	緩
臍	狭	廣
胸圍	胸圍より大	胸圍より小(男)
頭	長狭	短廣

顔	卵形	圓
額	狭くて高い	廣くて低い
眉	曲つてゐる	直だ
眼間	狭	廣
鼻	高く長く狭し	低く短く廣い
額	低	高
口	小し	大い
唇	厚い	薄い
頤	尖つて狭い	圓くて廣い
耳	狭くて薄い	廣くて厚い

フランス流には四つの體型を區別する。消化型・呼吸型・筋肉型・神經型はこれである。其の身體の形をあらわした畫がある。



消化型……………防禦方面

呼吸型……………攻撃方面

筋肉型……………運輸方面

神経型……………將校方面

- 1 消化型 胃腸が強く、消化力が強く大食家である。全身よく肥満し、下腹部著しく膨隆してゐる。口及び下顎部の發達よく、次の筋肉型に比較すると脂肪が多く柔く肥えて居る。人の七〇%之れに屬すといふ。中等度の力量を長く使ふに適する人である。
- 2 呼吸型 胸部の發達著しく、肺活量大、頸及び胸廓長き方、顴骨は突起して居る。人の四三%之に屬すといふ。飛行家や登山にも適する。

- 3 筋肉型 軀幹及び四肢の筋肉の發達著しく、肩膊等には筋肉が隆起してゐる。肩幅廣く、力量強く、男性的の身體を持つて居る。人の二四%之に屬すといふ。一時に大力を出す仕事に適する人である。

- 4 神経型 腦部の發達著しく顔面下部狭く、所謂瓜種顔をなし、四肢及軀幹部の筋肉發達悪しく、特に脚は小さい。一般に神経質で智能は優秀である。人の約一八%は之に屬するといふ。一時的の仕事に能率の高いたちの人である。

フランスでは歐洲戦争のとき應募した兵士を任務に別けるのにこの體型により、消化型は防禦方面に、呼吸型は攻撃方面に、筋肉型は運輸方面に、神経型は將校即ち支配階級に採用したといふ事である。この考へ方はよほど職業指導に參考になると思はれる。小學校兒童時代に於てはまだそれ程はつきり身體型はあらわれないから、職業指導に大して役には立たぬ。參考にする程度のものである。

「不適職業研究」東京市少年職業相談所の案に不適職業一覽がある。これは極めて參考になる。我等は適職指導に當りこんな研究物を大切な參考物としなければならぬ。以下大體載せよう。

一	二	三	四	五	六
全身の衰弱 作業	近視 充分ナル視力ヲ要スル 作業	色盲 色彩陰影等ヲ詳細ニ區 別スベキ作業	難聴 災害ノ危険多キ作業又 ハ耳ヲ使フ事多キ職業	發音障害 流暢ナル辯舌ヲ要スル 職業	味覺障碍 嗜好品製造等試食ヲ要 スル職業
不適當ナル作業ノ性質 強健ナル體力ヲ要スル 作業	不適當ナル作業ノ性質 精密機械工・時計工・複寫々眞工・交通從業員・食堂給仕・理髮師(刺 繡女工)	不適當ナル作業ノ性質 レンズ工・硝子工・硝子器具工・金銀細工工・象嵌細工師・染色工・皮 師・鞍製造職・敷物製造職・印刷工・着色石版工・オフセット印刷工・ 石版工・園丁・理髮師・海員・寫眞師・畫工(美容師・裁縫婦・美術工藝 女工・幼稚園保母)	不適當ナル作業ノ性質 災害ノ危険多キ作業又 ハ耳ヲ使フ事多キ職業	不適當ナル作業ノ性質 教師・商人・食堂給仕・辯士(女理髮師・女給・賣子・電話交換手)。	不適當ナル作業ノ性質 菓子工・料理人・食料品賣子(料理婦)。

七	八	九	一〇
嗅覺障碍 藥品化粧品料理等ニ關 係ヲ有スル職業	肺疾患 塵埃多キ作業、酸瓦斯 蒸氣等ヲ高温又ハ低温 中ニ扱フ作業及食物嗜 好品ヲ製造スル作業又 ハ他人ノ身體ニ接觸シ テ世話スルガ如キ職業	心臟病 重量作業危険災害ノ多 キ職業及常ニ立働ヲ要 スル作業	皮膚病 非常ナル塵埃ヲ發シ又 ハ酸及其他腐蝕品ニ接 觸シ家具嗜好品ノ製造 又ハ直接身體ニ觸ル物 品ノ製造及他人ニ接觸 スル作業
化粧品屋・藥劑師・料理人	鑪工・鑄型工・鑄造工・輾轆工・電氣工・器具工・鋳力工・機械工・旋盤 工・レンズ工・錠前工・鍛冶工・時計工・車大工・桶職・機械工・皮揉工 鞍製造工・敷物工・毛皮工・靴工・金細工工・彫刻師・木彫工・指物師・ 製陶工・籠工・鍍金工・硝子工・硝子磨工・製本工・植字工・腐蝕版工・ 印刷工・畫工・大工・左官・石磨工・煙突掃除工・農夫・園丁・門番・理 髮師・賣子・食堂給仕・料理人・麵麩燒工・動力車手(看護婦・農婦・紡 績女工・裁縫婦・洗濯婦・女賣子・女理髮師・美容婦・女給・家政婦・看 護婦・乳兒保母)。	園丁・鑪工・鑄型工・鑄造工・金屬印刷工・鍛冶工・釜鍛冶・皮揉工・桶 職・大工・石磨工・料理人・動力車手・飛行家。	電池工・鋳力工・敷物工・旋盤工・菓子工・化學工・印刷工・塗工・釀造 工・家具工・鍍金工・染色工・鞍製造工・ブラシ工・毛皮工・左官・ペン キ職・煙突掃除夫・石磨工・麵麩燒工・彫刻師・寫眞師・藥劑師・齒科 技工・理髮師・賣子・食堂給仕・料理人(洗濯婦・家政婦・女給・幼稚園 保母・看護婦)。

一一 惡 臭	客ニ接スル職業 手ヲ以テ他人ノ皮膚ニ接觸スル作業、家具及飲食物ヲ取扱フ職業及汗脂ニテ損ジ易キ機械材料ヲ取扱フ職業	理髮師・食堂給仕・齒醫者(女理髮師・女給)。 鐵砲工・金細工工・器具工・機械工・レンズ工・旋盤工・時計工・電氣工・鍍金工・織物工・製木工・製帽工・仕立職・毛皮屋・理髮師・寫眞師・食堂給仕・料理人・齒科技工(女理髮師・美容婦・看護婦・裁縫婦)。
一二 膏 手	敏活ヲ要スル作業又ハ兩手ヲ要スル作業	鐵砲工・輾轆工・電機工・機械工・鑄造工・旋盤工・鍛前工・鍛冶工・金細工・器具工・時計工・織物工・製木工・鞍製造工・指物師・木彫師・硝子細工師・製帽工・仕立職・大工・左官・床屋・齒科技工・畫工(女理髮師・美容師・裁縫婦・幼稚園保母)。
一三 不 器 用	直立ヲ要スル作業及長途ヲ歩ムベキ職業	輾轆工・電機工・鑄造工・鑄造工・鍛前工・鍛冶工・旋盤工・鍍金工・植字工・製帽工・屋根職・農夫・樵夫・牧師・料理人・食堂給仕・理髮師・賣子・齒科技工・看護人・寫眞師(洗濯婦・女給・女賣子・女理髮師・看護婦)。
一四 脚 疾 (扁平足及下 肢血管症 ヲ含ム)	危險傷害ノ多キ職業 (練習ニヨリ動作方早クナレバ別)	鑄造工・鑄造工・造船工・左官・大工・屋根職・建築鋺力工・ペンキ職・煙突掃除夫・食堂給仕・賣子(女給・賣子)。
一五 身體的動作 不敏		

一六 癩 癩	階段ノ昇降、重キモノノ取扱、機械使用又ハ鋭尖ナルモノ、酸火等ヲ取フ職業即チ大部分ノ金屬機械工業、重量品取扱作業	鐵砲工・鑄造工・鑄造工・鍛工・鍛前工・鍛冶工・機械工・時計工・皮揉工・靴製造工・敷物工・印刷工・植字工・凸版工・指物師・建築鋺力工・屋根職・大工・左官・硝子磨・麵麩焼工・畫工・理髮師・食堂給仕・料理人(女給・看護婦)。
一七 レウマチス 性 體 質	屋外作業水ニ濡レ又ハ温度ノ變化多キ職業	農夫・漁師・園丁・桶職・左官・大工・石磨・染色土・皮揉工・製陶工・製帽工・バタ製造人・動力車手・兵士・料理人(農婦・洗濯婦・料理婦・女給)。
一八 脱 腸	重キ物ヲ揚ゲ又ハ支ヘル作業 (即チ腸壁ヲ緊張又ハ過重サセル職業)	輾轆工・鑄造工・鍛前工・鍛冶工・旋盤工・皮揉工・大工・左官・石磨工・桶職・指物師・車大工・麵麩焼工(看護婦)。

右研究はよほど盡して居る様であるけれども身體的故障の方もまだ色々考察すべきものがあり、不適職業の方にもまだ残つて居るものもある様に思はれる。眼だけについて考へて見てもこの表には色盲と近視とだけしかない。尙亂視もあり、夜盲もあり、視野の狭小一般の視力衰弱及び盲もある。耳にしても唯難聴のみでなく、平衡感の異常等も考へなければならぬ。もつと嚴密に言へば

難聴にも色々程度があり高度の難聴(聾)。中度の難聴、軽度の難聴もある。それにつれて不適性も考へられる。或は顔面や頭部に火傷其他傷痕のあるもの、或は片足跛行とか、左利等も考へねばならぬものであらう。職業の方にも飛行士とかアナウンサーとかラヂオ商とかの如き新しき職業が考へてない様である。

視力と職業との關係について、今一つ例をひくとフォンテイン氏の視力的職業分類といふのがある。觀察を基としての分類であるがどうも分類が正當か否かと思はれる點もある。一部分載せると次の通りである。

視力的職業分類 (男子職業)

優良視力 (〇、九以上)	普通視力 (〇、九—〇、四)	不良視力 (〇、四—〇、二)	劣等視力及盲 (〇、一以下)
兵士	屋根職	料理人	ブラシ製造工
海員	石工	パン職菓子職	籠編職
鐵道員	煉瓦積工左官	肉商	椅子張工
技師	鍛冶工	石炭商	按摩
速記者	指物工	ガラス製造工	マツサージ

植字工	鍼力工	袋張職	ピアノ調整者
寫真師	桶職	製函工	盲人教育者
眼鏡製作工	ペンキ職	農夫	
時計製作工	靴工	日傭人	
寶石商	理髮師		
美容師	ホテル給仕		
製圖家			
電氣工			

この外にラウベル氏の視力的職業分類とかアレキサンダー氏の聽力的職業分類等もある。何れも多少の參考にはなる。身體と職業との關係に就ての研究は大抵こんなものである。

(□) 一般智能

一般智能とか智的素質とかの言葉であらして居るが、人間には生れながらにして漸次外界の刺激にふれて智的になりゆく智的の先天的の能力があるとの假定を置く。これは一般心理學者の認めるところで又實際吾人の經驗も亦これを承認する。大して教へなくてもぐんぐんと理智的に發達す

る者があるかと思へば一方には教へても愚者である者もある。この差はどうしても先天的に原因があると見なければならぬ。

而してこの一般智能が職業と非常に深い関係を持つべき事は考へられる。極端をとれば非常の智能の低い者、白痴や白痴に近い者が政治家や學者やなどは到底つとまらないといふ一例だけでもわかる。そこで一般智能と職業との関係について少し研究する必要を認める。順序として一般智能の測定法についてざつと書く事にする。

〔智能測定〕一般智能を測定しやうとするのが所謂メンタルテスト (Mental Tests) で之れを精神検査とか智能査定とか智能測定、素質検査等色々な言葉で呼ぶ。測定の方法は大體二つの系統がある。一つはビネー式個人検査で他の一つはアーミーテスト式團體検査である。

ビネー式個人検査法といふのは例の名高い佛國の心理學者アルフレッド・ビネー (Alfred Binet) 氏が (一九一一年) 創案したものでこれが各國に譯され改訂された方法で個人別に行ふ法であるから個人検査といつて居る。其の系統のものでは米國のターマン法 (スタンフォード改訂法) は最も名高く、ゴッダード法・クルマン法、獨逸のポールツァハ法等も同じ流れである。我國では久保良英博士の大正十一年増訂査定法、大阪市案 (大正十三年) 等がこの流れのものである。方法は年

齡別に五種か六種位の問題が設定されて居て、これを試みて合格不合格によりて智能状態を伺はふとする方法である。極一例であるが大阪市案の一部を示すと。

第十九問 (六歳)

手指の数を言はしむること。

- (1) 右手指の数
- (2) 左手指の数
- (3) 兩手指の数

第二十問 (六歳)

四種の錢の名稱を言はしむること。

- (1) 一錢銅貨
- (2) 五錢白銅貨
- (3) 十錢白銅貨
- (4) 五十錢銀貨

第二十一問 (六歳)

紐結びをなさしむること。(手本を示して)

第二十二問 (六歳)

繪の中の遺漏を發見すること。

- (1) 眼の無い顔の繪
- (2) 鼻の無い顔の繪
- (3) 口の無い顔の繪
- (4) 手の無い顔の繪

第二十三問 (六歳)

右と左とを區別せしむること。

第二十四問 (七歳)

了解問題 (其の二)

- (1) 若しもあなたが學校へ出かける時に雨が降つて居たらどうしますか。
- (2) 若しもあなたの家が火事で燃えて居るのを見付けたらどうしますか。
- (3) 若しもあなたがどこかへ行かうとして電車に乗り後れたらどうしますか。

第二十五問 (七歳)

色の名稱を言はしむること。

赤、黄、青、綠

第二十六問 (七歳)

了解問題 (其の三)

- (1) 若しもあなたが何か人の物を壊した時にはどうしますか。
- (2) 若しもあなたが學校へ行く途中で、遅刻するかも知れないと氣が付いた時にはどうしますか。
- (3) 若しもあなたの友達がつかりしてあなたの足をふんだ時にはどうしますか。

第二十七問 (七歳)

菱形を模寫せしむること。

第二十八問 (七歳)

文章の反唱。

- (1) 昨日はお休みでございました。太郎さんは公園へ遊びに行きました。
- (2) 明日は運動會です。兄さんはさらの帽子を買ふて貰ひました。
- (3) お母さんはお仕事で忙しいです。私は人形と遊びました。

以上は一例で六歳兒検査七歳兒検査の部分を書いたものである。問題は第一問より第六十六問ま

で六十六あり、三歳児検査から十六歳児検査までにわたつて居る。而して一つ一つの問題には一々提出の方法に一定のきまりがあり一々の指示にもきまりがあり、採点にもきまりがある。其の法則を完全に守らなければ其の結果は正しいといふ事は出来ない。随て検査者は多少の心理學的素養とテストの意味の理解と方法の技術とを得て居なければならぬ。大阪市法の原著は

鈴木治太郎著 實際的^{個別的}智能測定法 東洋圖書株式合資會社 三・五〇にくわしい。久保博士の案も

我が國では最も信用を有するものである。これが原著は

久保良英 兒童研究所紀要 一、三、五 中文館 各二・六〇を見なければならぬ。

これ等はテストの結果一問一問に合格不合格が定まり、其の數によりて精神年齢が決定され、之れを生活年齢にて除して百倍して智能指數(智能率)が決定される。即ち

$$IQ = \frac{\text{精神年齢}}{\text{生活年齢}} \times 100 = \text{智能率}$$

(註 IQは Intelligence Quotient の略で智能率の事である)

生活年齢とは生れてこれまでの満年月數で精神年齢はテストの結果の精神發達の年齢であるから智能率一〇〇が平均の状態といふ事になり、百以上は漸次智能の働き方がよく、百以下は漸次悪い事になる。ターマンは智能率百四十以上は天才、百二十以上は最優秀、百十以上は優秀、九十以上

普通、八十以上劣等七十以上劣等境界線、七十より下低能、五十以上モロン(輕愚)。これ以下痴愚・白痴等の區別をして居る。

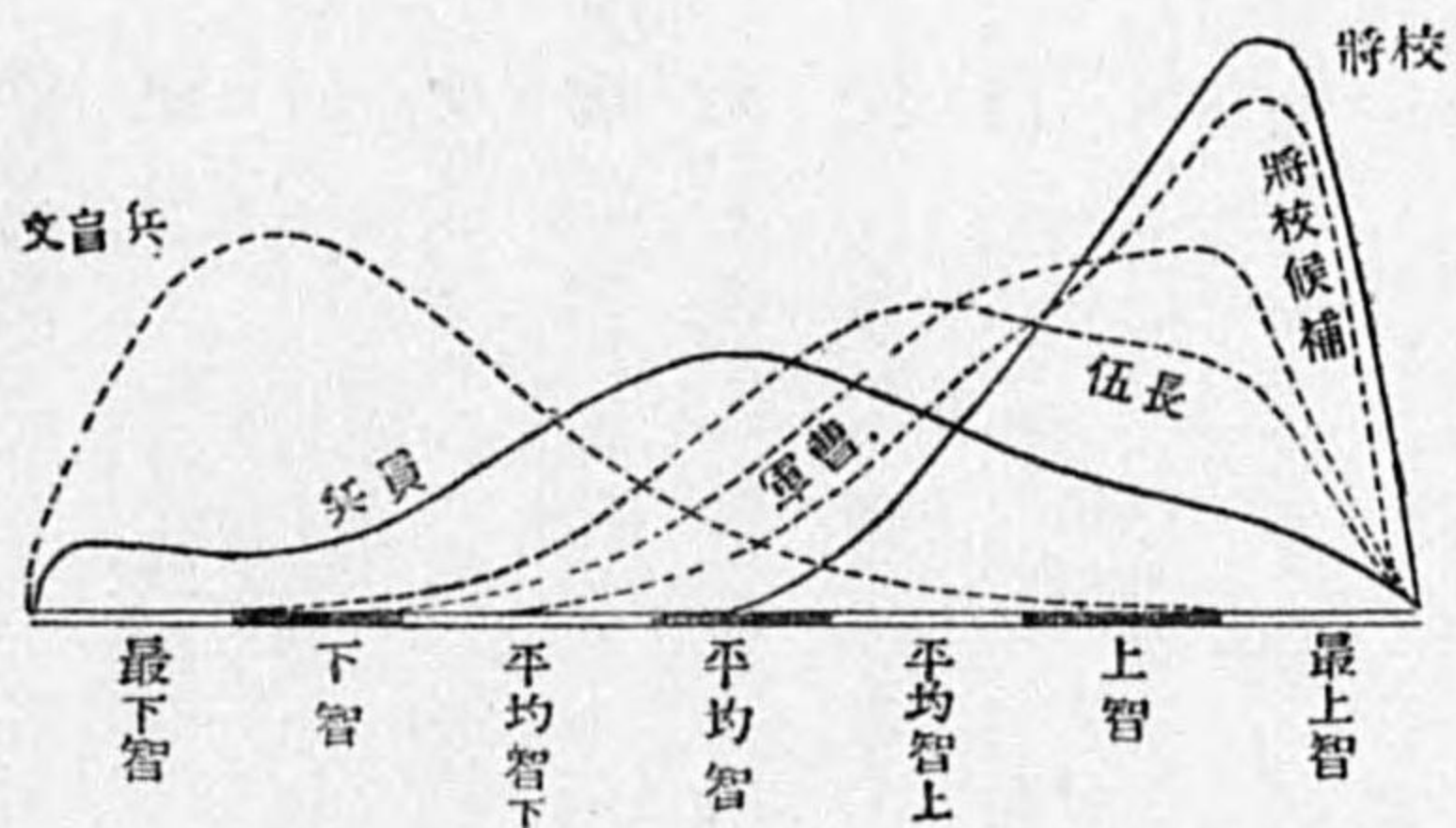
即ち智能の示し方に精神年齢、智能率、智能評語の三様ある事になる。即ち、兒童Aは生活年齢六歳五月であるが精神年齢は七歳十ヶ月、智能率は百二十二、智能評語では最優等といふの類である。以上がビネー式個人検査の大體である。次にアーミーテスト式團體検査について略述しやう。

アーミーテスト (Army Tests) とは軍隊検査のことで米國が歐洲戦争へ參加した時(一九一五)募集兵を選び分けて各其の適任へ就かしむるために作成したテストで百七十餘萬の兵士が總べてこの櫛を通過して、それ〳〵適所適所へ配分されたといふ事である。こゝに既に適材適所職業指導の概念が含まれて居る。初め八萬人ばかりに就て豫備實驗が行はれた。其の結果は次圖の如き結果を得たといふ。即ち將校の階級は最も智能高き者が多く、將校候補・軍曹・伍長・兵卒・文盲兵員と漸次智能の低い者が就いて居る事が明となつた。

このテストは多人數一齊に施行する事が出来るので團體検査 (Group tests) といふのである。これが刺戟となり、米國は委員を擧げ國費を以て國民一般誰もテスト出来る様なものを作成した。これが名高い國民智能検査 (National Intelligence Tests) である。次でターマンやホイップルやピン

トナー等もこれに獨立して團體テストを作成した。これが我國へも翻案されて色々の學者によつ

て工夫された。檜崎博士の一般素質検査、久保博士の國民智能検査、東京市の案、愛知兒童研究所の案、大伴茂氏の智能テスト等はこれである。何れも五種乃至十數種位のテストが印刷された用紙があり、それを被験者へ渡し一本の鉛筆で彼等の智能を見ようとするものである。



圖配分の等品能智るけに於に隊軍

幼稚園及尋常一年用、第二種は尋常二年三年四年用、第三種は尋常五年より高等二年までの兒童に適用されるものである。其の結果は神戸の兒童の智能分布状態を基としてその蓋然曲線を標準錯差

によりて十一分しこれを標準評點五〇から一五〇になる様にしたものである。だから矢張り一〇〇が平均智といふ事になり。其の兒童數及び分類は

標準評點	五〇	〇・二%	痴愚……………一・五%
同	六〇	一・三%	鈍才……………一六・五%
同	七〇	五・〇%	
同	八〇	一一・五%	
同	九〇	二〇・〇%	
同	一〇〇	二四・〇%	普通……………六四・〇%
同	一一〇	二〇・〇%	
同	一二〇	一一・五%	秀才……………一六・五%
同	一三〇	五・〇%	
同	一四〇	一・三%	
同	一五〇	〇・二%	天才に近きもの又は天才……………一・五%

大伴氏の智能テストの参考書

大伴茂著 教育診斷學 上 培風館發行 九・〇〇

〔一般智能と職業との關係〕一般智能と職業とは矢張り非常に高い相關々係にあるもので、智能の低い者は到底智能を要する職業は出来ない。之に反して智能の高い者が智能をあまり要しない仕事に就く事は人物經濟に於て不利益であるのみでなく、到底不平があつてつとまるものでない。矢張り適所適所に働いてこそ社會は平衡が保たれ平和が維持されてゆくのである。これについては色々な研究が上つて居てかなり参考になるものもある。次に二三の研究を参考に載せよう。

(イ) 米國軍隊検査に於て三萬六千五百人ばかりに就ての統計に於て職業的智能水準の表が發表されてゐる。

中 數	中央50%の分布範圍
35	21-63
39	23-67
41	23-68
42	24-70
43	22-79
44	25-70
45	26-83
48	23-81
49	28-79
53	35-83
53	31-78
54	29-83
55	27-84
57	33-85
58	33-85
59	33-82
61	33-86
62	40-84
62	38-87
63	41-88
63	41-89

職 業	中 數	中央50%の分布範圍	職 業
自動車運轉手	63	38-90	(非熟練勞働)
倉庫管理者	64	43-88	勞働者
警察官	64	44-89	(半技術勞働)
自動車組立工	65	44-97	製靴工
船 匠	66	49-95	馭者・馬丁
(事務(書記)的職業)			農園勞働者
電話交換手	70	58-99	理髮師
混凝土工監督	75	48-116	馬蹄工
寫真師	77	52-104	(技術的勞働)
電氣技手	82	53-110	鐵道工場職工
電信技手	84	59-107	煉瓦積工
鐵道書記	92	66-116	料理人
一般書記	96	74-123	麵麩焼工
機械技師	98	63-133	ペンキ塗工
書類係書記	99	78-126	鍛冶工
齒科醫	106	84-130	橋梁大工
機械製圖者	112	79-134	大 工
速記者	115	93-142	獸肉商
計算係	117	101-145	汽關車運轉手
(専門的職業)			機械工
土木技師	125	98-147	鐵道車掌
軍醫官	130	101-165	鉛管工
軍隊牧師	150	109-173	器具製作工
工兵將校	157	134-184	自動車修理工

(註) 右は軍隊検査の検査で測定したもので、この検査は八種の検査から成り、問題数が二百十

二問あり、約五十分を要するものである。中數や中央五〇%の分布範圍を示す點は右の満點を二一二としての點數である。職業により智能の高さとの間に關係のあることがわかる。右の表をまとめて大きな職業分類によつて智能の状態との關係を見ると

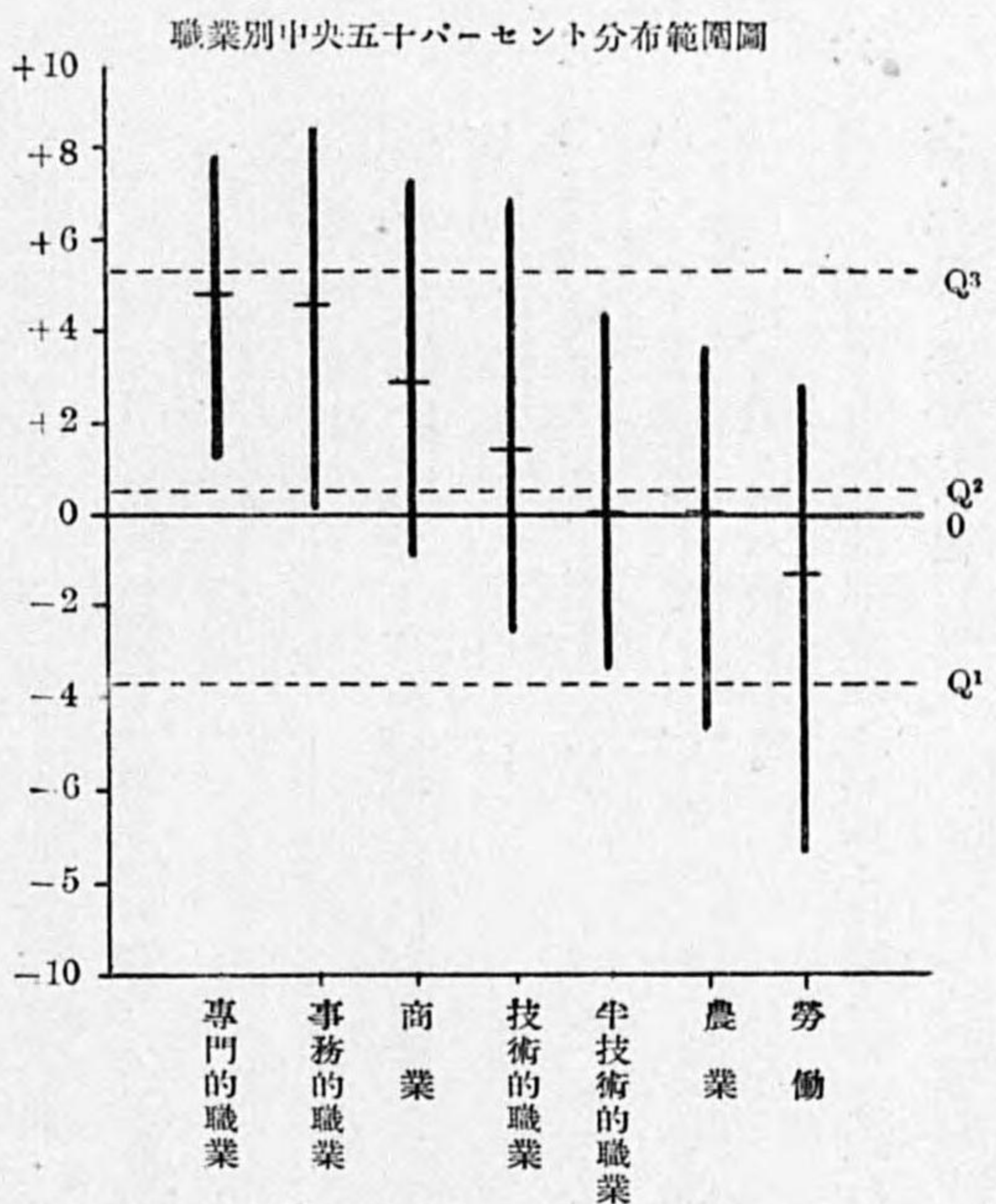
職業分類	中數	中央五〇%の分布範圍
筋肉労働	三五	二一——六三
半技術的労働	四二	二三——七〇
技術的労働	六一	二六——九五
事務的職業	九六	五八——一四五
専門的職業	一四〇	九八——一八四

(ロ) 我が國に於ても大正十三年に東京帝國大學心理學研究室、航空心理研究室が陸軍當局と協力して近衛師團及び第一師團の兵士約六千人について、性能検査を試みた、而して日本人大人の平均能力を検定しやうと企てた。検査は九種から成つて居た。右の中で入營前職業を持つた四千六百三十三人については職業別の智能標準をも得ようと思はれた。ところで農業の如きは二千人もあつたし、美術家の如きは唯一人しかなかつたので一々職業別の分類する事は不合理なので左の七種職業

範疇に纏められた。

- 一 専門的職業 (Profession) —— 教員・學者・宗教家・美術家・文士・新聞記者・その他。
- 二 事務的職業 (Clerical Works) —— 會社員・銀行員・事務員・その他。
- 三 商業 (Business) —— 商品の販賣交易に關する諸職業・之に伴ふ雜役の従業者並に被使用人例へば商店主・店員・販賣係。
- 四 技術的職業 (Technical Works) —— 精密なる器具機械を使用し、技術の熟練並に特殊の技術的知識を有する人々を必要とする諸職業例へば自動車組立工・電信技手・旋盤工・製圖工・時計工等。
- 五 半技術的職業 (Semi-skilled Labour) —— 精密なる器具機械を要せず、又高度の熟練或は知識を必要とせざる職業にして、しかも筋肉労働に非ざる製産加工作業従業者例へば指物職・仕立職・洗濯屋・靴鞣職・製本職その他。
- 六 農業 (Agriculture) —— 農耕・林産・牧畜その地之れに附帶する諸職業例へば農業・養蠶・養禽・養魚・林業その他。
- 七 勞働 (Muscular Labour) —— 純筋肉労働例へば人夫・人足・馭夫・船夫・鑛夫等。

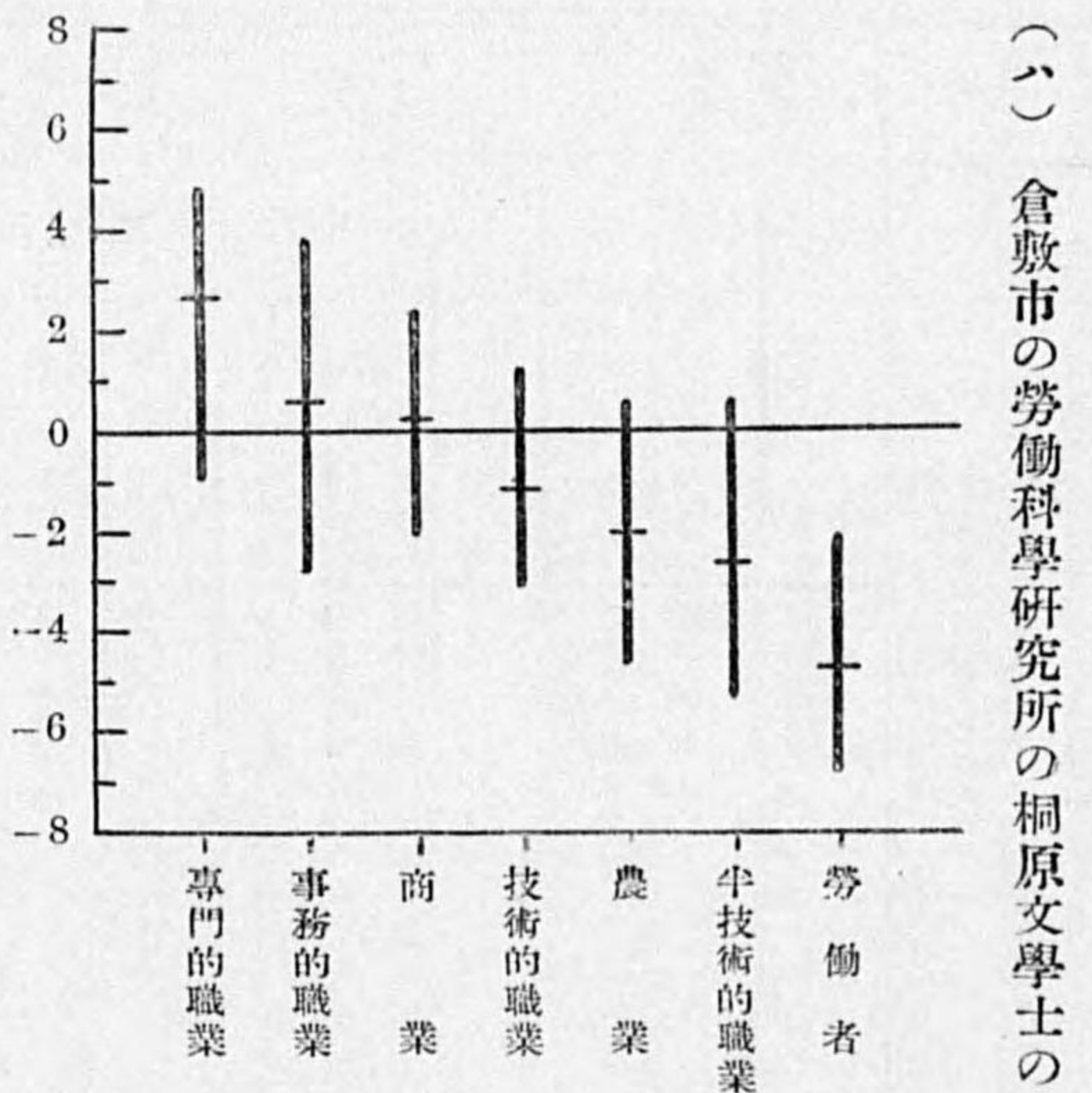
以上の如き職業範疇につき中央五〇%の知能分布範囲を四分位法により比較すると次の如き圖と



の性能と合して居た筈かといふ問題である。一般に入營前の若さに於て就職したものはまだ極めて不安定なもので或る意味に於て職業試験中に屬したものであることによる不正確である。これを補

なる。即ち右の順に一二三と智能が低くなるを見る。又勞働や農業などは分布範囲が広く、専門的職業などは分布範囲が極めて狭いのを見る。これ専門になるにつれて智能状態が比較的揃ひ勞働や農業などに従事して居る者には色々の智能の者のある事を示すものである。右二種即ち米國及び日本で試みた軍人の智能と入營前の職業との関係には二三の疑問がある。其の大なるものは入營前の職業がどれだけ其の個人

ふために試みられたものがある。それには



につける者九百二十八名の男子につき右のと同様に専門的職業・事務的職業・商業的職業・技術的職業・半技術的職業・農業的職業・勞働的職業の七種の職業範疇に分類して文字を使用しないテストによつて検査した。其の結果は次の圖の如きものとなつた。矢張り明瞭に職業の種類と智能の階級との間には相關々係のあることを示してゐる即ち智能のみで職業はきめられないけれども、少くも職業の方から考へて最低の知能標準はこれを知る事が出来る。

(ニ) 東京府少年職業相談所案の一般智能による學校職業選擇規準表といふものがある。少からず参考になると思ふので少し大表であるが縦書にして示すことにする。

段知能	指知能	ノ百人中	職一般的特徵及水準	教育程度	職業例
最上	131以上	3	創造的統率の努力ニ適スル智能高級専門的職業水準	大學ニ於テ優秀ナル成績ヲ舉ゲ得ル能力	編輯者(大新聞雜誌)・法律家・教師(大學)・技師(機械電氣・土木・化學)・外交官・宗敎家(管長・司教級)・統計家・幹部社員(大會社)・會計士・勅任行政官・陸海軍將官・教師(専門學校)
上	118--130	10	行政的事業的指導の努力ニ適スル智能専門的職業水準	大學専門學校等ニ於テ平均的成績ヲ舉ゲ得ル能力	記者(新聞雜誌)・醫者・教師(中等學校)・實業家(大商人・銀行家)・祕書役・行政官・司法官・支配人・工場長・設計家・仕入掛・社會事業家・齒科醫・通信員・外交員(保險)・宗敎家
普通	108-117	18	小規模ノ行政的指導的位置ニ適スル智能抽象的能力ヲ要スル高級熟練機械作業ヲナス優秀ナル能力技術的職業水準	中等學校或ハアル種ノ専門學校ヲ終リ得ル能力	教師(小學校)・速記者・簿記方・保母・會社事務員・銀行事務員・販賣人(卸)・實業家(小商人)・鐵道事務員・教師(體操・音樂・家事)・運輸事務員・寫眞師・電信技手・無電技手・鐵道車掌・樂隊員・郵便局事務員・電氣技手・現場監督(土木建築)・倉庫書記・船舶事務員・運送書記・藥劑師・職工長(工場)・陶磁器原型工・タイプスト・文書整理掛
普通	93-107	38	キマリキツタ熟練機械作業ニ適スル智能複雑ナ抽象的能力ヲ要スル作業ハ殆ンド出來ナイ熟練職業水準	高等小學校或ハアル種ノ中等學校ヲ終リ得ル能力	自動車エンジン工・洗濯夫・銑工・鉛管工・パイプ工・旋盤工・自動車機械工・自動車運轉士・洋服屋・婦人服屋・婦人帽製造人・保線手・機械工(一般)・自動自轉車乘・制動手・役者・屠殺者・火夫(汽車)・鍛工(一般)・工場職工(鐵道)・活字鑄造工・植字工・印刷工・石版製版工・製木工・大工(一般)・運轉手(市街電車)・車掌(市街電車)・麵粉燒人・料理人・鑛山掘鑿工・塗工・コンクリート工・園藝家・庭師・農夫・貨物自動車運轉手・煉瓦積工・賄方・調馬師・靴屋・機關夫(固定的)・理髮師・販賣店員・馬丁・蹄鐵工・倉番人(製造工場)・飛行機工・汽罐製造工(一般)・船舶船具工・馭者・鑛夫(一般)・給仕赤帽
下	83-92	18	アル種ノキマリキツタ熟練作業ニ適スル智能半熟練及低級熟練職業水準	尋常小學校ヲ終リ得ル能力	看護人・石工・左官・材木伐出人・番人・機械靴工・荷造人・消防手(常備)・織工・板金工・土木建築人夫・家事使用人・工場雜役夫

段知能	指知能	ノ百人中	職一般的特徵及水準	教育程度	職業例
最上	131以上	3	創造的統率の努力ニ適スル智能高級専門的職業水準	大學ニ於テ優秀ナル成績ヲ舉ゲ得ル能力	編輯者(大新聞雜誌)・法律家・教師(大學)・技師(機械電氣・土木・化學)・外交官・宗敎家(管長・司教級)・統計家・幹部社員(大會社)・會計士・勅任行政官・陸海軍將官・教師(専門學校)
上	118--130	10	行政的事業的指導の努力ニ適スル智能専門的職業水準	大學専門學校等ニ於テ平均的成績ヲ舉ゲ得ル能力	記者(新聞雜誌)・醫者・教師(中等學校)・實業家(大商人・銀行家)・祕書役・行政官・司法官・支配人・工場長・設計家・仕入掛・社會事業家・齒科醫・通信員・外交員(保險)・宗敎家
普通	108-117	18	小規模ノ行政的指導的位置ニ適スル智能抽象的能力ヲ要スル高級熟練機械作業ヲナス優秀ナル能力技術的職業水準	中等學校或ハアル種ノ専門學校ヲ終リ得ル能力	教師(小學校)・速記者・簿記方・保母・會社事務員・銀行事務員・販賣人(卸)・實業家(小商人)・鐵道事務員・教師(體操・音樂・家事)・運輸事務員・寫眞師・電信技手・無電技手・鐵道車掌・樂隊員・郵便局事務員・電氣技手・現場監督(土木建築)・倉庫書記・船舶事務員・運送書記・藥劑師・職工長(工場)・陶磁器原型工・タイプスト・文書整理掛
普通	93-107	38	キマリキツタ熟練機械作業ニ適スル智能複雑ナ抽象的能力ヲ要スル作業ハ殆ンド出來ナイ熟練職業水準	高等小學校或ハアル種ノ中等學校ヲ終リ得ル能力	自動車エンジン工・洗濯夫・銑工・鉛管工・パイプ工・旋盤工・自動車機械工・自動車運轉士・洋服屋・婦人服屋・婦人帽製造人・保線手・機械工(一般)・自動自轉車乘・制動手・役者・屠殺者・火夫(汽車)・鍛工(一般)・工場職工(鐵道)・活字鑄造工・植字工・印刷工・石版製版工・製木工・大工(一般)・運轉手(市街電車)・車掌(市街電車)・麵粉燒人・料理人・鑛山掘鑿工・塗工・コンクリート工・園藝家・庭師・農夫・貨物自動車運轉手・煉瓦積工・賄方・調馬師・靴屋・機關夫(固定的)・理髮師・販賣店員・馬丁・蹄鐵工・倉番人(製造工場)・飛行機工・汽罐製造工(一般)・船舶船具工・馭者・鑛夫(一般)・給仕赤帽
下	83-92	18	アル種ノキマリキツタ熟練作業ニ適スル智能半熟練及低級熟練職業水準	尋常小學校ヲ終リ得ル能力	看護人・石工・左官・材木伐出人・番人・機械靴工・荷造人・消防手(常備)・織工・板金工・土木建築人夫・家事使用人・工場雜役夫

下 智能	71-82	尋常四學年程度 ノ能力	漁夫・労働者(不熟練)・仲仕・荷役人夫・クドン製造人 掃除人夫・石切人夫
最下 智能	70以下	尋常三學年程度 以下特別學級或 ハ特殊教育機關	労働者(最も單純ナル作業)・草刈リ・穴掘リ・荷車後 押シ
	3	甚ダ單純ナルキ マリキツタ作業 ノミヲナシ得ル 能力及ビソレ以 下、自ラ方向決 定ヲナスコト全 ク不可能 最低不熟練職業 水準	

(ホ) 前愛知兒童研究所主任であつた丸山良二氏によつて作られた一般智能より見たる職業評定尺度なるものがある。比較的客觀的に評定し易い職業を上中下にわたり八十種選出し、之をカードに記入して五十名の人に配布し、それを一般的智能の程度により順番をつけさして、之を整理して

順位を決定したものである。面白い研究であり、價值あるものだと思ふので今その順に記述して參考にしやう。上の數字は平均位置にあるものを五〇としての智能の値とも考へられるものである。〔教育心理研究四の六參照〕

- 實際用
尺度値
- 職 業 名 (その内容)
- 九七 天才的發明家(野口英世博士の如き)
 - 九五 官立大學の教授。官立大學の教授及助教授
 - 九四 研究指導者。學位を有し後學の研究指導者
 - 九三 大新聞雜誌の主筆
 - 九三 陸海軍將官
 - 九一 府縣知事
 - 八九 高等學校高等科教員。大學を卒業して高等教員たる人
 - 八八 高等官官吏。高等文官試験に合格し現職にある官吏
 - 八八 銀行會社の重役。人口十萬以上の都市の銀行會社の重役
 - 八六 醫師。大學を卒業して開業せる醫師

- 八四 大新聞の記者。大都市の新聞記者
- 八二 中等學校教員。高師出中等學校に勤務せる者
- 八一 中等實業學校教員。實業學校に技術的方面を教へてゐる教員
- 八〇 町村長
- 七七 說教師。人口一萬以上の都市の僧侶牧師
- 七七 大卸賣商人。數府縣に亘つて取引せる商人
- 七四 齒科醫
- 七四 地方新聞記者。人口十萬以上の都市の新聞記者
- 七四 小學校教員。師範學校を卒業して勤務せる人
- 七二 藥劑師。免許狀を有する者
- 六七 大地主。五町歩以上の田畑又は廣大なる山林を有する人
- 六七 商店主。店員二名乃至五名有する販賣又は製造販賣せる商店主
- 六一 俳優。人口十萬乃至五十萬の都市に於ける俳優
- 六〇 書記。諸官公衙に勤務する判任四等及それ以下

- 五九 寫眞師。寫眞の技術を有して自ら開業して居る者
- 五八 幼稚園保姆。保姆の免許狀を有して従事せる者
- 五六 巡査。普通の外勤巡査
- 五五 産婆。免狀を有して開業せる助産婦
- 五四 地主。自作する外に若干の小作地を有つ農夫
- 五一 活動辯士
- 五〇 大工。日本家屋又は舟を造る普通の大工
- 五〇 指物師。一二人の弟子を有する指物屋の主人
- 四九 自動車運轉手
- 四九 西洋家具師。椅子卓子机等洋家具製作職工
- 四八 印判屋。弟子二三人あり開業せる印判屋の主人
- 四六 表具師。表具屋の主人
- 四六 和服仕立屋。裁縫の技術あり弟子三人七人ある人
- 四六 電車の運轉手

- 四六 看板畫き
- 四六 店員。番頭手代店員など
- 四五 畫工。陶器畫工扇面畫工など
- 四五 陶磁器工
- 四五 電車の車掌
- 四四 自作農夫
- 四四 洋服職工。洋服屋の職人
- 四三 料理人。料理屋又は普通の旅館に居る料理人
- 四三 植木屋。植木を作り又は庭師としての技術を有するもの
- 四二 理髮師。助手一人を常備して散髮する主人
- 四二 自轉車修繕業者
- 四二 左官。獨立してやる普通の左官
- 四一 印刷工。印刷所に雇はれて活版印刷に従事せる職人
- 四一 消防手。都會地で専ら消防手として勤務せる者

- 四〇 八百屋。小僧一人雇ふ位の八百屋の主人
- 四〇 石工。墓碑や石塔を製作する職工
- 三七 傘屋。自分の店で製造し小賣する人
- 三七 製本工
- 三七 疊屋。製造する人
- 三六 うどんそば屋。うどんそば屋の主人
- 三六 小作農夫
- 三四 按摩。免狀を有して開業せるもの
- 三四 下駄職。下駄を製造し販賣する人
- 三四 靴修繕業者。靴を販賣して居るが製造修繕する人
- 三三 髮結ひ
- 三三 郵便配達夫
- 三一 漁夫。舟一隻を有し、近海にて漁獵する人
- 三〇 通勤の女中。旅館又は料理店に通勤せる女中

- 二八 赤帽
- 二七 豆腐屋。豆腐油揚を賣り歩く人
- 二三 人力車夫。自分の車で車夫をする人
- 二三 仲仕。埠頭又は停車場で積荷を扱ふ人夫
- 二一 小使。學校役所等に勤務して居る小使
- 一九 鑛夫
- 一五 下駄齒入。下駄齒入、鼻緒立てを生業とせる人
- 一五 紙屑買ひ。紙屑ぼろ切空堀を買ふ人
- 一五 荷馬車追ひ
- 一三 炭焼人。山奥で炭焼を業とせる人
- 一一 日傭人夫
- 一〇 撒水夫。市街に水を撒く人
- 七 塵芥集めの人。大都市で各戸の塵芥を集める人
- 七 ビラ配り。都會地の四ツ辻に立つて廣告ビラを配る人

以上

〔備考〕 下の職業内容のところはわかる限り省略した。

右の順序と上に記入した實際用尺度値とを参照すればどの職業はどの位の知能を要するといふ事の大體がわかる。

(ハ) 氣質と性格

人の情意的活動には著しい個人差があり、しかも相當それが固定的傾向を有し所謂個性と稱し得らるゝ特徴を形造つて居る事は吾人の常識の肯定するところであり、そこに氣質及び性格といふものが成立するのである。而して職業と氣質及び性格とは著しき關係あり、或る種の職業は到底ある種の氣質ではつとまらないと考へられるものもある。隨て職業を選定する場合に矢張氣質性格についても考慮しなければならぬ事勿論である。然るに人の情意的特質に關する研究は殆んど出來て居ない。殆んどこれといった定論も定説も擧がつて居ないといふのが至當の様である。隨て本書にも引用すべきよき資料を掲げる事が出來ないのは頗る遺憾である。

しかし氣質の見方や性格の見方について若干の研究がある。それ等を述べる事にする。

氣質とは生理状態に起因する感情の先天的特性傾向である。獨逸のシテルン氏は感情の發動の様

式を性質・速度・持續・確度の四方面より考へて居る。而してそれが各二様の形にあらわれる。そこに氣質が生ずるといふ。即ち

性	質……快活(樂)	——	沈鬱(悲)
速	度……敏	——	鈍
持	續……淡	——	執拗
確	度……興	——	平 靜

右の組合せによりて氣質の個性差が生ずるといふのである。

〔内向性と外向性〕ユングの流れを汲む流の考へ方に内向性外向性の氣質論がある。近來よほど注目されて居る氣質研究である。普通にいふ内氣と暢氣との差異の様である。大體内外向の區別を極めて常識的に書くと次の通りである。

- | | |
|------------|-----------|
| 内向性 | 外向性 |
| 一 沈鬱 | 快活 |
| 二 他の世話を好まず | 積極的に世話を好む |
| 三 無口 | 多辯 |

- | | |
|-----------------|-------------|
| 四 喜怒哀樂を容易に表はさず | 喜怒哀樂を露骨に表はす |
| 五 質問に對してあまり舉手せず | 盛んに舉手する |
| 六 頑固 | 順應し易い |
| 七 群集の前に出るを好まず | 群集の前に出るを喜ぶ |
| 八 友人が少い | 友人が多い |
| 九 心配症 | 暢氣 |
| 一〇 男子は女性的 | 男性的 |
| 一一 無頓着 | 流行に共鳴 |
| 一二 消極的 | 積極的 |
| 一三 競技を好まず | 競技を好む |
| 一四 細心用心深い | 大膽 |

すべての兒童がこの二つに別れるといふわけではない。中間性といふべきものが随分多いが兎に角この觀察は面白いものである。これに似て氣質のA組、P組といふ見方もある。これ亦同様に積極的氣質(Active)と消極的氣質(Passive)の事でA組は外向性にP組は内向性と同様と考へてよい

かと思ふ。

〔四氣質〕ギリシヤの昔から唱へて居る四氣質、多血質・胆汁質・神經質・粘液質の區別は今に社會の常識として存在するが故に心得て居なければならぬ。これは昔は人體内に血液・胆汁・黒胆汁・粘液の四種の液體があつて其の多少によつてこの氣質の差が生ずると考へたものであるが、これは學理的根據のない事らしい。

矢張り體質に關係を有する様であるが、兎に角外から加へられた刺激に對する感情の發動—即ち興奮性の遲速と、反動性の強弱とによるものである。

多血質は興奮速く反動弱く、物事理解することは早いが容易に忘却する。快活で社交的で親切である。しかし輕卒粗雑で稍もすれば一定の信念がなく巧言の人信用のかけぬ人となる。商人外交官等によい。

胆汁質は興奮性は速く反動性は強い。感ずる事早く強く、行爲は活潑勇敢である。怒り易く稍もすれば粗暴になる。行爲に於て屢熟慮を缺き往々己れの意志に反して突進する。政治家經世家軍人などによい。

神經質は興奮性遅く反動性強い。一度感ずると甚だ強くこれがため精神生活に支配され精神病に

罹る事さへある。何事でも物の裏面暗黒方面を見悲觀的で快活さに乏しい。不平煩悶を持ち物事をなすに躊躇して思ひきりが悪い。保守的である。思索にふけり想像力に秀で頭腦が比較的明晰であるから學者教師等に進むがよい。

粘液質は興奮性遅く反動性も弱い。思考も言語も行動も概して遲緩不活潑で一見怠惰に見える。しかし一旦會得したものはいつまでも記憶する。着實で忍耐心が強く事に厭くことがない。非常に忍耐心を要する仕事、宗教家や計算係記帳係等一事を長く根氣よくやる性質の仕事によい。

〔血液型〕人の血液には四種の型があり、しかもそれは一生變化しないのみならず、子孫にメンデルの法則に隨つて遺傳するといふ事が發見されて色々の意味に於て利用される事になつた。法醫學上親子の認知や刑事上犯人檢擧の上に利用する、事及び醫療上輸血に考慮する、事は既に決定的の權威となつたものである。更に近來血液型と氣質とが高い相關にあるといふ研究が發表されてゐる。若しかゝる事が明かに認定さるゝ事になれば職業選定に血液型が考慮さるゝの日も遠くはないであらう。そこで血液型とは何かについて略述しやう。人の血液の中の血球の中にはA Bといふ二種の凝集原があり、血清の中には $\alpha\beta$ といふ二種の凝集素があり、人によりA B $\alpha\beta$ の有るもの無いもの色々である。Aは α とBは β と出會へば血球が凝集する（凝集とは血清内で數ヶ所へ集る事）。そ

ここで其の凝集の仕方を見てこの人はAが缺けて居るとかBが無いとかが決定されるのである。而して血液型は次の四種となる。

O型	血清中に $\alpha\beta$ あり	血球中にA Bなし
A型	血清中Bあり	血球中にAあり
B型	血清中に α あり	血球中にBあり
AB型	血清中に $\alpha\beta$ なし	血球中にA Bあり

而して今發表され居る血液型と氣質との關係について簡單に言へば次の様である。

O型	さかぬ氣・強い人・精力的強情・冷靜	粘液質—多血質
A型	おとなしい細心・心配性・不平家・引込思案	神經質—腎汁質
B型	よく氣がつく淡泊・世話好き・暢氣の人・黙つて居れぬ	多血質
AB型	B型的でA型的・神經質—(膽汁質)	

〔其の他〕其の他氣質や性格の研究に於てはベルマンの内分泌との關係研究やクレツチユマーの體型との關係研究、クレツペリンの精神病タイプとの關係研究等色々な資料があるが何れもまだ職業などとの關係まで深入りした研究がないので省略する。

次に性格についても考察しなければならぬ。一體性格とは何かが先づ問題である。普通には意志の習慣性だといふ。松本博士の著には氣質は心の情意的衝動的の發現の方に多く關係してゐるが、性格は豫謀的思慮的の意志行爲に多く關係して居ると書いて居られる。

性格は量的方面から見れば動搖型と固定型となり、之れを更に細かに觀察すれば次の八方面から考へられる。

意向的—熟慮的	迅速決斷的—躊躇決斷的
積極的—消極的	疲憊的—耐久的
固定的—動搖的	快速的—遲緩的
一致的(恒常)—不一致的	獨立的(自律)—他律的

又質の方面から見れば善良の性格と不良の性格とになる。即ち勤勉・從順・誠實・忍耐・規律・協同・志操・統率性・經濟・敬虔等の多少正反に於てこれがあらはれるものである。性格も亦職業選定上考慮されねばならぬと思ふけれどもそれ等に就ては研究された參考になりさうな資料を見當らない。

(二) 學業成績

學校に於ける學業成績の優劣が職業選定上に考慮されねばならぬか否かといふ問題を検討しなければならぬ。常識でも考へられる様に中學校へ進學し、更に専門學校大學へまでも進學出來得る者は級中極めて上席に居る若干の優才のみである。隨て大學を出、専門學校を出なければ到底出來ない仕事や、それ以上の力がなければ出來ない職業に就くには級中最上席の秀才でなければならぬといふ事になる。古來の偉人の中には小學校時代は劣等生であつたが成人してあれ程の偉才となつた。小學校時代の成績などいふものは大して引當てにならないといふ例をよく聞くのであるが、それは大抵何かの事情で小學校時代劣等に見えた極異例に屬するものであらう。現今の様に教育法が進歩し、個人指導の研究の進んだ時代には小學校時代に本當の實力をあらはさないなどといふ事は考へられない。大體に於て小學校六ヶ年乃至八ヶ年の成績は個人の決定的の力と見てよい。だから其の學業成績を審さに調ふれば、大凡の職業決定の目安にはされると思ふ。然るに小學校の學業成績とは修身讀方書方國史地理理科唱歌圖畫體操手工裁縫等一切の教科の成績の平均をとるのであるから結局それはこの個人の一般智能であるとも考へられる。即ち席次は一般智能の高さの順位であるとも考へられる。勿論學業成績の高下は個人の一般智能の指數のみでなく、家庭環境の狀況とか、身體上の故障の有無とか、缺席日數の多少とか、學習心學習興味の多少とか、進學希望の有

無とか、教師の個性と兒童の個性との關係とか色々な條件に左右されるものではあるが、其の中で個人の智能素質の影響が最も大である事は否定出來ない。故に學業成績と職業との關係は前説一般智能と職業との關係を主として參照すればよい事になる。特にこれについての參考資料も無い様である。嘗て著者の作つた學業成績と職業との關係表を擧げて參考にしよう。

第一級(甲上) 政治家・外交官・大新聞雜誌の主筆・學者・大學教授・判檢事辯護士

第二級(甲下・乙上) 中等教師・小學校教師・高等海員・技師技手・町村長・一般官公吏・警察官・大商業店主・機械工・祕書役・新聞雜誌記者

第三級(乙) 農業家・大工・左官・工場労働・電車車掌・驛夫・看護人・印刷工・洋服屋・電信技手・靴屋・樂隊・表具師・植木屋・下宿營業

第四級(乙下・丙上) 一般労働者・日傭・仲仕・赤帽・漁夫・農業労働・理髮業・石工・番人・料理人・ペンキ職・坑夫

第五級(丙) 日傭・仲仕・埃採り・ピラ配り・煙突掃除夫・荷馬車屋

次に問題にすべきは兒童の成績に自らなる偏倚のあるといふ事である。兒童の中には文科的の教科は比較的よく出來るけれども理科的の教科となるとそれ程出來ないとか、理科的の教科は相當出

來るけれども文科的の教科は出來ないとか、或は技能科はよく出來るけれども文科理科的のものとなるあまり出來ない等のかたよりのある事に氣がつく。これは實地に兒童を扱つた經驗のある人は誰も氣のつく事であるが、教科を若干まとめて採點し平均して見ると著しく其の傾向が出て來る。この教科成績のかたよりこそ職業指導に考慮すべきものではなからうか。勿論總べての兒童にかゝるかたよりの傾向があらはれるのではない。大體三割乃至四割位の兒童に於てあらはれるので、其の他は特にその特徴を見出すことは出來ない様である。

最近我が校で尋二以上高等科まで十一學級男一四四、女一五九について文科型・理科型・技能科型の三種型のあらわれる状態を見たところによると次の表の様になつた。成績は過去の四ヶ學期の成績の平均をとり、文科型(修身・讀方・綴方・國史・地理・商業)。理科型(算術・理科・地理・家事・農業)。技能科型(書方・圖畫・手工・裁縫・體操・唱歌・家事・農業)。に分類して其の平均を求め教師の平常の心證を加へて型を決定したものである。

文科型	男		女		計
	實數	百分比	實數	百分比	
一一	七・六	一六・一	一〇・一	八・九	

理科型	男		女		計
	實數	百分比	實數	百分比	
二三	一六・〇	八・二	一三	一一・九	
技能科型	三〇	二〇・八	二四	一五・一	
不定型	八〇	五五・六	一〇六	六六・六	
計	一四四	一〇〇・〇	一五九	一〇〇・〇	

大體兒童の中の四割のものに於ては文理技能の型があることがわかる。これに就ては著者の研究がある。教科を文理科技能科(造形技能と流動技能とに區分し)の順に並べてそれによる成績プロフィールを作成して型の状態を見る方法である。次に揚るは其の一例である。この兒童は二十六人中二十一席の者で技能科型である。(このプロフィール作成法は教育論叢昭和五年四月號參照)

著者の研究にて尋六卒業兒童男一三六、女一六〇、計二九六に就て右例の如きプロフィールを作成して其の型のあらわれを見たる結果は

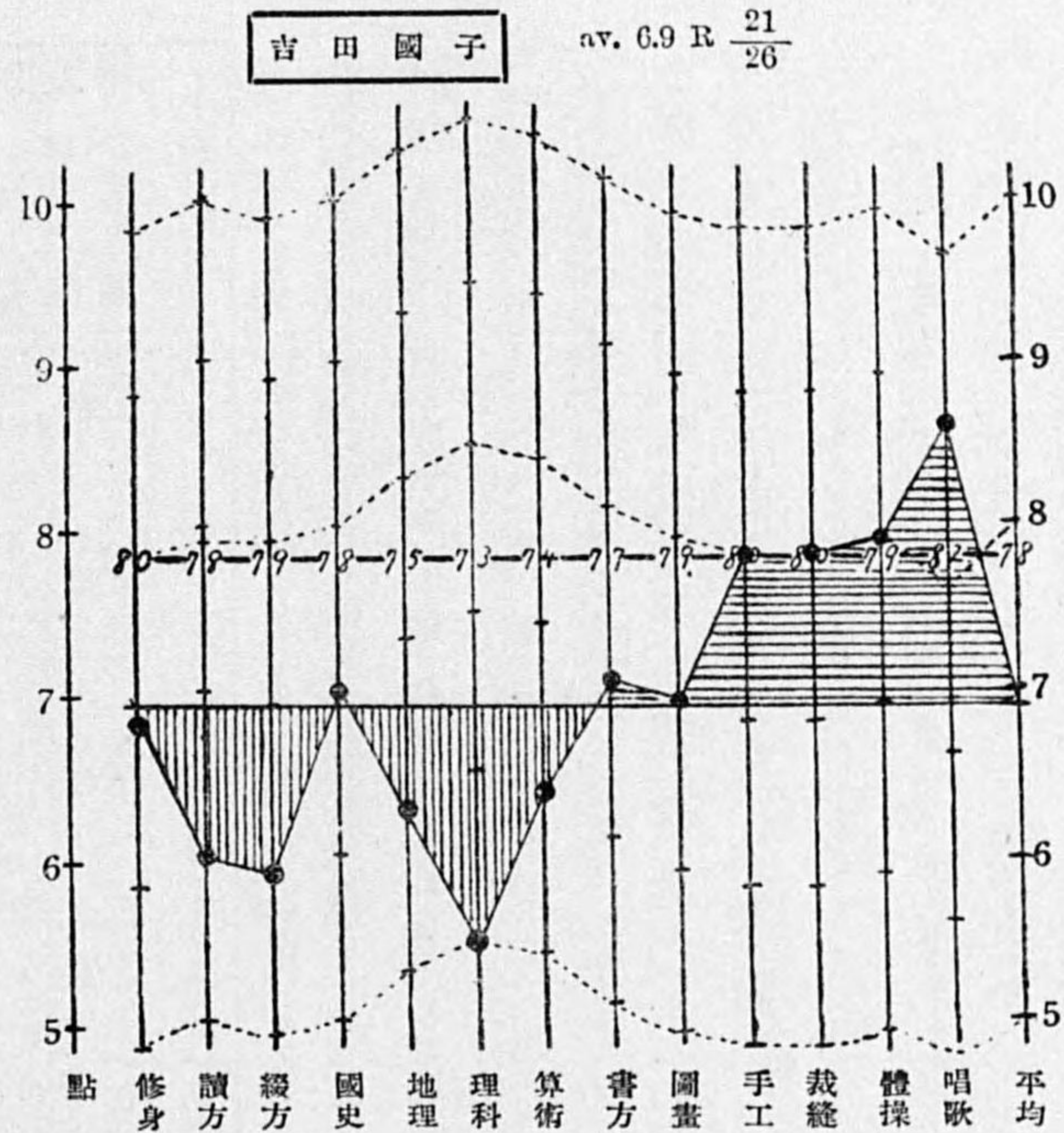
型あるもの 一〇五(三五・五%)

(イ) 智的型と技能型に分けられる者

七六(二五・七%)

内譯 智的型 四三

技能型 三三



二三〇

(ロ) 文科型と理科型に分けられる者

二一(七・一%)

内譯 文科型 一二

理科型 九

(ハ) 第一技能型(造形)と第二技能型(流動)とに分けられる者

一六(五・三%)

内譯 造形技能型 九

流動技能型 七

之を要するに文科技能科等の型に自らわかる者約三四割ある事は明である。而してこの型は

職業指導の上に若干考慮しなければならない。例へば文科型のもは比較的綜合的の頭腦を要する仕事がよく、理科型のもは比較的分析的の頭腦を要する仕事がよく、技能科型の者は技術的能力を必要とする仕事がよく。政治家や軍人判檢事等は文科型がよく、學者・事務官・一般公吏・會計士・醫師・電氣技師等は理科型がよく、大工・左官・畫家・音樂家・ダンサー等には技能科型がよくであらうと考へられる。

(ホ) 特殊性能

以上述べた身體狀況・一般知能・氣質性格・學業成績等の外に尙ほ感覺の敏鈍だの、作業の確否遲速だの、記憶創造模倣等の精神活動を部分的に見た鋭鈍だのといった事についても若干考へておく必要がある。これ等を總稱して特殊性能といはうとする。性能とは性質能力の謂である。元來性能なる語は使ふ人使ふ場合によつて意義を異にして居る様である。學者には一種の素質傾向(Disposition)と考へて居る者もある。或は能力心理學的に考察して要素的に考へられた能力即ち記憶能力注意能力想像能力等と考へて居る者もある。淡路博士は其の著材能研究の中に於て「かくて吾々は斯る精神活動の個人差を生ぜしめる原因を各人の性能の個人差に歸着せしめる。各人の性能に個人差があればこそ各人の精神活動に個人差が生ずるのであるといふ風に解釋する。従つて性能は精神

活動の可能的素地として假設せられたる理念であるばかりでなく、その個人差の發現の理由として假想せられたる理念である云々」と、前者を主張して居る。

今本書で用ふる性能の語は一種の個性の義にとる。外と區別せられる特別のはたらきと解する。これは本書では職業指導といふ實用に使はんがために設定せるものなるが故である。感覺の鋭鈍如何は素質の點もあるが又後天的に理由のある事も少くない。作業の確否遅速となると素質といはんよりも修養學習經驗の結果に負ふところが非常に大である。しかしこれ等何れも著しく個人的であり、相當の永續性を有するが故に職業決定の場合考慮しなければならぬ。そこでこの場合の性能とは外にあらわれた能力でよほど具體化されたもの、實用化されたものの謂でよほど功利的に使用して居る。どんな事が擧げられるか實例について示す事とする。

(一) 感官の鋭鈍に關するもの

視覺—視力、光及び色の辨別力

聽覺—聽力、音の高低音色等の辨別力

嗅覺—香臭の辨別力

味覺—味の辨別力

(二)

觸覺溫覺—粗密大小等の觸別力、溫度の辨別力
作業能力に關するもの

手先き作業の巧拙遅速(手先の器用)

(叩打法・カード分配法其他の作業検査にあらはれるもの)

左右手先きの整調

書寫能力。文字の書寫の速さと巧拙

珠算能力。算盤計算の確否遅速

タイプライター

裁縫(ミシン使用など)編物、刺繡、其他

身體の巧緻運動(器械體操やダンスにあらはれる)

走力・幅飛び・高飛び等競技能力

野球・庭球・ゴルフ等諸遊戯

器樂能力(ピアノ・オルガン・バイオリン・マンドリン等)

談話能力(演説・講義・坐談等)

水泳能力

柔道・剣道等

(三) 精神能力に關するもの

記憶力—關係的記憶・機械的記憶

推理力想像力

創造力構成力

こゝに選り出した特殊性能といふは、よほど常識化したもので、學術的にはよほど變に考へられるものである。特に作業能力として選り出したものの如きは殆んど全部經驗的のもの學習し勉強して誰でも或る程度まで得られるものであるから性能といふは可笑しなやうであるが、職業指導といふ事實に直面してはかゝる性質や能力こそ大切な要素となると考へるものである。實用的見地に立ちて其の意味が濃厚にあらわれる。

右の中(一)(三)に屬することは何れも測定する方法が色々工夫されて居る。感覺の鋭鈍を試みる爲めには色々の心理學的實驗器械が工夫されてゐる。性能検査として求人側の工場等では屢々之を使用して人物採用に用ゐて居る。又精神能力として、記憶力推理力創作力構成力等を試みるものも亦實

驗器械か又は筆答によるテスト等が工夫採用されて居る。次の章にて述べる適性検査にはこれ等を盛んに使用するのである。適性の検査の一例を擧げる事にする。

音楽家の適性研究。シーショーア (C. E. Seashore) は音楽家の適性研究を試みてこの方面位職業指導が科學的に行はれる見込みのあるものはなしと斷言してゐる。而して其の性能分析は次の様である。

一 音楽を聴く能力 (Ability to hear music)

検査法……感覺検査 イ 調子検査

ロ 強度検査

ハ 拍子検査

二 唱ふ能力 (Ability to Sing)

検査法……運動検査 イ 調子検査

ロ 強度検査

ハ 拍子検査

三 音楽的想像・再生・思考力

検査法……联想検査

イ 心像検査

ロ 記憶検査

ハ 表象検査

四 音楽を感受する能力 (Ability to feel music)

検査法……情意検査

イ 好悪検査

ロ 情緒反應検査

ハ 美的解釋力検査

右は單に一例によつて特殊性能の一面を物語らうとしたものである。即ち音楽家といふ職業に對しては上述の如く四通りの性能を要するといふ事になる。これ等は専門家の専門的研究で直ちにとつて小學校の職業指導へ導入するわけにはいかないけれども少からず参考になるものである。

二 職業的個性型の研究

近時の個性研究は漸次人の類型的研究の方面に向ひつゝある。即ち人を見るに幾つかのタイプ(型)に分けて解釋しやうとする。勿論智的素質をテストして指數で示したり、精神年齢で示したり

するとか、氣質や性格を階段づけて幾つかに品等しやうとしたりする事は行はれて居るが、人を分類するに或る方面から眺めて之を數量で表示する事は正確の正確たるを免れないし、又一方に總べて物事を総合的に見やうとする傾向運動があり、之れ等の影響をうけて、人の見方が全人的に総合的に直覺的にと進んで來て居る。自然個性研究も類型的研究の方に向つて居るのである。

自分は兒童に職業指導をなす必要上と、人を或る類型に分けるに誰にも理解される事とのために極めて常識的分類をしようとして職業的個性型といふ研究を企てゝゐる。我等は同じ教育者同僚仲間を見ても皆同じタイプとは考へない。何れも教師として最適の人のみであるとは考へられない。軍人にしたらよからうと思ふ人、商人にしたらよからうと思ふ人、學者にしたらよからうと思ふ人其他種々様々で幾つかの類型に分ち得るであらう。即ち色々の型の人が混じて居るのである、そこで自分は兒童を見て其の人物全體を直觀し、直覺し、総合的にふれて七種の職業的類型に分つ事にした。

學者型……智能型……頭の人

政治家型……經綸型……腹の人

事務員型……事務型……指の人

商人型……才子型……口の人
 労働者型……勞役型……臂の人
 職人型……技術型……手の人
 藝人型……時間技能型……耳の人

勿論これ等の何れにも入らない多數の者が有るわけでこれを不定型として置く。

右七種の型は大凡そ左の表の如き特性を持つと考へる。大體は智能學力・氣質性格・體格體質・代表適職の四方面から眺める事にした。注意すべきは各々が特色なので、決して其の間にランク(列位)をつけやうとするものではない事である。

個 童 兒

型	智能學力	氣質性格	體格體質	代表適職
1 學者型…智能型…頭の人	頭腦明晰、成績優秀の者多し、首席を占む。理科型が多い技能科は悪い方	神經質か多血質を加ふ、内性傾向が多い、瘡我慢頑固であらう、體格的勞力を用いて、悲觀的、用心深い	筋肉弱く瘡身、顔面白、青身長高い方	學者、教師、法務官
2 政治家型…經綸型…腹の人	成績よい方、大將となる者多し、文科型が多い、國史、國語に興味をもつ	膽汁質が多い、大膽無畏、義侠心に富む、男らしさ、人間が太い	筋肉丈夫、骨格強し、皮膚赭色、黄色	政治家、軍人、事業經營者

性 型 の 研 究 [案田守]

7 藝人型…時間技…耳の人	特にリズムミカルな時間藝術に長ず、耳がよい、音楽、遊藝の働きあり	多血質か神經質、動作は鋭く早い、異常性格者あり、常識の逸すること多し、おしやれ、きまぐれ	身體弱い方、瘡身、色白又は青い	音楽家(樂士)、樂器店、調律師、俳優
6 職人型…技術型…手の人	成績中位、技能科特に圖畫手工等技能に堪能し、空間技術の悪し	神經粘液等の混合型、中間性、風采など飾る者あり	健康、呼吸型、色淺黒又は赭色	技手、畫家、大工、左官、印刷業、散髮業
5 労働者型…勞役型…臂の人	頭の働きは悪い方、成績は悪い方、技能科の方を好む	正直、眞面目、動作言語等鈍い方	皮膚赭色、筋力強く、身體丈夫、筋肉型	農業者、園藝師、仲仕
4 商人型…才子型…口の人	成績中位、授業中盛んに活動す、發表を好む、頭のはたらき早い方	多血質、粘液質を加ふ、外向性、樂天家、活に見ゆ、挨拶などうまい	皮膚は白、頬桃色、型、小さい方、堅く小さい方	商人、外交官、外交事務員、ホテル業
3 事務員型…事務型…指の人	成績よい方、考へ方緻密周到、計算などうまい、ノートの整理よし	神經質か多血質をきちやうめんである、おしやれである、人間全體は小さい	瘡身の方、皮膚は白又は青、美人的	商事事務員、交通業者、官公吏

この七種の個性型が普通の小學校教師によりて、どの程度まで觀察決定出来るかを見るために地

方の小學校十校に依頼し、尋常六年以上の男兒童につき分類していた。先づ教師に類型分類の趣意と分類の方法とを説明し了解を願つて、其のクラスの全員につき調査して貰つた。其の兒童數左の如し。

學年	學級數	兒童數
尋六男	一〇	二一五
高一男	九	一八七
高二男	一〇	一六四
計	二九	五六六

學級數の割合に兒童數の少きは某校の如きは高二男僅に三人といふ組もありしによる。

其の結果は次の表の様の結果となつてあらわれた。

型	兒童數	百分比(%)
學者型	二〇	三・五三
政治家型	三一	五・四八
事務員型	五五	九・七二

商人型	六二	一〇・九五
勞働者型	八五	一五・〇二
職人型	五八	一〇・二五
藝人型	一〇	一・七七
不定型	二四五	四三・二九
計	五六六	一〇〇・〇〇

即ち尋六以上の男兒童の五七%までは職業的類型がわかるといふ事が明かとなつた。而して職業的類型で最も多きは勞働者型で商人型・職人型・事務員型は之につき、政治家型はすつと少く學者型・藝人型が最も少い。社會の自然の職業について居る人もこれとほゞ同様の傾向である。

さて指導の實際について直ちに學者型は學者や大學専門學校教師に、政治家型は政治家・軍人・事業經營者に、事務員型は商事務員・交通業者・官公吏に、商人型は商人・外交官・ホテル業者等にと指導すべきかといふに必ずしもさうはいかないかも知れない。この類型は極めて全體的綜合的に觸れての感じであるからこれだけで直ちに指導の指針としては早計の事もあらう。但しよほどまで参考にはなるものだらうと考へられる。

米國及び日本に於ける軍隊検査の結果人の類型を五種に分けた研究がある。智的型・半智的型・
經綸型・技術型・力量型はこれであり、其の型の特徴として左の様に云はれて居る。

(イ) 智的型 精神的の職業に適す。兒童では物事に逡巡する傾向があるが考へ深く失敗が少い。
友人は少い。早熟の傾向あり、學業成績はよいが、身體は弱い方。

(ロ) 經綸型 機敏才氣走つて居る。多辯社交的であるから輕卒をまぬかれない。商業的の仕事に
向く。

(ハ) 技術型 手先きが器用で、いつも何かコツ／＼やつて居る。技術家として立つによい。

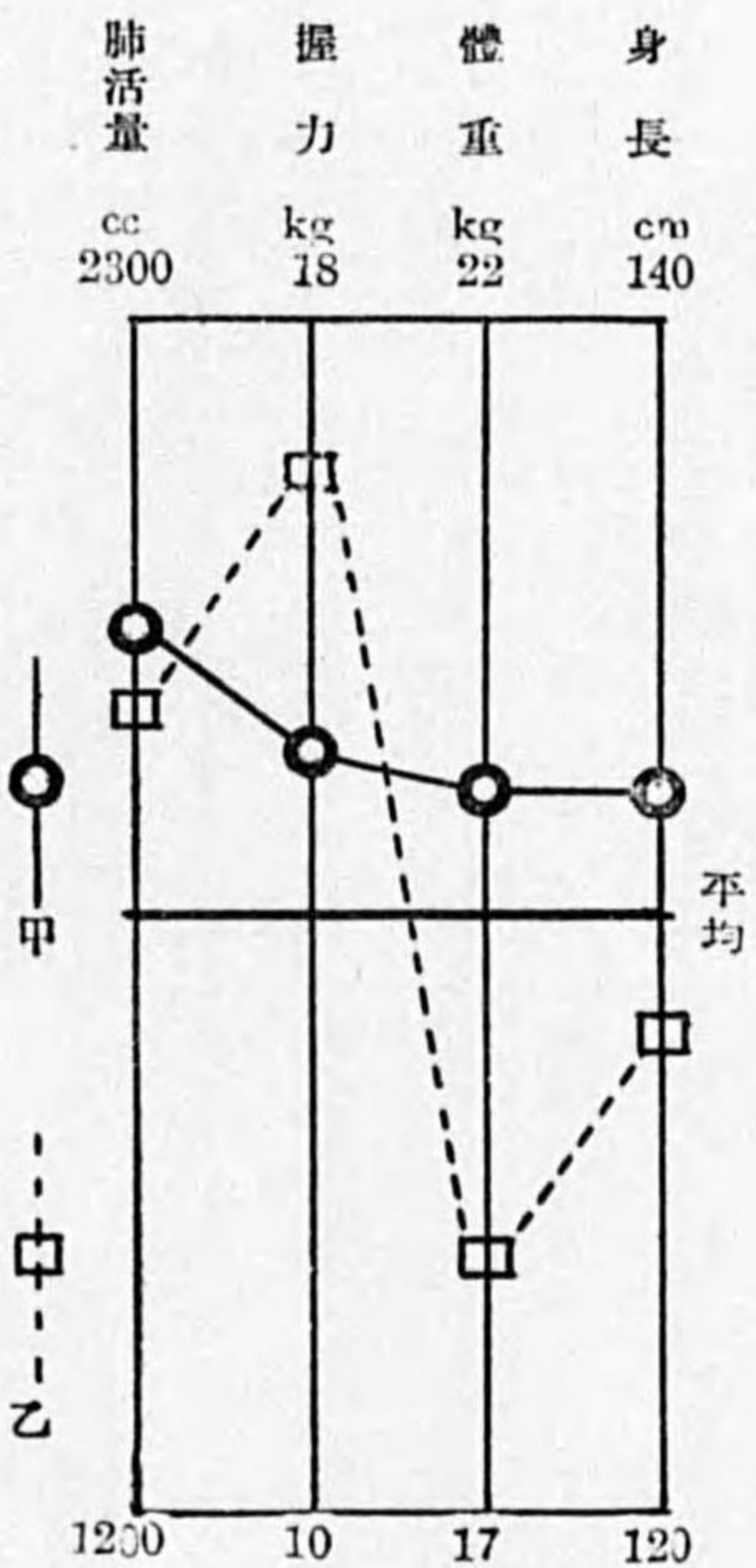
(ニ) 力量型 學業成績は悪い方、力量を用ひる事に興味を持つ、端的に暴力を用ひやうとする。
勞働者に向く一群である。

三 性能圖示の問題

個人の精神的或は身體的の各種の標徴を觀察調査したとして、之れを唯文章の形に書き流したり
又は羅列したりしただけでは、其の個性の状態を一目瞭然にするといふ事は出来ないし、他の個人
と比較して考察するといふ事は更に容易ではない。例へば同年十二歳の甲乙二男兒童がある。其の

身體狀況を見ようとする。身長甲は一三二釐、乙は一二八釐。體重甲は二〇斤乙は一八斤。握力甲
は一五斤、乙は一七斤。肺活量甲は一八〇〇立方釐、乙は一七五〇立方釐とわかつたとする。これ
で甲乙兩人の身長・體重・握力・肺活量を見たわけである。即ち身長は甲が四釐高く、體重は甲が
二斤重く、握力は乙が二斤強く、肺活量は甲が五〇立方釐大だといふ事がわかつた。さて然らば甲
は普通の十二歳兒として發育よき方か否か、乙は年齢相當の發育をして居るか否か、身長體重握力
等に片よりはないか、又甲と乙と比較して如何に考へべきか等となると全くわからない状態にある。
部分的に云へば兩人は比較されるけれども纏つた一人一人として見れば殆んど比較出来ない。然ら
ば如何にすれば正しく完全に比較し得るかといふにそれは測定したすべてのものを同一尺度に換算
しなければならぬ。而して同一の尺度に換算して形にあらわしたものをプロフィール (Profile) と
いふのである。即ち個人の精神的 (或は身體的) 特徴を各種の標徴に亘り調査し一旦數量にて表示
し、之れを他の人と比較し得るために共通の單位と標準とに照らして、しかも一定の圖表に示さう
とするものをプロフィールといふのである。近時個人差心理學や職業指導心誌の方面で盛んに利用さ
れて居るものである。ところで前の例で云へば身長と握力とを同一單位にするといふ事は一寸考へ
られない事である。しかし同一年齡の多數の兒童につきて身長の平均を求め、又握力の平均を求め

て、其の双方を同一直線上に並べて、これを基點となし、更に上下へのひろがりをも等しくした圖表に作れば等しい標準に置いた事になる。この圖の上に甲乙兩人の測定値を位置せしむれば初めて甲乙兩人の状態もわかり、甲乙兩人を比較する事も合理的に出来るのである。

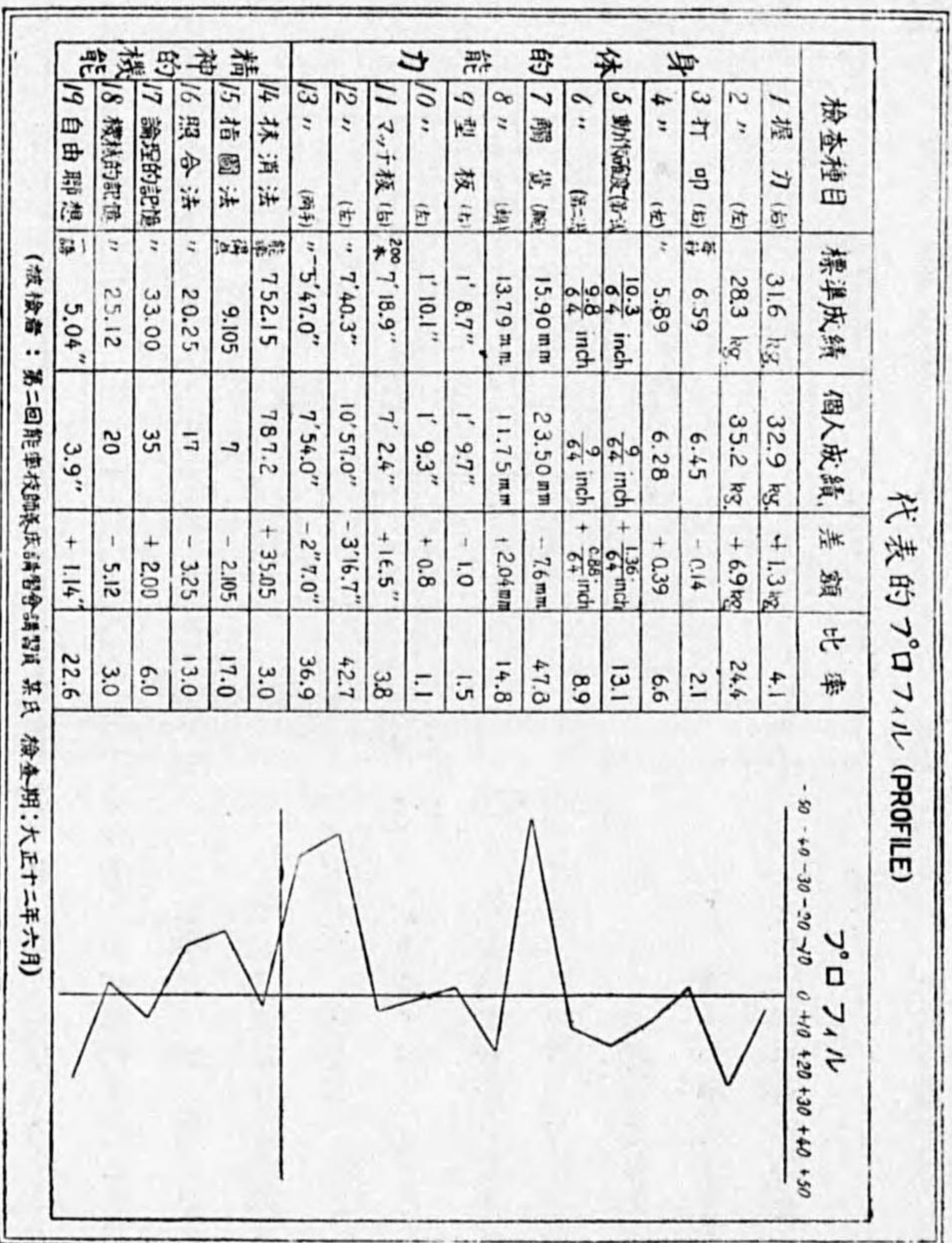


甲—二二斤にひろがり、握力一〇斤—一八斤。肺活量一二〇〇立方寸—二三〇〇立方寸に擴がり居るとすれば次の様な圖となり、而して甲と乙との位置が示される。

甲の身體状態は何れも平均以上に位置して健全な状態であるが、乙は悪い状態

である。身長に比して體重が著しく軽くそれに握力があるといふのは變な状態と見られる。かくて初めて甲乙二人の身體狀況が一目瞭然となつたわけである。右例はプロフィール作成についての一例であるが尙この外に、次の各種の表し方がある。

代表的プロフィール (PROFILE)



例 實 (士學文田増)

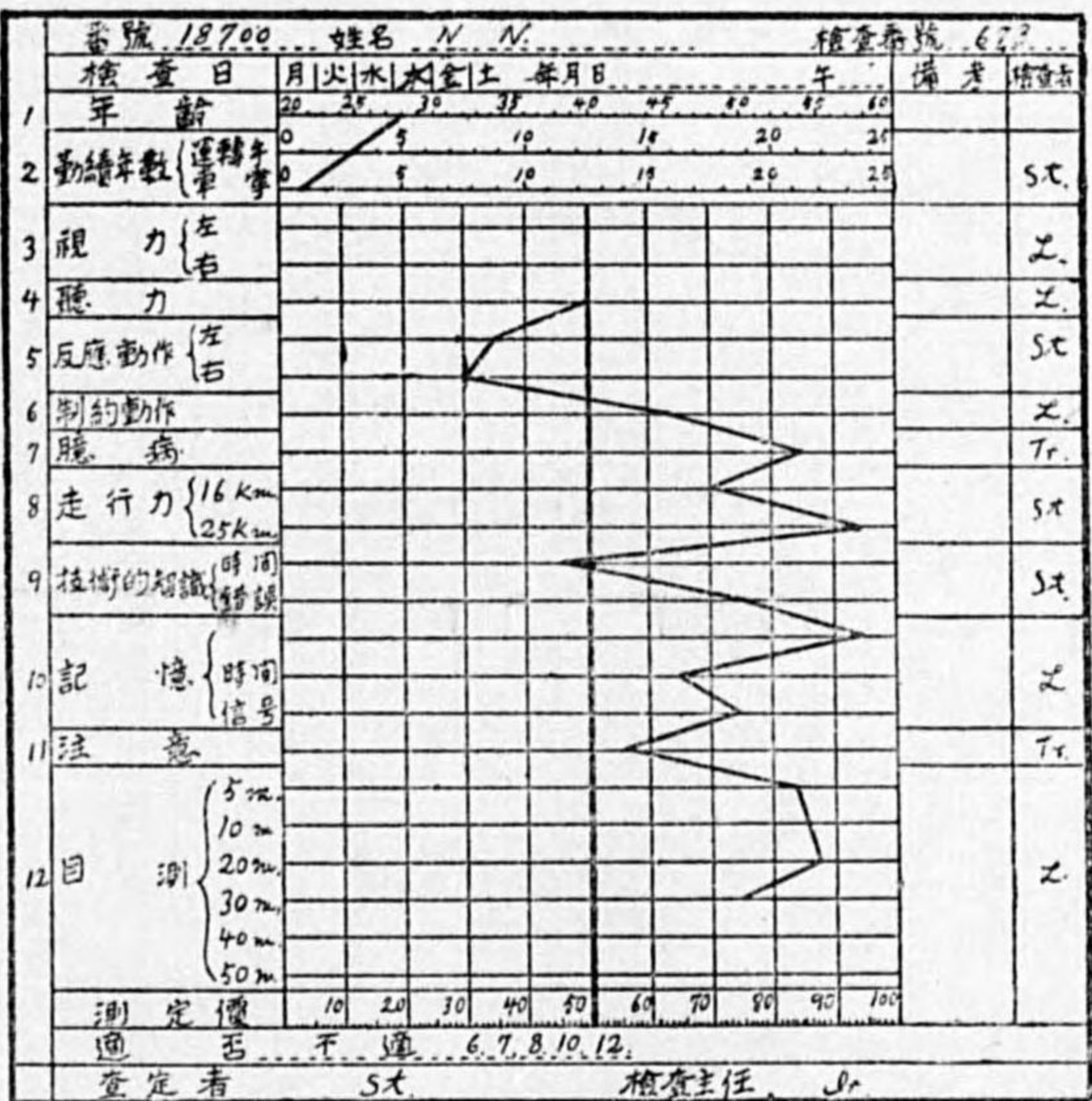
(イ) パーセントイル単位 (Percentile Units) 或る得点が百人の代表集団中のどの位置にあるかに換

算して示すもの。

(ロ) 分布度単位 (Distribution Units) 或る集団にて測定した代表値を求め、各人の代表値からの錯差を基にしての標準錯差 (S.D.) を求め、個人の錯差をこれに當てて見る。

(ハ) 絶対単位 (Absolute Units) 零を基點として數階の等距離なる段階に作り、個人をこれに當てるもの。

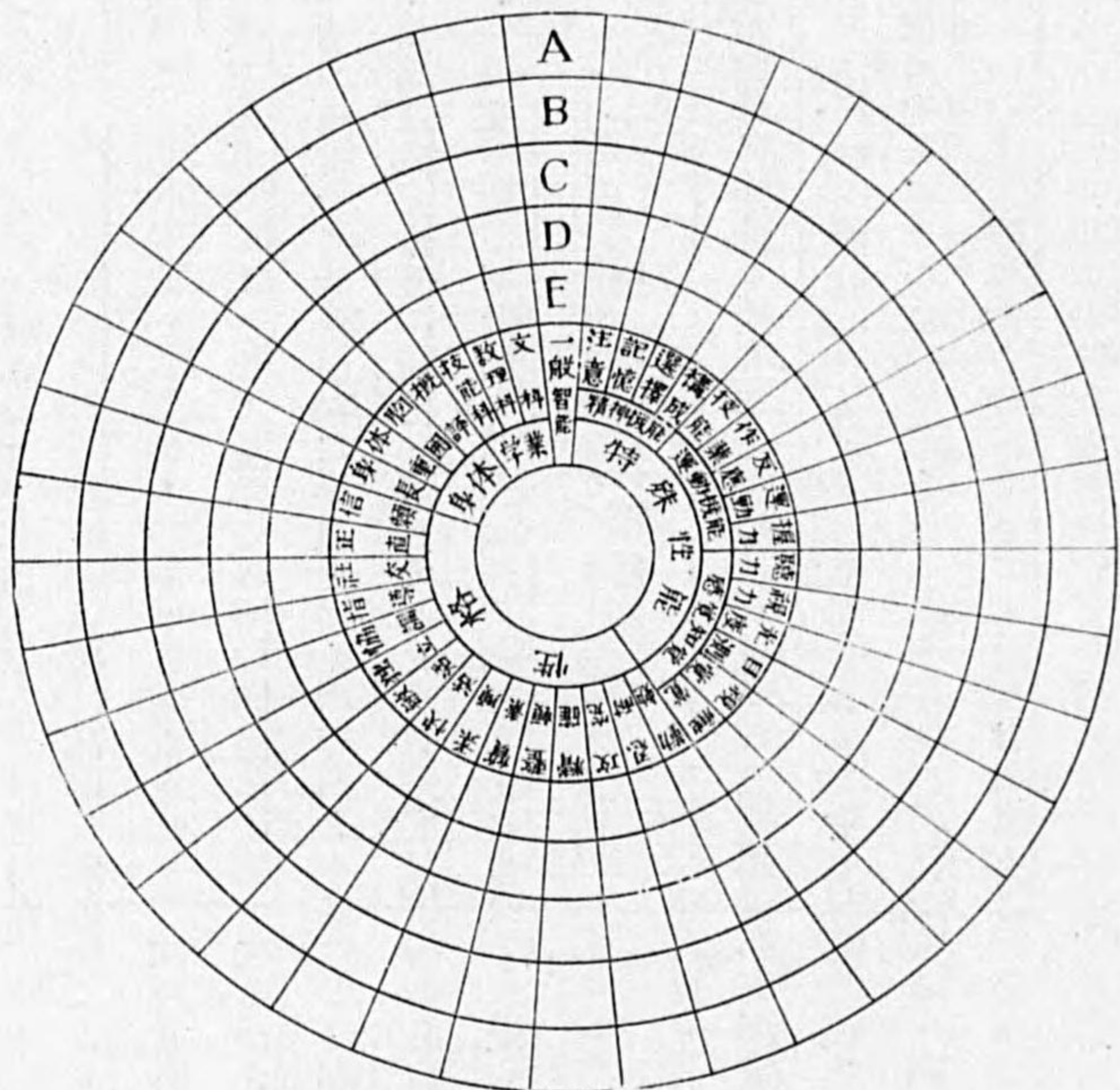
(ニ) 等分段階にするもの、最上と最下との間を若干の段階に分ち、個人をその位置によつて示すもの。これは(イ)パ



電車従業員のプロフィール (トラム)

ーセントイル法の一種とも考へられる。

表 圖 性 個



(案校學小常尋湊市堺)

これ等の方法に依つて示されたプロフィールの二三の實例を示すことにする。(前頁前々頁参照)

吾人が小學校兒童の個性を見るとしてプロフィールを作成する場合にはあまりに學術的専門的で一般の小學校教師としては到底やり得ないといったものでは實用といふ事は出来ない。誰にも出来るものでしかも面倒を要しないものでなければならぬ。かくて工夫されたものは次の如きものである。谷口文學士等によりて工夫考察されたものに色々と改正が加へられたも

のである。(堺市湊小學校の案を載せよう)

右は各性能につきA B C D Eの五段に品等し彩色等によりて周圍にあらわし、以て個人の型を見ようとするので、一方職業も亦かゝる圖表を作りて比較考察の資料としやうとするものである。

職業指導をなすとして是非これ等の圖示を必要とするかといふに必ずしもなくてならぬと考へるにも及ばない。随分面倒な手数と多くの時間とを掛けても利用がしかくうまくゆくとも限らない。丁度適性検査器械の利用と同じてうまく利用すれば少からぬ効果もあり、是非必要とも考へられるが利用法に於て不徹底の場合は寧ろ無駄事とならぬとも限らない。

四 性能検査器械

所謂特殊性能を検査するためには色々の検査器械が専門家により工夫發明されて居る。それ等によりて一人一人を検査して其の性能の個人差を發見し、個人的特徴を見出して、それらの適職への指導をなすといふ事は最も進んだ科學的方法である。例へば記憶力がよいとか構成の才があるといったとて唯平常の觀察を基にしただけではそれ程確實かわからないし、且つ個人差に階段がつけられない。視力の状態如何について考へて見ても、普通であるとか、弱いかか盲であるとか三つ

位の段階には分類されるがそれ以上に分つ事は不可能である。けれどもそれを精密目測計や明暗調節検査器・粗大目測計・視野計等によりて嚴密に検査すれば其の視力の状態が色々の方面から段階づけられ参考にする事が出来る。難聴にしても、直観では低度高度位の區別が十分に過ぎないけれども聴覺計を使ふ時には嚴密に其の程度を明にする事が出来る。更に手指の先きの器用さを測るとか、臂力を握力として測るとか、身體立位の安定状況を計るとか、すべて精密な器械が工夫されて居る。本書に於てはそれ等についてくわしく書く事は出来ない。何れも検査法と結果のスケールとの文献も添ふて居るのであるが茲には東京山越工作所が専門の諸學者の指導によりて作成發賣して居るものの中につき代表的のもの三四の實例を示すに止める。

山越で能力素質検査の用具として一組にして居るものは次のものである。

一 運動機能

- 1 反應検査
- 2 作業速度検査
- 3 技能學習力検査
- 4 運動速度検査
- 5 握力検査

二 感覺知覺

6 聴力検査

8 空間辨別検査

10 觸覺検査

12 視力検査

三 精神機能

13 記憶力検査

15 注意力検査

16 構成力検査

14 選擇力検査

7 視觸覺辨別検査

9 光度辨別検査

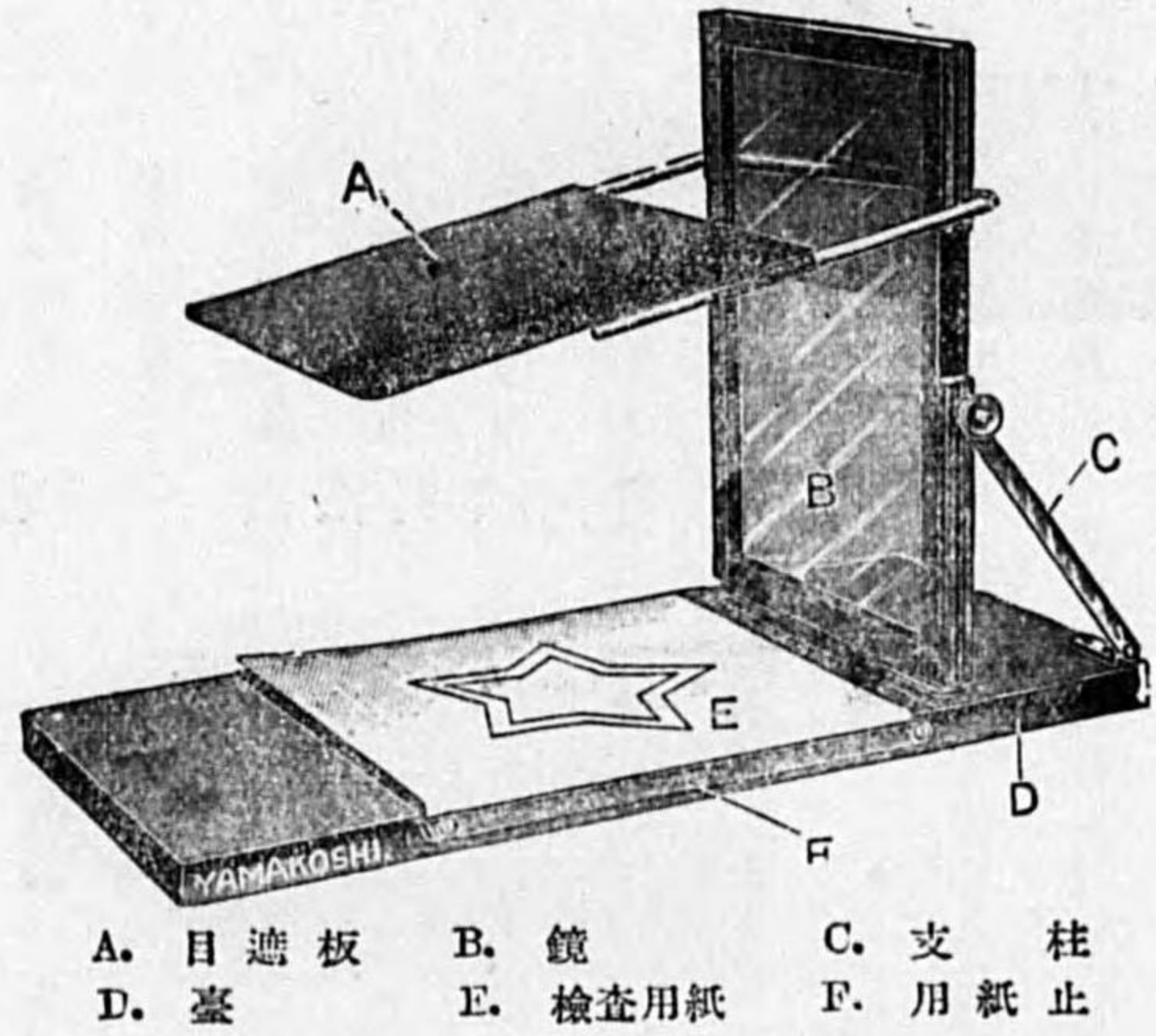
11 色神検査

(イ) 技能學習力検査は鏡書検査とも云ふ。Eの星形の圖がBの鏡面にうつるのを見て星形の中に鉛筆で兩側になるべく觸れぬ様になるべく早く書く作業で精神と技巧の綜合的能力と記憶的習慣に添はない運動を實驗的に學習せしめて其の能力を測定する検査である。(第一圖)

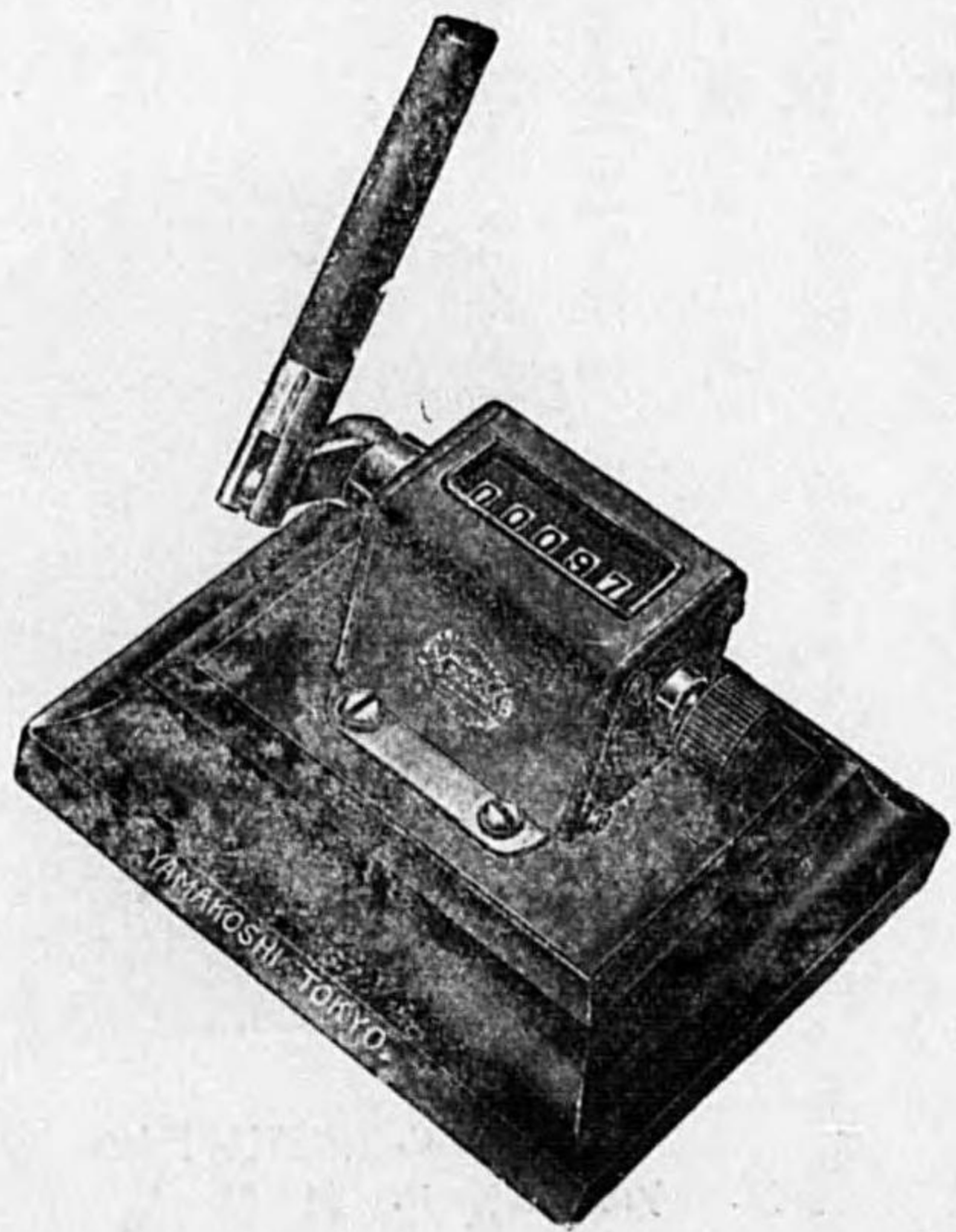
(ロ) 運動速度検査。上に出て居る小棒を持つて早く叩くのでタッピングと稱するもの、手腕の運動速度と持久力とを見る。一分三百餘回が普通である。(第二圖)

(ハ) 視觸覺辨別検査は皿にある大小五種五十箇のメダルを早く左方の箱の穴から入れ、ばよいので時間で能率を見る。目と觸覺との辨別及び作業の能を見る。(第三圖)

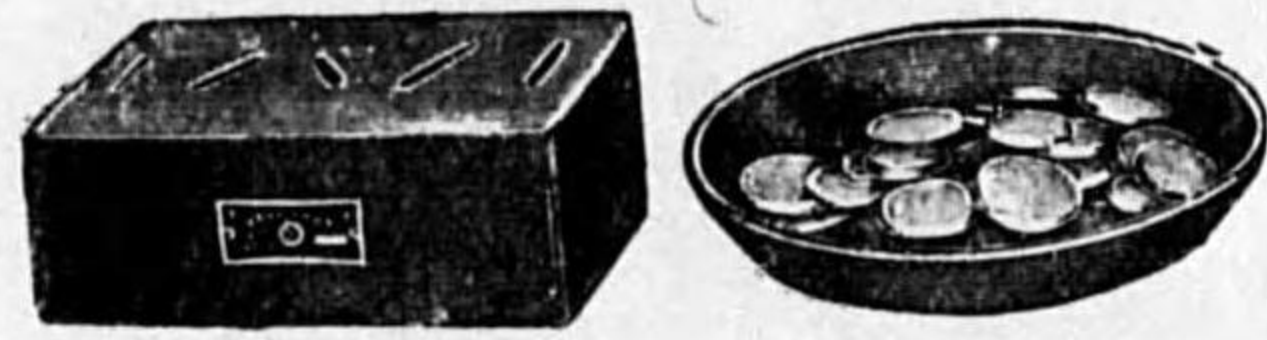
技能學習力検査 (第一圖)



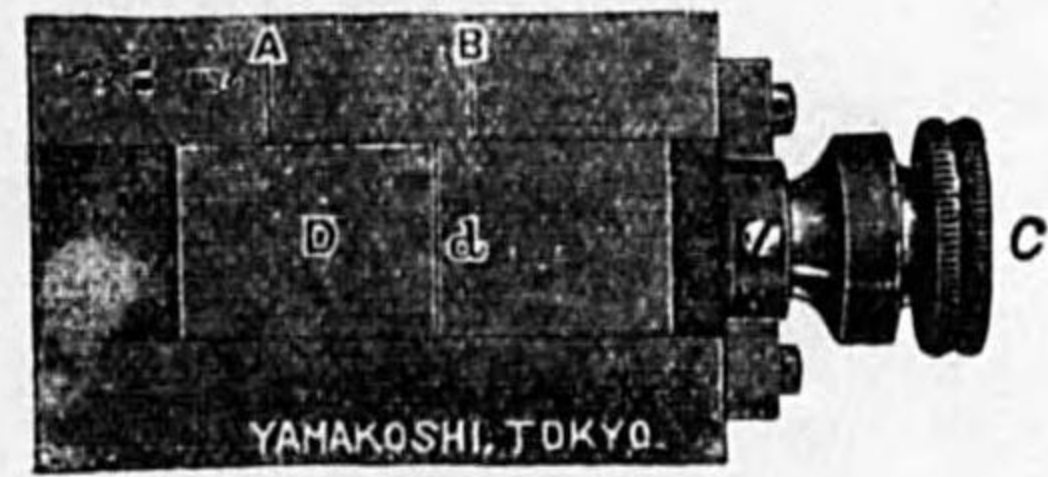
運動速度検査 (第二圖)



視觸覚辨別検査 (第三圖)

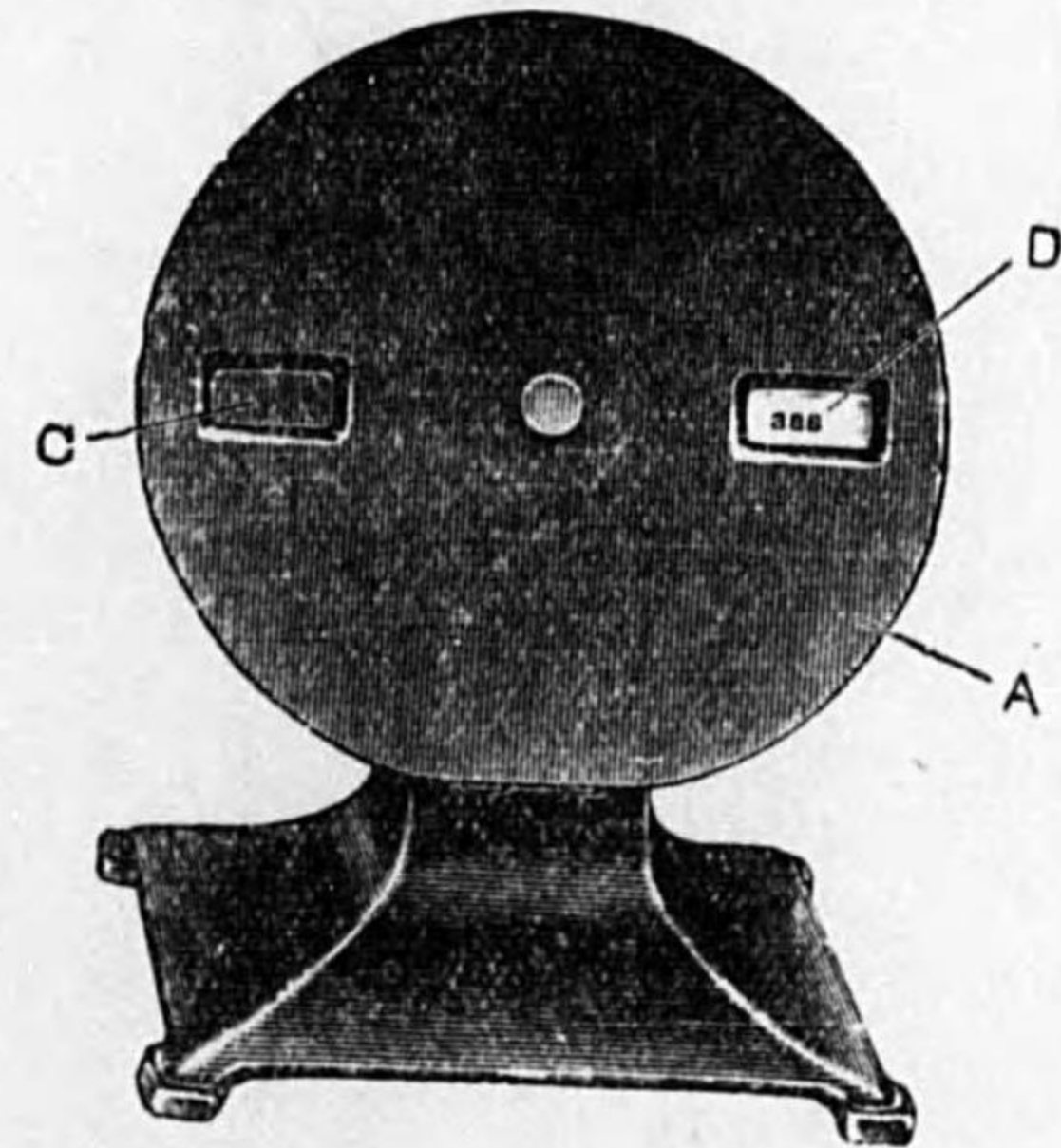


空間辨別検査 (第四圖)



A. 間 2mm. 目盛線 C. 移動盤捻栓
B. 移動盤 d 移動線

記憶力検査 (第五圖)



A. 衝 立 C. 窓覆(特種検査用)
B. 露出栓(本器裏面の下方にある) D. 刺 戟 盤

(ニ) 空間辨別検査は精密目測の検査をするものでd線をABの中間にもつてゆくことの正確さを見る(第四圖)

(ホ) 記憶力検査、これは器械的の記憶の検査をする。三字宛数字のあるものが二秒毎に出て来る。これを記憶するので、何回出して記憶したかによつて記憶力の採點をする様になつて居る。(第五圖)

其の他省略する。検査した結果は左表の如き受験票に記入する。一方には多數の兒童につき行はれた尺度となるべき點數表があるからそれと對照する事によつてこの個人の性能の長所短所がうかがわれる。これによつて適職への指導の指針とするといふわけである。

右は主として谷口文學士等によつて工夫考案された用具山越工作所のものに就て説明をしたのであるが、京都帝國大學等の指導により島津製作所で出來た検査器械も色々ある。目的も検査の方法も大同小異であるから茲では説明は省略する。さて小學校の職業指導施設として是非これ等の検査用具を必要とするかといふに多少考ふべきものがある。

勿論なきより有るがよい事はいふまでもないけれども第一検査の結果と一般の職業に必要な性能分析との關係に於て充分研究がつくされて居ない。即ち測定してもさて然らば實地の指導上いかにす

受 験 票						
籍 番 () 年 組 姓 名						
順序	種 目	成 績	品 等	所 見		
1	聽 力	右 左				
3	空 間	右寄 左寄				
4	光 度					
8	視觸覺		分	秒		
14	觸 覺	右 左				
4	反 應					
9	學 習	時 質	分	秒	點	
10	作業速度				本	
12	運 動					
13	握 方	右 左				
2	記 力				回	
5	構 成 力		分	秒	點	
6	注 意 力	深 廣			點	
11	選 擇 力	時 質	分	秒	點	
	備 考					

感覺知覺

運動機能

精神機能

品等は別の標準點數表と對照してA B C Dの四つに品等するのである。

るかといふ大切なところがうまくいかない。第二一般の小學校教師では中々使ひこなし得ない。第三一般小學校に備付けるとしては少し高價である。現在の經費の貧弱な一般小學校としては困るであらう。等々の理由が考へられる。自分はむしろこれは求職側即ち會社とか工場とかには是非備付けて採用者を検査するに用ふべきものだと考へる。もつとも右検査用具の中には是非何れの小學校にも備付けなければならぬものがある。

それは體格検査に用ふるものや視力、屈折異常色神の検査の如き感覺検査に用ふるものである。

(イ) 小學校として是非備付くべきもの

身長計・體重計・卷尺・發育概評決定早見表・萬國試視力表・石原式色育検査表・肺活量計・血壓計・握力計・メトロノーム・秒時計・體溫器

(ロ) 小學校として成るべく備付くべきもの

頭蓋計(タスケルチルケル) 胸廓計・鉛帶・觸覺計・坐高測定腰掛・背筋力計・特殊性能検査器
械一組(山越或は島津のセット)

五 職業指導個性調査票

一般教育に於て使用すべき個性調査票については拙者實際的個性調査法の中に稍くわしく論じたから今更めて書かない。其の際記載すべき要件として左のものを挙げた。

○児童Ⅱ氏名・生年月日・性別・住所（本籍及び現住所）

保護者Ⅱ氏名・住所・職業・児童との關係

○環境Ⅱ 家族Ⅱ父母・兄弟姉妹其他同居血族・奴婢・宗教・資産

其他Ⅱ近隣・交友

遺傳Ⅱ祖父母・父母・兄弟姉妹につき著しきもの・飲酒教育程度

○過去Ⅱ 生育期Ⅱ受胎時・胎生時・嬰幼時期等の發育狀況・哺育狀況・精神言語の發達・躑及入

學前特別教育保育等

疾病Ⅱ生育期の著しき疾病

身體Ⅱ體格・體質・疾病

智能Ⅱ注意・思考・記憶・想像等・精神年齢・智能率

性格Ⅱ操行・著しき氣質・長所短所・趣味・言語

學力Ⅱ各科成績・席次

○現在Ⅱ

○未來Ⅱ一般評價と未來Ⅱ生活年齢・精神年齢・教育年齢・成就指數・未來想定・職業指導

○偶發事項記入

右要項を基として作った個性調査票の具體例は前著第四章第二節にあり、つきて参照されん事を乞ふ。

さて職業指導に用ふる個性調査票はこの一般教育に使ふものとは大に異なる點がなければならぬ。

前者は其の狙ふところが個性に徹する教育といふ點にあつたのであるが、後者は適したる職業への指導をなすためのものであるが故に着眼點が異なるはずである。次に職業指導用個性調査票の作成様式について述べやう。其の主要々件は前述せる性能研究のところを之を示すわけである。

兒童・環境・過去等の部分につきては前記一般個性調査票記載要項と異なるものはない。唯過去の部記述はこれほど多くの要項を入れなくもよい。今少し軽く考へてよからう。現在の部に屬する部分に主力を注ぐべきものである。

記載要項

體格Ⅱ身長・體重・胸圍・坐高・下肢長等

體質Ⅱ體型・神經身體質・腺病質體質・胸腺淋巴體質等

○身

體力 || 握力・肺活量・血壓

疾病 || 肺疾患・心臟疾患・トラホーム・ヘルニヤ・各種倚形等

一般智能 || 精神年齢・智能指數・同上分類

特殊精神能 || 注意・記憶・想像・思考・構成創作・反應學習力・模倣力

感覺 || 視力・聽力・目測・光度辨別・視觸覺辨別・視覺屈折狀況・色神・觸覺嗅

覺・味覺等

作業能 || 運動速度・作業速度・力量・握力・正確度

特殊能 || 書寫力・算盤・器用・各種競技

氣質性格 || 内向性か外向性か・消極的か積極的か・憂鬱か清朗か・多血質膽汁質

神經質粘液質。

操作。

社交的か孤獨的か・優柔か決斷か・圭角的か圓滿か・性急か持久か・

端的か計畫的か・進取的か保守的か・獨立的か依他的か・才幹の有無

其他 || 言語・風采・容貌・舉止動作

○氣質性格 ||

○一般智能及特殊性能 ||

○學業成績 ||

席次・平均點

文科・理科・技能科の型による成績

特徴ある教科

○希望と趣味 ||

趣味興味

希望 || 本人の希望職業・家族の希望職業・其他の人の希望職業・教師の所見

○其の他 ||

家庭の資力及び進學能否

家職の系圖

○指導及び經過欄

これは個性調査記述要項としては理想で、事實小學校に於ける調査票にこれだけ嚴密に精密に書く事は中々である。特に特殊性能のところの感覺や作業能のあたりの調査には検査器械の使用を必要とするところがあつて、それは一般小學校としては困難な事情にもあり、一方適職指導の場合にかゝる事をも考慮に入れる場合はむしろ稀な事でもあるので省いてよいかと思ふ。身體狀況・一般智能・感覺の故障・特殊技能・特殊の氣質性格・學業成績・希望職業・家庭の資力及家職の系圖・

指導及び經過の大要等の欄は省くことの出来ないところである。
 以上の考へを入れて著者の作つた職業指導個性票の一例と参考として既に出来て居る優秀と思ふもの、二三を挙げやう。

第一例 (著者案)

第二例 (桐原文學士案)

右の二例は身體狀況及智能狀況のところに特に力が入られて居る。少し専門的の感がある。

第三例 (東京市職業指導研究會案)

適職指導				職業希望			學業						
				2	1	高 一	科 惡	教 好	席 次	技 能 型	理 科 型	格 性	
												高 二	短 所
過經導指				望希業職庭家			格 性						
年	年	年	年	理由	第一回調査	理由	第二回調査	理由					
月	月	月	月										
日	日	日	日										

導指職適				望希業職				業學能智							體身										境環							年					
				2	1	高	科	教	席	技	理	文		一	身	健	疾	聽	色	屈	視	營	概	胸	體	身	族家							年	月	日	生
							惡	好	次	能	科	科		般	體	康	病	力	神	折	力	養	評	圍	重	長	其	他	僕	婢	有	無	母	父	職		
													能	高													妹	弟	姉	兄	業	狀	保	護	者		
							短	長					分	一																							
							所	所					類	二																							
													法	高																							
													查	二																							
													法	二																							

學年	教科 修身	國語 讀書	平均 算術	珠算	國史	地理	理科	唱歌	體裁 採繪	圖畫	手工 事業	商業	外國 語	合計	平均	操行	出席 率	出席 病事	缺 事	遲到	早退	
1																						
2																						

年齢	項目 身長	體重	胸圍	概評	營養	脊柱	視力 屈左右	色 神	眼 疾	聽 力	耳 疾	齒 牙	其他疾病異狀	監要 察否	本人=對 スル注意
歳															
歳															
	吃音	腋臭	口臭	左利	不具	容貌							既往症		

希望職業

1. 父兄	1	2	理由
2. 本人	1	2	理由
3. 將來			選定職業
4. 家庭へ補助	要	否	出資 可 不可

經過及整理

昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日
昭和	年	月	日

第四節 職業研究

兒童と職業とを結び付ける適職指導に於て最も困難とするところは兒童を知る事と職業を知る事とである。其の中でも兒童は兎に角教師の前に居るのであるから困難といつても調査の方案が立つけれども、職業となるとそれが無限に分化して居るし、文化の進歩と共に益々分業化し益々複雑化してゆくののでこれを知る事は中々容易の事でない。恐らくは専門に職業の研究ばかりして居ても到底研究し盡されないであらう程複雑多岐である。それを學校教師が片手間の様に調べようといふのであるから全く驚くべき事である。しかしながら學校教育へ職業指導として適職への指導をとり入れる限りに於て職業に付ては無關心であるわけにはゆかぬ。少くも最も普通のもの、最も多いもの、其の地方にあるもの、其の學校出身者の多く向ふもの、時代的のもの、將來のあるもの特殊のもの等に就きては相當深い理解を持つて居なければならぬ。少くも兒童から相談を持ち掛けられた時にはその職業に就て調査し得る方法と方案と材料とを用意して居なければならぬ。これから少しばかり職業研究の行はれて居る現況につき述べ尙ほ若干参考になる資料を載せよう。

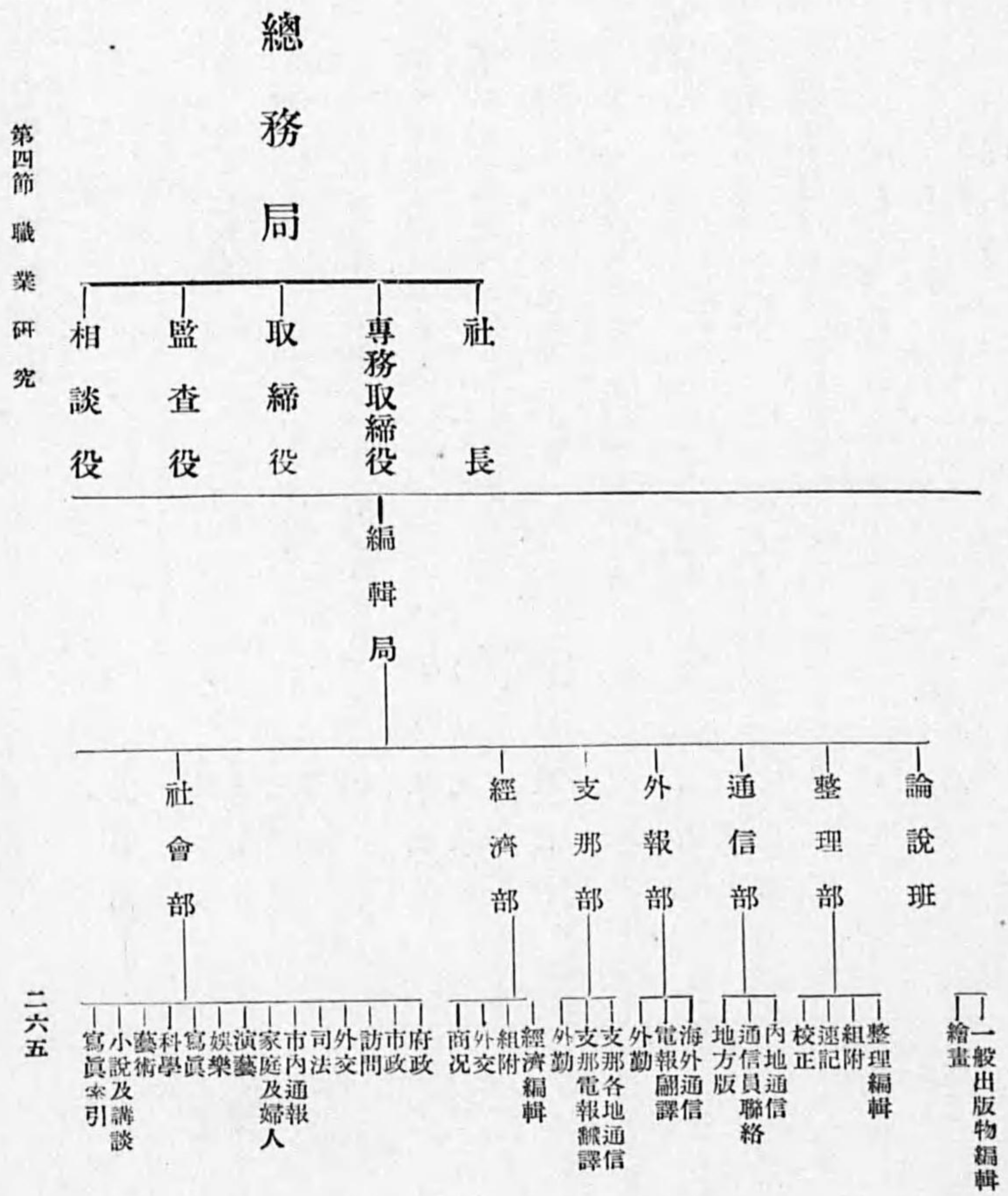
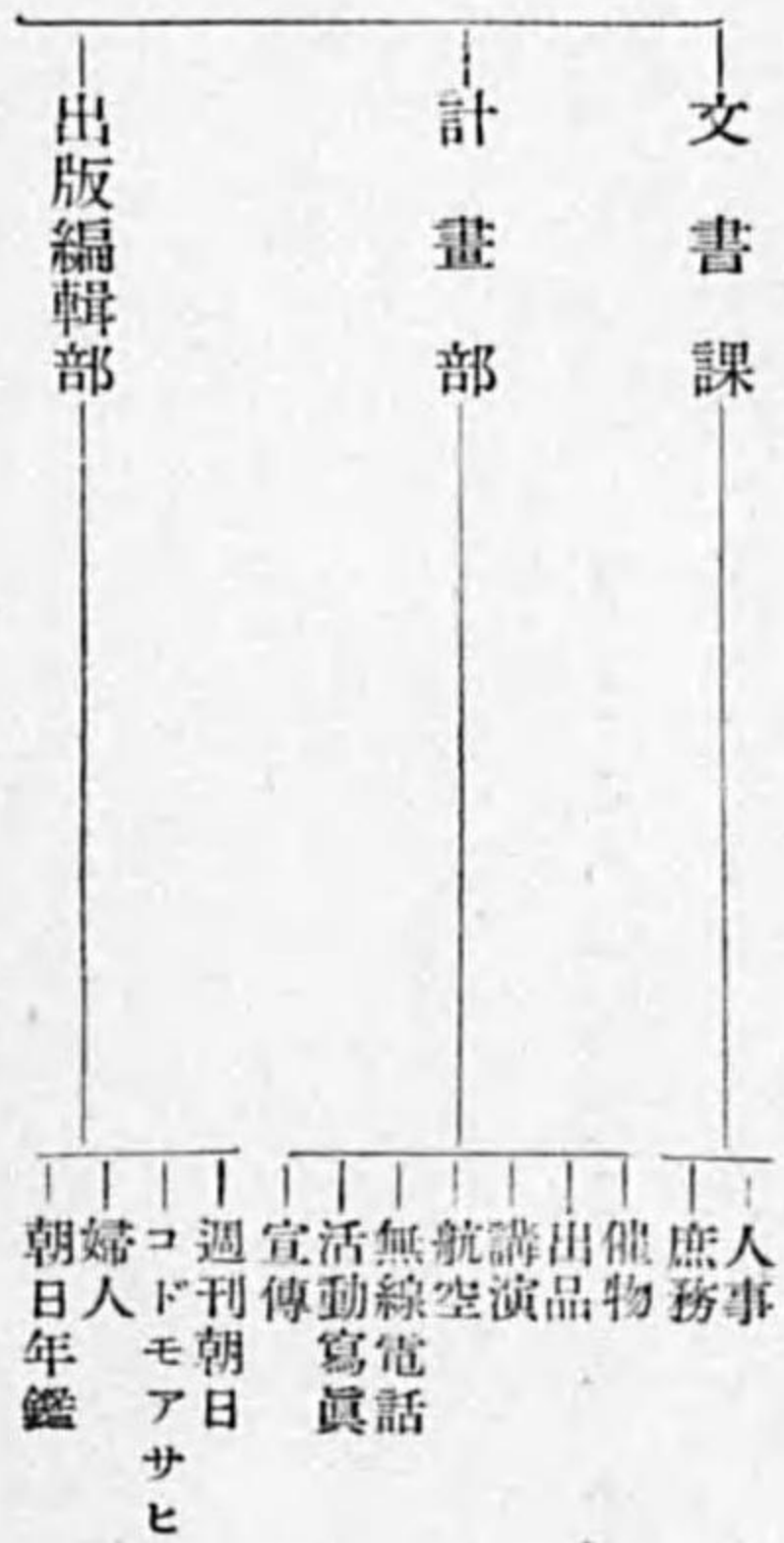
一 職業の分化

職業研究としては種類がどんなにあるかに就てざつとした概念を得て居なければならぬ。これは前述した様に随分多くに分類される。國勢調査に用いた大分類十、中分類四十一、小分類二百五十二といふ分類はあまりに粗雑であり、職業指導としては大した適當とも考へられない。其の中のどれか一つをとり出して見ると其の中に幾つかの全く異つた性能を要するものが含まれて居るのである。學者は職業分類を三千といひ三萬といふ、そんなに小さく分類されるのである。如何に小さく分類されるかを一例により見る、新聞社へ入るといふ場合に唯それだけでは新聞社の何をするのか全くわからない。新聞社の中の分業分類は次の如き系統になつて居る。(一例大阪朝日新聞社)。

〔參考〕

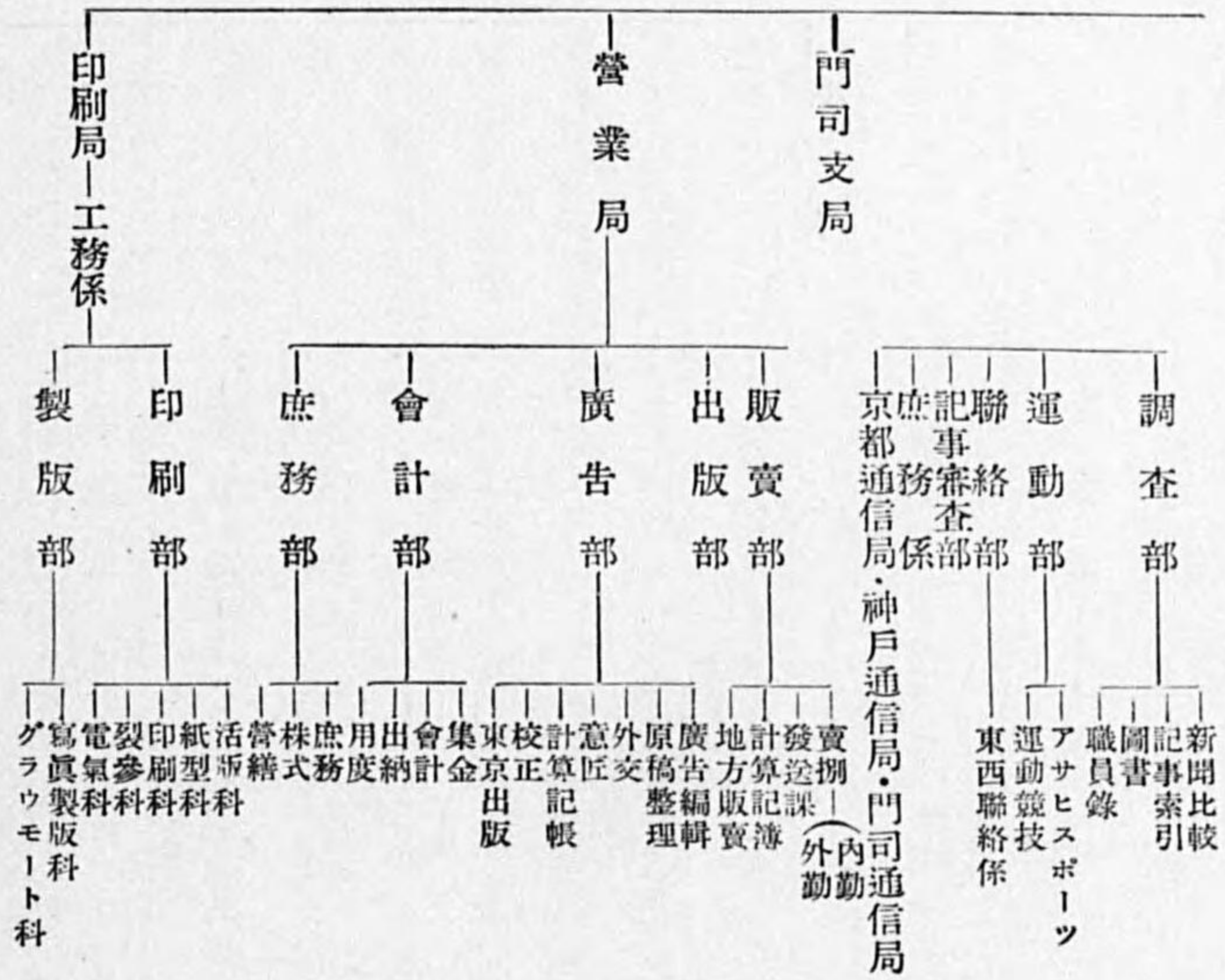
○職業分業分析の一例

(大阪朝日新聞社組織系統圖)



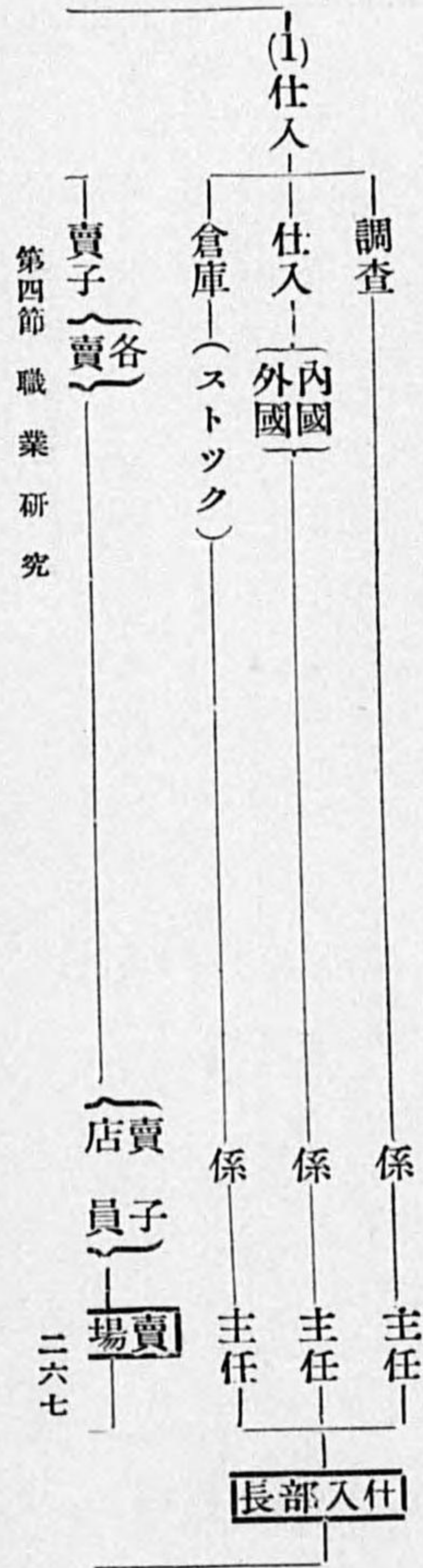
第四節 職業研究

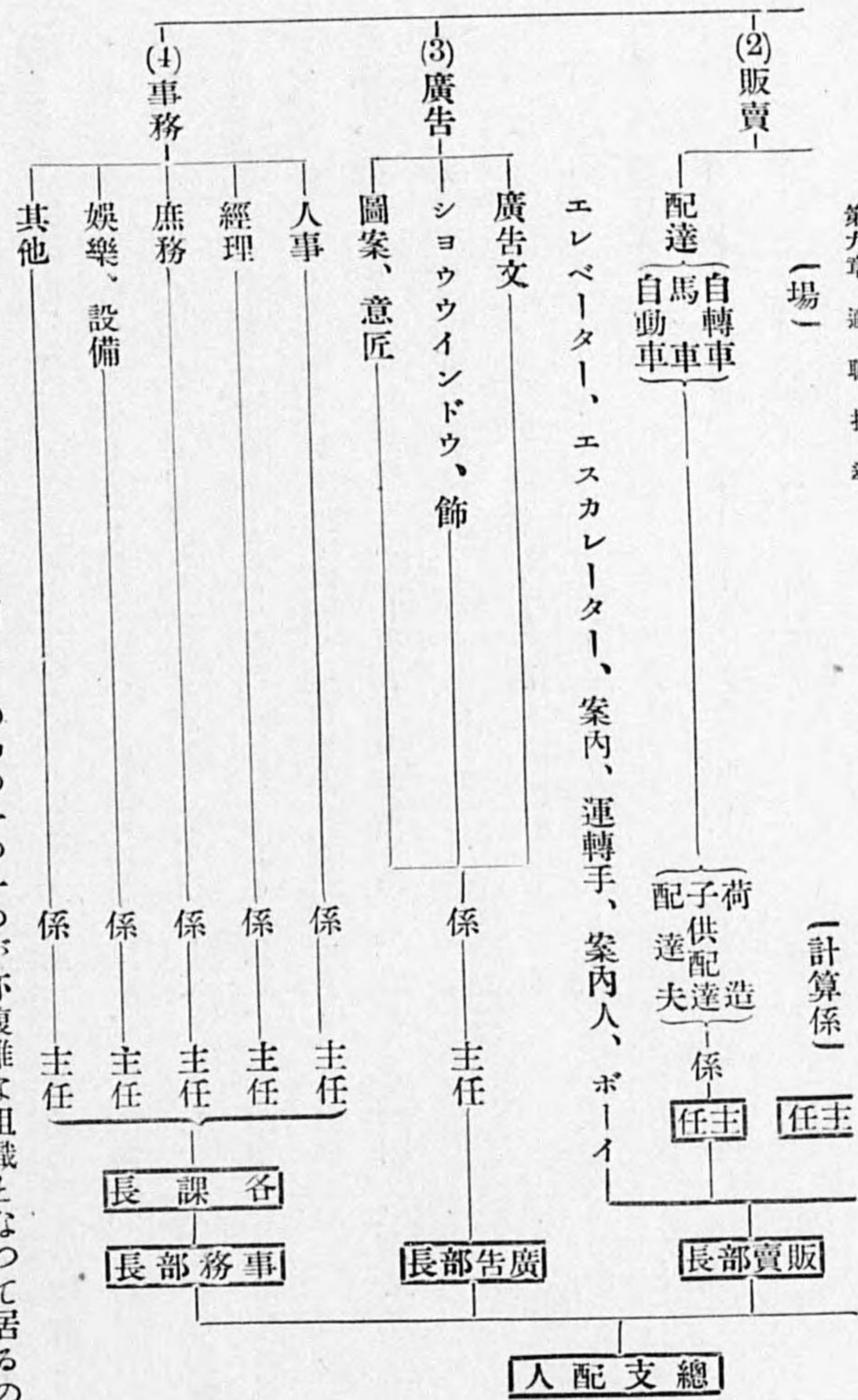
二六五



係係により其の仕事も種々様々だし、それに要する適性も極めて複雑である。随て唯新聞社に入るといつたとして擔當部面にしたがつてかく異つた分業が行はれるのである。今一つの商事會社としての百貨店の組織について考へて見よう。大資本で固定の大店舗により各種の商品を陳列して客を待つ組織である其の長所とするところは、總べての種類の品が揃ひ、自由に選擇する事が出来、縦覽隨意であるといふ便利があり、確實で良品が揃ふて居て安心して入れるし食堂や講堂や遊戯場其の他の催物によりて娯樂を充分にして以て信用を大ならしめて居る。近代商業は二つに分れる特色を持つ、一は集約して百貨店式になる傾向で一は賣品の専門化である。呉服店が、セル店、銘仙店、木綿縞店、帯店、モス店、ネクタイ店等に分化する傾向である。之れは全然相反する二方向である。次に百貨店の組織を書いて見よう。

百貨店の組織と機能





職業はかくの如く無數に分業化し、而もその中の一つ一つが亦複雑な組織となつて居るので學校教師として指導の場合にはこれを幾つかに分類して考へる外方法がない。自分は嘗て職業と兒童の成績との相關研究をした事があつた。其の際一小學校の兒童の職業を見ると八十幾種となつた。それを次の如く十四に分類した。これは兒童の成績に及ぼす影響といふ考へのもとに分類したものであるから適職指導の分類としては適當でない事は勿論である。

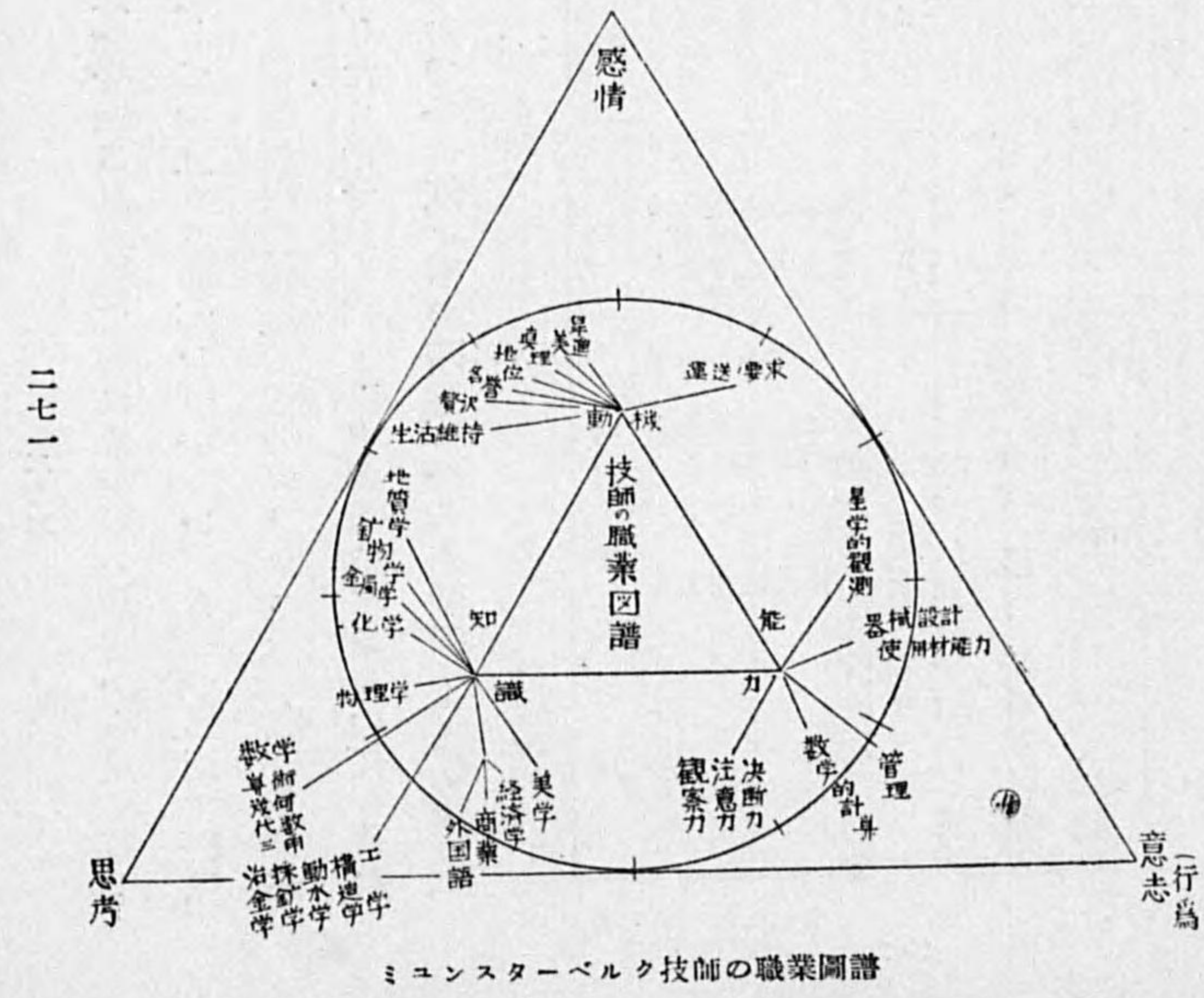
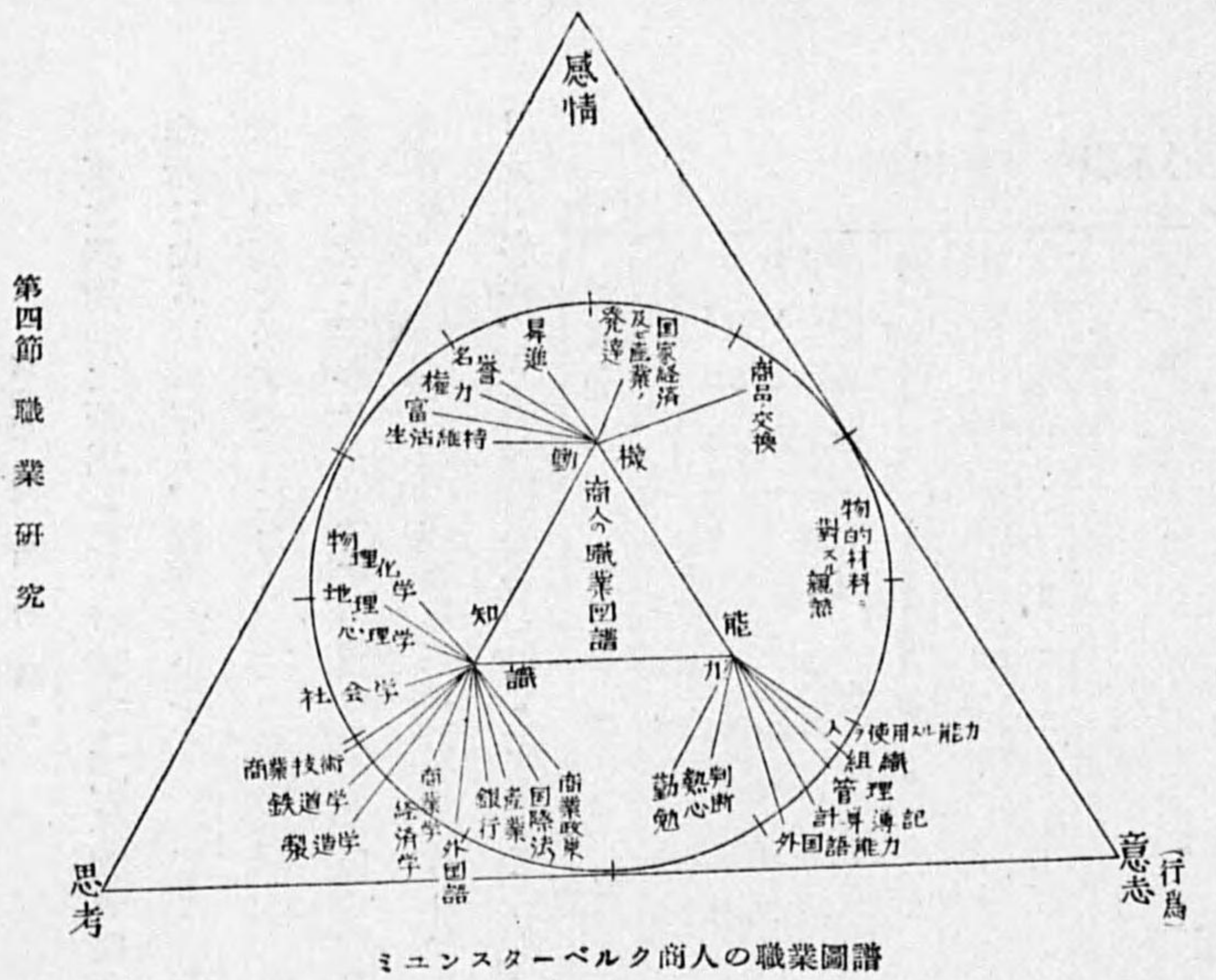
- 第一類 地主・屋主・金貸等資産ありて特に職を持たぬ家
- 第二類 醫師・辯護士・寺院・教會・三等郵便局・土木請負業等
- 第三類 官公吏・教師・銀行會社員・軍人・警察官・高級店員等俸給取り
- 第四類 大商店・仲買・物品問屋・卸商・運送店(店員三人以上)
- 第五類 小商店(第四類以下の物品販賣業一切)
- 第六類 工場・印刷業・鍛冶・傘・メリヤス・硝子工場・洋服仕立業等
- 第七類 旅人宿・料理屋・貸席・湯屋・理髮業・周旋業・下宿屋等
- 第八類 大工・左官・木挽・石工・鐵板職・ペンキ職
- 第九類 船夫・漁夫
- 第十類 店員・小使・使丁・郵便配達夫・赤帽・沖賣
- 第十一類 日傭・仲仕・車夫・傳使・馬車屋

- 第十二類 役者・活動辯士・力士・幫間・香具師・按摩
- 第十三類 農業・庭園師
- 第十四類 無職及不明。

嘗て第一師團各近衛師團の兵卒約六千名につき大正十三年九月に一般智能検査を施行した。其の際入營前の職業と一般智能との関係を見る研究も行はれた。其の職業は七種の大分類にされた。これは専門的職業・事務的職業・商業・技術的職業・半技術的職業・農業・労働これである。(個性研究のところ参照)

(二) 職業分析

以上は職業の分類についての研究であるが、次には一々の職業について如何なる性能や教育を要するかに就ての研究を見なければならぬ。これについてはかの名高いミュンスターベルヒ (Hugo Munsterberg) の作った職業圖譜が思ひ出される。それは感情・意志・思考・動機・能力・知識とに分ち次圖の如き三角形に示したもので、面白い表示方ではあるが常識の域を脱して居ないといふ批評は免れなす。(二例に止める)



第四節 職業研究

二七一

更に學問的に研究された職業心誌が外國では大分發表されて居て何れも教師の修養から見て若干参考になるけれども、我等が小學校の指導には大して役立てる事がむづかしい。も一つ外國で研究された例を示すことになる。次の表は Dunitz の瓦斯機械製造會社の技師クラウス (M. Kraus) が金屬工業に従事せる技術工の職業心誌として作成したものであるがよほど参考になるものだとして居る。これは心理學觀察を基にして作られたもので各性能を四の階段に分ち無關係、1 多少必要、2 大に必要、3 絶對に必要として記入してある。

金屬工の職業心

旋盤工	機械製作工				機械組立工	要必不…一 要必、 Δ 、 γ 、1 要必に大 2 必に對絶 3	備考 1 文、語、文、計 2 算、綴、文、計 3 熟、術、技 4 象、表、間、空 5 再、憶、記 6 意、注、力、解、理	純精神能力
	小物製作工	他金工	工作具製作工	機械組立工				
—	—	—	—	—	1	作、跡、筆、語、文、文、計、算、綴、文、計	1 純精神能力	
1	1	2	1	2	2	慮、思、的、術、技、(考、象、表、間、空)	2 純精神能力	
1	1	3	2	3	3	、生、再、憶、記	3 純精神能力	
—	1	2	1	2	2	、力、意、注	4 純精神能力	
1	—	1	1	1	2	、力、解、理	5 純精神能力	
1	1	3	3	3	3		6 純精神能力	
1	1	2	2	2	2		6 純精神能力	
2	—	—	—	—	2	、力、應、反	1 技巧又は意志的能力	
2	2	2	3	2	2	、測、目	2 技巧又は意志的能力	
2	1	1	3	3	3	、力、巧、技	3 技巧又は意志的能力	
3	1	2	2	2	2	的、律、の、力、業、作	4 技巧又は意志的能力	
3	2	1	3	3	3	覺、觸、る、な、細、微、別、辨	5 技巧又は意志的能力	
1	1	—	—	—	2	、力、體	1 純身體的特性	
1	2	—	—	—	2	於、に、業、作、量、力、久、耐、る	2 純身體的特性	
						眩暈を感ぜざるもの	3 純身體的特性	

(スウラク)誌

型工作	鑄製	截	鋳	鑄	鍛	摸
砂	粘	斷	力	物	冶	型
型	土	工	工	冶	工	製
—	—	—	—	—	—	—
—	1	1	2	2	1	1
1	2	1	1	1	1	1
2	3	—	1	2	1	2
—	1	—	1	1	1	1
2	2	1	1	1	1	1
2	2	1	2	2	1	2
1	1	1	—	—	1	1
—	—	1	2	—	2	1
1	1	1	1	—	2	2
—	—	—	2	2	1	—
—	—	1	—	—	—	—
1	1	1	—	1	2	3
—	—	—	—	1	3	3
						高熱に耐ゆるもの
						強烈なる騒音に耐ゆるもの
						塵埃及び高熱に耐ゆるもの

山越で出来た職業分析表がある。これは主として同所製の性能検査器を使用して測定した場合の分類になつて居るが参考になるので一部載せて見よう。(A B C D の四階段にしてあり A は絶對必要 B は必要、C は稍必要、D 必要程度最もすくなしを示すものである)。

職業分析表一例 (山越案)

職業	
能力	智聽
憶別	記空
應成	反構
意別	注光
別辨	度視
覺觸	習能
習學	技作
度速	業作
力擇	選
度速	動運
力握	握
力視	視
神色	色
覺觸	觸

洋品店	女性	十時間位 休養月二日位	色神、想像力、推理力、觀察力、社交性	腕指先	立業	高尋卒卒	三年位
ニクンリ	男性	十時間乃至十五時間 休養月一、二日位	器用、忍耐力、注意力、視力、色神	腕	立業	高尋卒卒	三年位
書籍商	女性	十時間位 休養月二日位	辨力、社交性、親切			高卒以上	三年位
呉服商	女性	十三、四時間 休養月二日位	色神、模倣、獨創力、注意力、社交性			高尋卒卒	五、六年
小間物商	女性	十時間位 休養月二日位	忍耐力、注意力、觀察力、社交性			高尋卒卒	五年位
理髮	女性	十四、五時間 休養月三日位	注意力、沈着、忍耐力、社交性	腕指先	立業	高尋卒卒	十四五歳より六七年
大工	男性	八九時間 休養月二日乃至五日	忍耐力、獨創力、觀察力	腕	立業	高尋卒卒	五年以上
銀冶	男性	八、九時間 休養月一、二日	沈着、注意力、視力、判斷	腕	立業	高尋卒卒	五年以上
看護婦	女性	病院にて八時間位 患者の状態にて不定	注意力、推理力、忍耐力、記憶、讀書力			高卒	二年以上
電話交換手	女性	八時間位 晝夜交替 休養日なし	聽覺、記憶力、忍耐力	指先	椅子	高卒	半年位

下駄屋	男性	八、九時間位 休養月二日位	忍耐、社交性	腕指先	立業	尋卒	七、八年
自轉車業	男性	十時間位 休養月二日位	獨創力、注意力、推理力、讀書力、社交性	腕指先	立業	高尋卒卒	五年乃至七年
製本業	男性	十五時間位 休養月二日位	忍耐力、注意力	指先	坐業	高尋卒卒	五六年
邦文タイピスト	女性	五時間乃至八時間 休養月二日乃至四日	視力、記憶力、忍耐力、讀書力	指先	坐業	高小卒	一ケ年
電信技術員	男性	八時間 休養一ケ年二十日以内	視力、聽力、記憶力、記述力、機敏	指先	坐業	高卒後 通信講習所	一ケ年
紡績女工	女性	十一時間位 休養月二日位	色神、忍耐力、器用	指先	立業	尋卒	二、三ヶ月
紙商	男性	十五時間位 休養月二日位	視力、社交性、忍耐力			高尋卒卒	五年位
疊職	男性	九時乃至十二時間 休養月二回位	忍耐力、注意力、獨創力	腕指先		高尋卒卒	五年乃至七年
表具師	男性	十五時間位 休養月二日位	色神、視力、記憶力、觀察力、忍耐力	指先	坐業	高尋卒卒	五六年
菓子製造業	男性	十二三時間 休養月二日位	味覺、注意力、模倣力、忍耐力、正直、機敏			高尋卒卒	六、七年

岡崎市梅園小學校で調査されたものがある。同校からそれらの職業先きへ質問紙を發して調査されたものである。其の際の調査項目は次の通りであつた。

- 一 御職業は
- 二 御職業で毎日の重なる御仕事は何ですか。
- 三 徒弟見習中の仕事は何ですか。
- 四 仕事は座業か立業か腰掛けか外出か何れですか。
- 五 身體上では特に如何なる部分の働きを要しますか。
- 六 如何なる性質のものがよいですか。
- 七 如何なる性質又は身體の者は到底望みがありませんか。
- 八 一日中何時間位の勤務ですか。
- 九 貴職業に従事するには學力は何程がよいですか。
- 一〇 年齢何歳位からがよいですか。
- 一一 年期は何年位か又は何歳位で一人前になれますか。
- 一二 住み込み年期ですか、通勤ですか。

二一三 一人前になつた後凡二十歳乃至三十歳頃には何程の収入ですか。

一四 年期中又は年期明け後にはどんな待遇が出来ますか。

一五 年期中教育をうける都合がつかますか。(補習學校、青年訓練所)

一六 一生出来る仕事ですか普通何歳迄出来ますか。

一七 將來家族にも手傳はせる事が出来ますか。

一八 一人前にならずしてやめるものゝ原因は何ですか。

一九 貴職業で一番楽しみとし苦しみとするは何ですか。

二〇 貴職業で成功するには如何なる順路を進むがよいでせうか。

右を基にして會社の支配人か商店主や工場主等から得た回答の中一二を例示する。

呉服商 (個人經營主人答) 初めは仕立屋使ひ得意廻り見習。座業が主。正直と從順大切粗暴不可。夜は十時まで。高小卒十五歳位より年期十年住込み後は通勤。年期中衣食を給し貯金方法をとる。通勤四五十圓給與。一生家族にも出来る。自己を過信し世の中を輕視するは不可。職業に興味を持ち成功の楽しみ大。經驗練達信用大切。

牛乳搾取業 (名古屋牧場徒弟答) 立業外出。肩手全身。元氣活潑。動物愛。十五六時間。朝二時

半起床。尋高半十五六歳より壯丁まで住込み。教育不能家族手傳可能。年中休みなし。住込み。小賣收入八九十圓。

指物業（主人管） 机戸棚社殿。木製家具。立業。手足全身。忍耐力根氣よきもの。十時間。高卒十五歳より六七年住込み。日收二圓五十錢。年期明け工具一式禮服金五百圓給與。伊勢參宮教育出来る。着色家人手傳。飲酒錢使ひあらき者不可。製品出来上り楽しみ。よき細工と信用第一。巡査 頭腦、文筆の働さを要す。温厚篤實、有事に勇敢。八時間。高卒。滿二十歳より志願、教習所入學。勤務十ヶ年にて恩給。初任四十圓外六圓、尙被服を給さる。凡七十圓迄。五十歳位まで本人の努力によりて進級出来る。

職業研究については岐阜縣長良小學校に色々進んだ研究調査がされて居る。パンフレットの形で出して居られる。其の中二三の實例を借りて研究調査の方法を示す事にする。

雷車従業員（美濃電會社）

一 身體的要求。普通の身體であれば可、然し相當に劇務であるから、内臓の疾患のある者は適しない。視力や聴力に缺點があつてはいけない。

二 必要な性格。公衆に接するのであるから親切で正直である事常識に富むことなどが必要である

運轉手の如きは注意周密にして着實なるを要す、

三 教育程度。尋小卒高小卒何れにても可。

四 作業條件。(1)労働時間、改札掛は午前六時より十一時まで十七時間。車掌や運轉手は九時間、(2)休養制度、改札掛は三日目毎に車掌運轉手は八日目に休養す、(3)性別、女子は適せず。(4)就業始期、改札掛は十三歳、車掌は十六歳、運轉手は二十歳。

五 雇用條件。(1)改札掛は滿十六歳に達すれば車掌見習として約一ヶ月勤務、(2)車掌滿二十歳に達すれば運轉手見習として約一ヶ月勤務。

六 待遇。日給制度であるが月收は改札二十圓、車掌運轉手は四十圓乃至四十二圓である。被服は支給される。合宿所の設備がある。

七 採用方法。尋高卒にて改札掛になるには常識の考査や算術讀方綴方の簡単な試験をなす。初めて車掌とならうとするもの(滿十六歳)は常識的考査をなす。改札掛を経たものは無試験。車掌から運轉手にならうとする者は營業課に申込むと課長から許可され見習となり實力を認められる。と採用せられる。最初から運轉手希望のものは車掌と同程度の試験をなし見習約一ヶ月にて運轉手となる。

八 其の他。従業中は金銭を勝手に使用し得ず又衣服中に入れ置く事を許されず。休養の際監督之が検査をなす故に此の職業人は金銭を徒費すること少し。

表具師

- 一 身體的要求。手先を使用する爲、手及指等に缺陷があつてはならない。又主として坐業であるから消化器呼吸器に障害のある者は不適當である。
- 二 感覺。白いもの細かいものに多く接する故色盲近視眼及び疲れ易き視力の者は適當しない。
- 三 必要なる心力、能力、特性。
人の品物を取扱ふのであるから殊に正直親切で何事にも丁寧に精密になす者を好む。注意力・記憶力・観察力・忍耐力は共に必要である。生れつき器用な温順着實な性格なものがよい。其の上相當の社交性もあれば眞に結構である。
- 四 教育程度。尋小高小卒何れでもよし。
- 五 作業條件。
 - 1 労働時間 規則的でなく家内作業であるから晴雨に拘らず一般に長い。
 - 2 休養制度 月二回、盆と正月。

3 就業時期 尋小高小卒業直後が最もよい。

六 雇用條件。1 勤務状況及待遇。住込小僧として年期奉公をする。初め一二年は行儀見習として紙つぎ便ひ歩き、其後紙表具にうつり充分仕事になれた頃大切な手を教はる。習業中は小使錢盆正月は衣類、年期明けに道具一通りを給せらる。

2 修業年限、普通は五年乃至六年であるが本業は技術型の職業で自分の腕が先づ充分出来てゐなければならぬ。それ故修業年限も成るべく長く、よく仕事に習熟する方がよい。

七 時代の趨勢との關係。比較的少い職業ではあるが、日本室の裝飾品として缺く事の出来ない品々を取扱ふ爲め今後衰頹することはなからう。

八 本業の特徴。資本として先づ四五百圓あれば間に合ふ。此の業はいたつて地味な方であるからこれに従事するにも繪畫、骨董品等に趣味を持つ様な人が好ましい。得意先も中流上流が主であるから、これ等の人も交際出来るだけの行儀作法は心得ておきたい。又景氣不景氣にあまり關係せず。室内の坐業で力量も大して必要でないから身體的の苦痛は少い。けれども大金の品を扱ふたり、家の寶ともなるものを仕上げたりするのであるから責任は重い職業である。

電話交換手。

一 身體、感覺、心力、能力及特性。

職掌上手及耳等に故障無きこと、注意力記憶力等が必要である。機敏にして親切、綿密、忍耐等の特性を要す。獨身者で性質溫順な者に限り採用される。

二 教育程度。高小卒。

三 作業條件。

1 労働時間 季節によつて相異はあるが八時間位。

2 休養 見習の時は祭日及日曜を休養す。交換手になつてからは休日無し。勤務は朝七時から午後四時までと、午後四時から朝七時までと、交代して行ふことになつてゐる。

3 就業始期 十五歳位を適當とす。

四 習業年限 交換手と名づけられるまでは一ケ年を要す。併し三四月間の見習で仕事の大要は習得することが出来る。

五 待遇、給料は日給、上六十五錢。中五十七錢。下(見習)四十五錢位になつてゐる。六ヶ月毎に日給を増される。就業後二年を経過せば年功加俸月額約八十錢、參年後は約一圓五十錢、五年以上経過せば三圓を支給せらる。七年以上になれば月給を給せられる。三年以上就職したものが退

職する時には退職資金や組合金等を與へられる。

六 其他。以前は無試験で尋小卒でも採用されたが、現在では高小卒以上のみ採用し且つ採用試験がある。有夫は採用されない。裁縫・生花・茶道等の修養もする事が出来る。

(四) 職業研究に對する教師の常識

以上で職業研究の困難なる所以、職業研究の方法及び職業研究の行はれて居る數例を挙げた。これまでに研究されて居るものは大體こゝに記述したのでつくして居る。其の外に實例は澤山あるけれども方法は大體述べつくした形である。具體の例はいくらでもあるけれどもそれはあまりに本書が大部のものになるので何れもほんに一例のみ挙げたのである。そこで次に問題になるのは兒童の適職指導をなす場合に教師がどの程度まで職業研究して居なければならぬかといふ問題である。前にも述べた様に専門にそれのみ攻究の對照にしてもやりきれない事業であるから學校教師が片手間の様に調べるのでは大した深い研究は出来ないといふ事である。そこで如何にすればよいかといふ實際問題に逢着する。自分は常に教師が心掛けて職業に関心をもち又其の方面の實地に注意して居ればそれでいゝと思ふ。かくして出來上つた常識が尊いと思ふ。適職指導といつた場合この教師の

職業に關心して居る常識で結構だと思ふ。兒童の職業選定に關與するのは兒童本人の考へか父母兄弟の考へか或は伯叔父母其他縁故深き人か學校教師かである。其の場合に最も廣く職業について知り居り、全體に關しての識見を持つのは矢張り學校教師である。兒童本人はまだ全く未経験だし其の識見は極めてまとまらない出鱈目である。父母や親族の人達にしても其の見る目は割合狭く、到底教師には及ばない筈である。即ち教師の職業に對する健全な識見によつて指導するのが最も正しい方だと思はれる。教師は常にどんな職業についても、

- イ 何をするのかどんな仕事か。
- ロ 身體のどこを主として使ふか、身體的條件如何。
- ハ 特性としてどんな事を要求するか、學力智能如何。
- ニ どんな性質、性能をもつて居てはつとまらないか。
- ホ 何歳位から就業し、何歳位で一人前になれるか。
- ヘ 収入如何、休養其他待遇如何。
- ト 本業の將來。
- チ 社會的價値の有無。

等を考へて居る事が必要だと思はれる。特に其の地方にある職業、其の學校卒業生の多く向ふ職業新時代の新職業等については深い理解を持たねばならない。

第五節 郷土研究

兒童の性能の研究が出来、職業の研究が出来たとして、次に考へなければならぬ問題は郷土の研究であると思ふ。郷土の諸事情に立脚した指導でないと到底本當の職業指導としての體系と成り得ない。即ち郷土の自然の力と將來、郷土の産業の現状と將來、郷土の住民の現状と其の將來及び郷土の風習や慣習等の傳統精神等の中には就職についてよほど考慮すべきものがある。これ等が根本の條件とならねばならない。山村・農村・漁村・市街隣接地・市街地、職業の方から云へば、林業地・農業地・漁業地・小工業地・工業地・商業地等により兒童の指導を加減しなければならぬ。又土地の人に海外渡航者が多いとか、他地方への出稼人が多いとか、或は一定の時期に出稼する者が多いとかいつた事があれば亦職業指導上考慮しなければならない。こんな色々の郷土の特殊相を深く考慮に入れて教育して初めて土地の個性に順應した教育が出来るのであるし、永續的の基礎のある計劃が出来る。

來るのである。

郷土の自然と社會

こゝで郷土とは其の學校の存在する區域の謂で普通は其の町村である。先づ郷土の自然の狀態と社會人事の狀態とを明にし、其の中から職業指導の體系を立つべき要素を抽出しなければならぬ。自然及社會の狀態として一應調査すべきものは左の如きものであらう。

- 一 土地全面積
- 二 耕地面積
 - 1 田地
 - 2 畑地
 - 3 宅地
 - 4 鹽田其他
- 三 山林面積
- 四 主要なる耕種作物
 - 1 田地
 - 2 畑地
 - 3 山林(材木)

五 住民數

- 1 戸數
 - 2 人口
 - 男
 - 女
- (大人 小人)

六 職業別戸數

- 1 農業
- 2 工業
- 3 商業
- 4 公務自由業
- 5
- 6
- 7

七 主なる副業と其の戸數

八 産業收益

- 1 農業 (内譯)

- 2 工業

- 3 商業

九 移出入物資と其價格

- 一〇 町村税 總額、一戸當平均
- 一一 一戸平均一ケ年生活經費概算

- 一二 生活に於ける態度
- 一三 特殊事項

以上は一農村を基にして考察したものであるが、漁業村にしても工業地にしても商業地にしても之れに準ずる。更に一戸の經營の仕方の平均の状態研究を要する。次に其の具體的の一例を示すことにする。

實例 農業經營

- 一 場所 山口縣××郡××村字××
- 二 家族。(仕事の分任)

要素	勞力	主たる擔任
父	一、〇	養畜・養鶏・養兔・雜事家政統理
母	〇、五	家事・養蠶・養鶏・子守
長男	一、〇	農耕
妻	一、〇	農耕・養蠶・家事

三 耕作反別及生産概況

三男	〇、六	農耕手傳
小人二人	〇、〇	
計 七人	四、一	

作物	耕作反別	收量	價格(概價)	備考
水稻	八反	四八俵	三八四圓	
大麦	一反	六俵	二四圓	裏作・主として牛の飼料とす
裸麥	二反	一〇俵	五〇圓	裏作
蔬菜	四畝		二〇圓	内佛掌薯一畝歩
甘藷	五畝		一〇圓	
紫雲英	四反		三〇圓	内刈乾二反歩 收量六十貫
桑園	二反			
果樹園	五畝			蜜柑及び夏橙

計	五一八圓
---	------

備考 △米は家族の食料として二十俵残し、餘は賣却月々に分ち平均賣とす。裸麥食料四俵其
他賣却。

△肥料は自給主義(レンゲ・堆肥・鶏糞・人糞尿等)

△年間傭人をなさず。

四 副業収入。

1 養蠶	一〇八圓
内譯	春蠶 二匁 繭收量 十五貫 價格 六十圓
夏蠶 一匁 繭收量 四貫 價格 一二圓	
秋蠶 二匁 繭收量 十二貫 價格 三六圓	
2 養鶏	一二〇圓 飼育鶏數四〇羽
3 養兔	自家用
4 藁細工	三〇圓 主として鹽吹

5 薪	三〇圓 山林收入
6 牝牛	二〇圓 隔年仔牛分娩、牛乳自家用
7 果樹收入	三二圓 主として蜜柑・夏橙・柿
8 雑収入	一〇圓
計	三五〇圓

五 諸支出

1 主食費	一八〇圓 米二十俵 裾麥四俵
2 副食物費	七二圓 魚肉類等、蔬菜類は自家にあり。
3 薪炭調味料費	三〇圓
4 電燈新聞費	三〇圓 電燈二、新聞一種
5 諸税金	一二〇圓 農會費組合費も含む。
6 肥料代	四〇圓 石灰・過磷酸・アンモニヤ等
7 蠶種代	九圓
8 鶏飼料代	四八圓

9	農具補充修繕料	二〇圓
10	被服補充家屋修理	三〇圓
11	交際費	二〇圓
12	醫藥費	二〇圓
13	子供教育費	一〇圓 一人小學校兒童。
14	簡易保險掛金	六〇圓 大人五人加入、月掛一圓宛
15	雜費	四〇圓
計		
	收入	八六八圓 (農耕 五一八圓。副業收入 三五〇圓)
	支出	七二九圓
	純益	一四九圓

備考 純益及び醫藥費雜費等の剰餘金は信用組合へ預金

右は自作農(自己所有だけの農耕)で相當副業に力を入れる家庭として立案。小作農とすれば地主への納米が入用である。其の代り税金がずつと安くなり。一切の經費をうんと節約する必要がある。

る。

右例の如き諸調査が出来ると茲に於てこの村の農業を經營し發展する爲めには人口幾人を要し、戸數幾軒を要し、勞力幾何を要し、資本幾何を要する等の概算が立ち計劃が立つ。これに基いて土地に留るべき者、出で、他地方にて商工業公務等に就き得る者の概數の研究が出来、漸くにして郷土に即したる職業指導の體系が出来るわけである。

次に調査すべきは郷土の主要職業の業態や其の將來に就てである。何處にしても必ず土地には主要な職業があり主要な副業があり、又所によると他地方には少い特殊な業務があるものである。これ等について充分知悉して居なければならぬ。

實例を著者現住の山口縣室積町にとれば地方の職業分布は農三二%商三四%漁一二%工一〇%其他一二%になつて居る。而してこの中にて地方特殊の職業とも見るべきものは、漁業の二三種、船大工、煮干製造業等である。又この他に我が國でも有名な杜氏の多い土地である。杜氏とは冬期から春へかけて酒釀造時期に酒造工場に備はれて釀造業に従事する職業である。年中あるのではなく、一定の時期だけの特殊な仕事で、農閑時期にやる一種の副業なのである。

第六節 積極指導と消極指導

學校を卒業して愈實社會に出てゆく兒童に對して、學校として適職への指導をなすといふ場合に大きく二つの態度がある。一は積極指導であり、一は消極指導である。自分は積極指導消極指導の區別を三つの方面より考へて居る。學校を卒へて實社會へ出てゆく兒童總てを相手に考へて指導し適職へ就かしめようと計畫するか、せめて一部の兒童でも考へて指導するか其の一であり。兒童側に職業豫選があつて指導を求め來るのか、職業豫選がなさまゝに指導を求め來るのかの區別は其の二であり、適職を選び出して就職を薦めるのか、不適職を選び出して之を拒否するのの區別は其の三である。兒童全部を相手に考へ、職業豫選なさまゝを指導し、適職を見付けて推薦するのを積極指導といひ、之に反して兒童の一部を考へ、職業豫選ある者のみにつきて指導し、不適性に目をつけて之を拒否し、其他はよいものとして指導を與へるのを消極指導と云ふ。

結論を云へば自分は小學校の職業指導は消極指導でなければならぬ事を主張する。積極指導は理想であつて、到底不可能である。これ等について以下に少し説明する。

(一) 兒童の全部と一部

學級の兒童四十人五十人といふ多數の者全部につき適職への指導をしてやる事は理想ではあるが中々容易ではない。専門に職業指導かゝりきりの人があればある程度までやり得るであらうが、大體は受持教師が中心となり學校の職業指導の係りと學校長との協力により之を行ふ事になるのであるからあまり多數では到底出來ない。殊に日々の普通の教務事務一切には少しも省くところはないわけであるから、しかく容易ではない。勿論全級兒童の個性調査票を造るとか、職業指導票を作成するとか、希望職業調査をするとかは全兒童にわたり成さねばならないけれども所謂適職への指導となると全然個人別の性質を有する事となるから少々の時間では出來ない。然らば如何に考ふべきかといふ問題になる。自分は教師としては先づ學級中の若干の特別兒童に着眼すべきだと思ふ。即ち特殊事情の兒童につき先づ適職への指導をなし、漸次普通一般の方へ及ぼすがよいと思ふ。先づ着眼すべきは優秀兒劣等兒低能兒貧困兒其他特殊の境遇に居る者、身體上の大きな故障のある者、非常に優れた天才的の特徵を有する者等である。

優秀兒は社會の先導をなす者で適所につく事は社會國家より見て非常に大切な事であり、又本人

としても不適な職業に置かれると不平を持ち自然不幸の生を送る様になる。劣等低能児はよき導きが無い時には何の職にもつき得ず世に最も不幸な落伍者となり、遂には犯罪人などの中に陥るものである。あわれな同情すべき能力の者こそ先づ眼をつけなければならぬ者である。或は貧困とか両親を失つて居るとか、本人の収入が必要である様な場合の者も亦教師として着眼してよく指導してやらねばならぬ。又不具や痲疾等で人並み外れの身體の者も亦旨く指導してやるべきものである。特別の境遇でもなく、特別の成績でもない者はどの職業に就いたとしても一人前にはなれると考へられるので指導としては最後へまわす、都合では特に指導しなくても何とかなるものだと考へられるからである。要するに特別の事情のあるもの、特殊優劣の能力の者に先づ着眼しそこから初めるべきである。

(二) 兒童に職業豫選の有無

「先生私は何になれば宜しうありますか、御指導下さいませ」といつて来た場合と「先生私は理髪師にならうと思ひます。いかゞでありませう、御指導下さいませ」と云つて来た場合とは全然事情が違ふ、教師として適職への指導を考へてやる場合、前者なら不可能であるが、後者なら可能であ

る。何となれば前者は兒童が何になれば宜しきかを尋ねて来たのであるから、兒童は限られて居るが職業が限られて居ない。即ち世界にある無数の職業が對照である。兒童の性能がいかによくわかつて居ても、無限の職業の中のどれが最もよく適するかは勿論わからないからである。しかし後者即ち私は理髪師を希望します如何でせうと云つて来た場合には、兒童も限られて居り、職業も唯一つに限られて居る。この場合には兒童の性能其の他の事情を考へ、理髪師といふ職業の分析をなし、それと對照して適職と見るか不適職と見るかを考察して適不適の指導をなさねばならないし、成すべきである。これをも不可能とすれば適職への指導は全く出来ない事になる。

この私は何を希望します、如何でせう、と申し出るやり方が即ち職業豫選の有るやり方といふのである。隨て豫選の職業が無い時には事實に於て指導はむづかしくなる。而してこの職業豫選は如何にして決定すべきかといふに二つの要素がある。兒童自身の希望興味によりて出来るのと、家庭の意嚮によるものとがこれである。屢兒童の希望と家庭(父母兄弟或は伯父など)の希望とは異なるものである。其の双方が一致して豫選となれば好都合であるが、この二つが異つた場合には止むを得ぬこの二つを持ち出して豫選とする。

「私は何になり成り度く思ひます。父母は何になればと申されます。私は父母のいはれるものはあま

り好みません先生の御考へを聞かせて下さい」

といった形で申し出る。この場合は職業が二種あらはれた形である。大體兒童が非常に嫌忌すれば家庭の希望のものと雖もあまりすゝめる事は出来ない。しかし境遇や適性を考へ家庭の希望のよつて起れる理由をも知り、それが非常に適して居ると考へられたならば或る程度までは教師からすゝめて考へを換へさす必要も起るものである。即ち小學校の適職への指導は必ず兒童側に職業豫選がなければならぬ。

而して兒童がこの職業豫選は何によりて決定するかといへば、それが小學校八ヶ年間の職業指導によりて出来るのである。特に高等科となりて課す職業指導講話はあづかつて力となる筈である。即ち適當な系統的の案のもとに行はれた職業指導は兒童をこゝまでは導き來り居るのである。

(三) 適職か不適職か

兒童が「私は理髮師になり度いと思ひます」といつて指導を求めて來た場合教師の着眼すべき點は適職か不適職かといふに、先づ不適の部面でなければならぬ。即ちこの兒童の身體狀況・性格・學力・智的素質・特別性能境遇等につき審かに觀察研究し、又職業理髮師の仕事の業態所要性能・所要氣質

性格・收入・將來等につきて審かに考察して、どこか不都合のところはないか、不適のところはないかに着目する、而して格別障害がない場合には適職なりとして指導を與へるのである。それを性質や氣質や特殊性能やの適する方面に着目してよい職業だと薦めるのはよくない。何となればこの兒童の性能に適する職業は外には尙幾多あるべき筈だからである。即ち先づ不適の要素なきかに着目して、それが無ければよしとするのである。例へば赤緑の色盲の一男生が、自動車の運轉士になり度い希望を以て意見を求めて來た場合、色盲は交通業の如く夜間色火を以て信號する職業につき事は危険であるから、君は色の判断が少し出来ないから交通業につく事は危険でもあり、試験もパスしないであらうから、これは止し給へ。そして外の職を選び給へ。と指導を與へるのである。かくの如く不適職の場合を拒否して外は即ち適職なりとの指導を與へるのが職業指導の消極的態度といふので、小學校に於ける適職への指導は要するにこの外には出で得ないと思ふ。

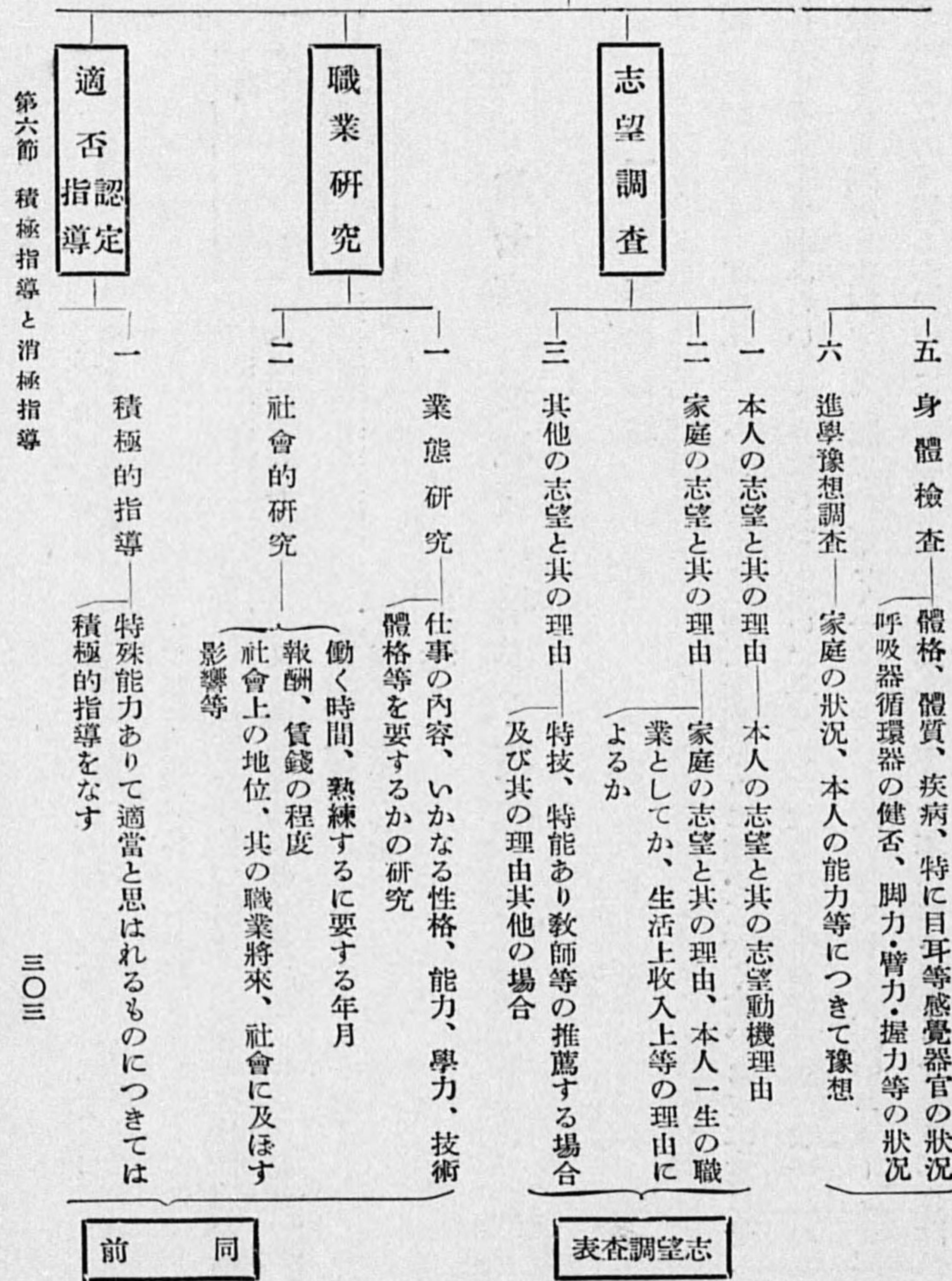
然しながら中には非常に著しく適職がわかる場合には積極的に適職として指導してもよいし、さうした必要もある。手先きの器用な手工に非常の興味を持つ兒童が大工や指物師を希望して居る場合などには適職として指導してもよいと思はれる。

(四) 適職指導の體系

以上述べた全児童を指導しやうとせず、一部でもよい指導しやうと計畫し、必ず児童に豫選せる職業を携帶せしめ、不適の部面なきかに着眼して不適のものを拒否して其の他は何れも適職として指導を與へる事を自分は消極的適職指導といひ、これが小學校の指導方法であると思ふ。今この適職指導の順序を表にして見れば、



(表原田守) 職業指導



第六節 積極指導と消極指導

二 消極的指導

志望職業につき其の業態及社會的研究をなし、個性調査と比較し、不適のものあれば之を指示して更に考究せしむ

職業紹介

(連絡職業紹介所)

本人の希望によりて學校にて職業紹介をなし又は職業紹介所へ紹介を依頼す

所紹介

結果調査及指導

就職状況の調査

爾後の指導及督勵

第七節 就職後の指導と鞭撻

(一) 卒業生指導

小學校の教師は兒童を學校卒業といふ所までは實に大切さうに導いて行くが、さて卒業させると其の後は全く手放して顧みない。ふり向きもしない。卒業した彼等は親や親類縁故を唯一のたよとして社會といふ荒浪に直面する。隨て都合よく一生の方針を定め得て尊き人生のスタートを誤なしにきる幸福な者も居るが、中には何の導きもない爲めに慘めな不幸なスタートをきるべき餘儀な

くされる者もある。學校に職業指導の必要が叫ばれる様になつたのは外にも理由があるが、又かゝる弊に對する警告とも考へられる。一般初等教育者はこゝ等に猛省しなければならぬものがあらう。もつと卒業後の兒童生徒にまで指導の手を延ばさねばならぬものであらう。勿論法理上の責任から考へると、卒業と同時に師弟の直接の關係は切れるものであるから、後は野となれ、山となれ、吾關せず焉と知らぬ顔で濟まされない事はない。しかし師弟の道德上の責任がそんな事で濟むものではない。若し卒業したらもうあとは責任はないなどといふ教育者があれば其の教育精神は見えない。たもので、唯教育を法が定めた國家の事務以外に一步も出ずと考へて居る者であらう。自分は茲では進んで卒業後の兒童生徒について教師のなすべき指導と鞭撻について書く事にする。

(二) 卒業生の行衛

先づ卒業生の行衛に就て考へて見る。大體三つに分類される。(イ)進學するもの。(ロ)家庭に止るもの。(ハ)出でて就職するもの。而してこれが又幾つかに細分して考へられる。進學する者は學校の種類による方向別分類もあるが、指導や鞭撻の方面から考へると、家庭から通學するものと、家庭を離れて遊學するものとに分けた方がよく、更に家庭を離れる者も寄宿舎へ入る者と所謂下宿

屋等に宿泊する者となる。これ等は皆其の指導に手加減が入る。又家庭に止る者も二つに別れる。全然家職を繼ぐ意志の者と、今適當の就職口が無いから之れを待つ間臨時に止るものである。

更に出で、就職する者に就ては境遇の區別を考へなければならぬ。大工や理髮師の徒弟に住み込み一生の仕事としてやる決心で入る者と、唯一時の収入や手傳の爲めに就職する者との別がある。かく境遇別に卒業生の行衛を考へたのは卒業後の指導や鞭撻にそれ／＼手加減を加へなければならぬからである。例へば右述べた中で上級學校に進學した者は最も指導の手を緩くしてよい、何となれば上級學校にはそれ／＼又指導監督して下さる先生があるからである。特にそれが家庭から通學出來る様な状態とすれば、家庭では父母の監督あり學校には教師の指導があるから最も安全の道を歩むと考へてよい。同じ進學した者でも下宿屋などに起臥して居るとすれば、矢張り惡友等の感化に最も染み易い時代の事だから、前の教師としてそれとなしに注意し警戒してやるが親切である。又家庭に止る者となると、他の學友は何れも都會に憧れて出て行つたりして僅かばかり村に止るような事にもなると、兎角不平をし煩悶するものである。小さいながら誰でも野心がある。悶々として一日一日を送る様な事は有り勝ちである。こんな場合に前の教師が慰め、勵まし、指導する必要がある様に思はれる。

又直ちに出で、職に就く者については最も指導を要する。如何なる職業に就いたとしても一人前になる迄には並一人の苦心ではない。随て長い間には幾度の失敗もある。幾度か蹉跌もある。不平もあり、煩悶もある。それ等に打克ち打勝ち進むのは容易ではない。常に後ろから強い後援があればこそである。其の後援の最大なものは學校教師のはげましである。褒めたり、叱つたり、勵まして、常に明るい心持、希望に燃ゆる心持に導いてやらねばならぬ。

(三) 指導鞭撻の機會と方法

さて然らば卒業生指導鞭撻の機會はいつか、又其の方法は如何にするかといふ問題になる。

〔往訪〕 最も積極的な方法で、わざ／＼尋ね行きて何かと話をなし、注意を與へ勵ます方法である。しかしこれは特別の事情でもない限りそれ程度々行はれるものでもなし、場合によれば先方へ迷惑を掛ける事にもなるので中々行はれない。

〔呼びよせ〕 學校へ或は私宅へ呼びよせて何かと注意し激勵し指導する方法であるが、これも亦特別の事件でもない限りそれ程履行ふ事は出来ない。

〔來訪の機會〕 をうまく利用するも一法である。時と暇を貰つて訪れ來た場合何かと世間談の中

へ織り込んで教訓するやり方である。しかしこれは來訪しなければ駄目だし、豫め豫定を立てる事が出来ない。

〔同窓會〕は逸してならぬよき機會である。大抵この學校も年一回總會があるから教師は萬障差繰り出席して興味ある説話の中へ指導を織り込んで勵ますがよい。普通行はれる古い同窓生も新しい同窓生も男も女も雜る場合ははなしが一般的になり過ぎるが同級同窓會の如き場合となると非常に都合がよい。唯同窓會は旅へ出て居る者が中々集らない、大抵缺席して常日頃度々出會ふ村に居るものが多く集るとか中等學校などへ進學した者のみ集るとかいつた事が多いといふ事と、一般的の注意は出来るが個人別事情に即した指導がむづかしいといふ事との缺點がある。

〔文書〕小冊子やパンフレットなど謄寫刷を作りて時々配布して勵ましてやるといふ方法はよい方法である。特に就職して旅に居る者に年二回位も人生指導の意味のパンフレットを送りて勵ますは最もよき方法である。

〔手紙〕全然個人別に指導と鞭撻との手を加へる最もよき方法は手紙による指導である。卒業生指導の第一の武器だと思ふ。

(四) 手紙による指導

學校を出て行つた者に對する指導の最も多くの方法、又最も容易な方法、極秘密裡に行はれて比較的有効な方法は手紙による指導である。村に止る者は時々會ふ事も出来るし、補習學校に關係したり、青年團青年訓練所に入所したりして屢會ふ事が出来るが、郷里を離れて遠くで仕事について居る者に對する指導は手紙による外方法がない。一方卒業生の方から言つても知らぬ他郷に職を求めて所謂旅の水を呑む身となつて見れば不平や煩悶のやり場は郷里の家族や舊師友人等に手紙で訴へるより外はない。そうした時が最もよい指導の機會なのである。在學中本當に誠意を以て導いてやり、卒業の時の職業への指導も同情を以てやつておけば、卒業生の方からは先づ何を以ても舊師のところへ訴へ相談するやうになる。

次に實地指導につかつた手紙一二によつて其の實例を示すことにする。第一例は著者が數年前自己の卒業させた男生で中等學校へ進學した者へ卒業後三ヶ月にして送つた一文である。第二例はKといふ一生へ送つたものである。Kは尋常科を卒業して直ちに或る雜貨商へ店員として入つた者、在學時代成績は中位だが操行丙で級中で最もたちの悪い不正直な不勉強な兒童であつた。教師とし

て特別氣にかゝつて居た。Kには父がない。

(第一例)

◎やり出したら一心にやるのだよ。出来ぬといふ事はない。『成せば成る成さねばならぬ何事もならぬは人の成さぬなりけり』とがた雖は鐵でも穴をぬく。一心こめた梓弓、岩をも透すといふではないか。卑怯を云ふな男でないか。精神一到何事か成らざらん。

◎忍耐強く、根氣よく、繼續してやるのだよ。人が一度やれば我れは十度やる。人が十度やれば我れは百度やるのだ。絶えず落つる雨垂の水は石にも穴を穿つ。ナポレオンは戦勝の秘訣を最後の五分間だといふ。根氣強い者が最後の勝利者だ。がんばれ。

◎光陰矢の如し。時は早く走る。金錢は得られる。財寶も得られる。しかし過ぎた時はとりかへされない。時を惜しめ、あの人の五十年も五十年。君の五十年も五十年。同じ長さのフィールドの競争だ。よそ見をすると負けるぞ。

◎本を讀まなくてはならぬよ。豆本や講談や小説はよくない。歴史や偉人傳よし、地理紀行よし理科に類するもよし、智慧は學校でつけられるだけでは足りない。何處も學校だ。世界は大學校といふではないか。

◎友達が悪い事をすゝめるかも知れない。君の心はもうよし悪しの判断はつく。心の鑑に照し見よ。先生から聞いたのはこゝだと思へ。悪い事をすゝめられた時君は試めされて居るのだよ。イヤと言へ。イヤと言ふのは勇氣が入るぞ。大勇の人と小勇の人とはこゝで區別がつく。イヤデスときつぱり言へ。

◎學校がかわり、學科がむづかしくなり、友達が増し先生がかわつたから氣に入らぬ事もあらう不平も起らう。私がいつか話した事をおぼへて居るかね。心の中に不平があつても言葉にも言葉にも出さないのだよ。中々むづかしい、大勇がいる。大人と小人との境はわづかのところにある。

◎ハイ。短い言葉だが中々言へない。母親から何かいひつけられた時ハイと言へ。顔をふくらし「プツ」と學校の宿題があるなどとぬけ言をいふな。ハイが軽くうまく言へる少年はきつと立派な人になる。孝行は簡單なところに初まる。

◎よく寝よ。早く寝て早く起きよ。よく勉強し、よく運動もせよ。一方に片よるな。君の健康と勉強とを祈る。

月 日

(第二例)

君、卒業後の第二信を唯今うけとつた。前の手紙より字が丁寧に書いてあるし、上手になつて居るので、君がまじめに正直に働いて居る事がうかがわれて誠にうれしい。大分店の勝手もわかつたらうね。電話をかけるのが恥かしいと言つて居たが、どうだもうなれたらう。町の様子もわかつたかね。初めは何から何まで勝手がわからぬからウロ／＼して居るばかりだがもう大分落付いたらうね。どうかすると考への悪い人は馴れた頃から横着な心を出すものだ。少しでも横着な心が出たら駄目だよ。心に横着な心がおこつたら手を合して國に居られる母様のお顔を思ひ出し給へ。お父様の死なれた日の事を心に思ひ浮べ給へ。

思ひ出した事がある。先日地藏迫の辻でお母様に出會つた。聞けばお母様は氏神様へ日参されるのださうだ。「賢がどうか眞直に成人して一人前になつて呉れる様に、父なき子だと人様から後指さぬ様にとお祈りして居ます」と云はれた。私は胸が一パイになり涙がにじみ出た。かうしたお母様を持つた君は幸福だ。精出して呉れ給へ。御機嫌よく、さよなら。

月 日

君の手紙に秋令とあつたが秋冷と書くのだ。も一つ手紙の日附は君の名前の上か少し右へよせて書くのだよ。段々正しく書くのだよ。

次に卒業した児童が舊師によこした手紙の一例を載せる。大阪の某護謨會社へ入つた一児童Fがその年十月に教師へ送つたものである。便箋六七枚に書いて居る。

(前略) 先生には其の後お變は御座居ませんか、僕も一人前として一生懸命働いて居ます。これ皆先生のお蔭による事と思へば感謝の外ありません。長い／＼月日を一度もお便りもしないので嗚々御立腹の事と思ひます。「藤山はつもらぬ者になつた」などと思はれると僕ちつとして居られないです。先生の御恩をどうして忘れませう。お教へを守つて進んで居ます。僕唯、一日たりとも故郷學校先生等を忘れた事はありません(中略)

先生僕の現在居る店はそう大きな店といふ程ではありません。商賣はダンロップのゴム製品をして居ます。中でもベルトが専門です。僕も社會へ出て澤山の困難に出會ひました。又ずい分人から笑はれました。自分ながら情なく泣きたい事も何度あつたか知れませんが。初めて重い荷物を自轉車に載せた時など小々弱りました。それも七八貫の軽い荷物ならなんでもないのですが、あの交通の劇しい大阪市街を何度自轉車と一しよに倒れたか知れませんが。洋服等初めはすぐ土だらけに汚れてしまひます。一回も經驗の無い洗濯も皆僕がやるのです。それもシャツ位ならなんでもないのですが洋服や着物の洗濯とよきては僕も閉口しました。僕の一番顔を赤くしたのは電話をか

ける事です。初めての田舎者で電話がさつぱり聞きとれないのです。今ではお得意先へ出掛ける様になりました。電報を電話でうつ事も覺えました。田舎者は仕様がな、電車の切符を買ふ事も知りませんでした。幼稚園ゆく位の子供も平氣で乗つて居るのを見ると人から笑はれる様でありました。帳簿へ書く数字も下手で随分練習しました。そろばんも大分やれると思ひましたが大間違でした。英語も大切ですね。つくづく守田先生のお言葉が頭に浮んで來ます。學校時代には「英語なんか將來社會に出ても不必要なものであらう」と思つて居ましたが全く裏切られました。ダンロップは英國人の工場ですから向ふから來る納品書は皆英語です。この頃多少わかり出ししました。これも英語を少しでも習つて置いたおかげです(中略)大阪はとても競争が劇しいです。一例をいひますと自轉車に乗つてあの交通地獄たる堺筋を通つたらわかります。皆競走ですよ、電車が走る、自轉車が何千臺とチョコ／＼走る、其の側をタクシーがつゞいてドライブする。まるで神經衰弱に成りさうです。ちつとでも横を向くと大變な間違を生じます。どちらが悪いかかわらないのに衝突でもするとすぐ手を掛けたり實に無情です。(中略)友と別れる時植えた松の紀念樹は風雨に堪忍んで成長して居ますか。

一日の仕事を終へて床の中で一人紀念寫眞をとり出して先生や友達の顔を見た時私の心はどんな

になつかしく思ひ出ます事か其の氣持は先生の想像に任せます(中略)僕も一生懸命働き今に一人前の人間に成つて見せます。『精神一到何事か成らざらん』お體を大切に御健康を祈ります。實例はこれ位で止める。この第三例の様な手紙をうけると指導も色々し甲斐がある様である。

(五) 指導鞭撻の内容

就職後の兒童を指導し鞭撻するについて具體的に案を立て、計劃的にといふ事は事實むづかしい大體は初め一二年位特に注意して居る程度のものであるが、如何なる事が注意して居り指導鞭撻の中心となるかといふに。

(イ) 職務に對する勤怠——怠惰になり横着になり倦怠を生ずる事なきかにつき留意し鞭撻する。

(ロ) 人事關係に於ける煩悶——家人に對し、上役に對し、同僚に對しての各種の關係より生ずる煩悶の解決指導。

(ハ) 交友關係と素行——惡友と深交し、漸く喫煙・飲酒・映畫・女色等に傾かんとする事に對する警告注意。

(ニ) 餘暇に於ける修養——修養しなければといふあせり、餘暇なく又方法がわからぬ煩悶等少く

ない、之れに對する指導と鞭撻。

(ホ) 待遇慰安等に對する煩悶——休暇、娛樂、報酬等が思ふ様に與へられないために生ずる煩悶に對しての鞭撻。

(ヘ) 性能不適による煩悶——適職と見定めて就職したものであつても、實地に務めて見ると案外それは自己の興味に合はなかつたり、性能とかけ離れて居たりする事が無いとも限らない。それがため煩悶する様な事もあらう。かゝる場合相談相手となるべきで或は場合によれば斷然轉職するべく餘儀なくされる事もある。

(ト) 人生觀のなやみ——青年期に入ると人生問題に悩み、又は宗教問題に悩んだりする。それ等に對してよき相談相手となるべきである。

第八節 女子と職業指導

小學校に於ける職業指導の實際を書く本書は大體男兒童を常に意識において書きつゞけて來た。

これは小學校でなす職業指導は完全には男兒學級に於て行ふべきで、女兒學級に於ては何程か割引をして行ふべきだと考へて居るからである。職業指導講話にしても大體は男兒童の學級に於て行ふべきものとして立案してある。隨て女兒學級に於てなす講話は男兒學級に於てなす約半數の時間しか當てゝない(第八章一節の職業指導講話要目参照)。

元來我が國は歐米の個人制度と違ひ家族制度の國で何事も家族一集團が一單位となつて居る。隨て一人一人が職業を持つのが本質でなく、家族が一單位として職業を持つのが本質の形である。即ち家が一職業單位であるから主人が其の職業の主人で代表者で、妻及び其他の家族は之を補助し手傳ひし職業活動を完全ならしむる様後援し相扶けるにある。勿論職業の種類によれば主人一人之に當り家族は少しも之れに關知しないものもあるが、これが本體だとは考へられない。學籍簿の保護者欄を見ても保護者と並べて職業とあるがこれは其の家の職業を意味してゐる。隨て職業指導がより多く必要であるのは將來一家の主人たるべき男性に於ては將來主婦たるべき女性に於てはそれ程必要ではない。しかし主人主婦相扶けて一家の職業を遂行して行く形であるから、主婦たる人も職業について十二分の理解を持たねばならぬ事は勿論である。主人が如何に家のため職業に務めたとしても其の妻を始め一家の家族が之れに同情し相扶けることが無かつたら決して其の家は繁榮するものではなく、職業遂行の完全を期する事は出来ない。そこに婦人へも職業につきて充分理解を持たし

むべき理由がある。更に人の母となる身であるから其の子の職業選定の遠き先きの事まで考へた時女子に職業指導の必要甚だ切なるものがある。

然のみならず近時世相の推移により漸次女子の職業が擴張せられ、今では獨立した婦人就職者の數全國にては四百萬に近くある有様となつた。而して年一年と女子職業の種類も増し、就職者も増し、今や職業戦線はいづこも女子なきはなしといつた有様になつて來た。かくなれば女子に職業を理解せしむるのみならず、女子へも適職の指導をもしなければならぬ世相となつて來た。女子學級に於ける職業指導の必要も明瞭であらう。

現在我が國にて職業に就ける婦人の數は統計によれば、

農業手傳婦	一、三一五、〇〇〇人	女	工	九三〇、〇〇〇人
坑婦	九三〇、〇〇〇	海	女	三二四、〇〇〇
土木建築の女人夫	一〇、〇〇〇	醫	務	九八、〇〇〇
教 育	七八、〇〇〇	官	廳	四五、〇〇〇
商 業	六〇七、〇〇〇	店員、タイピスト		九三、〇〇〇
女優・音楽家	六〇〇	工場鑛山職員		一一、〇〇〇

女給派出婦

五四、七〇〇

女

中

九六、〇〇〇

總 計 三、七三九、六〇〇

農事手傳婦といふは耕作・養蠶・茶摘等に備はれ居る女で自家の農業手傳ではない。女工は紡績・製絲・製藥等の工場に働く女。坑夫は鑛山の深い坑内に働く勞働婦女である。醫務を持つ女とは女醫・女齒科醫・産婆・看護婦等を含んで居る。其の他は説明するまでもないであらう。

昭和五年四月一日現在、官公職にある婦人だけの調査によれば、其の數約七萬人である。内譯して見れば、

教職員六三、五三七(専門學校教員四七、中等學校教員五、二二五、小學校教員五六、五二七、その他一、七三八)
 通信職員一、二九七。産業職員一五三。衛生職員二、二二二。鐵道職員四七五。刑務所職員七九。
 公吏七七六(縣吏員三二。市町村吏員七四〇。水利組合四)。その他一、二〇〇——總計六九、七三九人。

かくの如く職業婦人は非常の勢で増して居る。一體其の理由如何と考へて見なければならぬ。即ち女子に職業の擴張される理由は次の如きものが主であらう。

(一)女子教育が年々進歩して女子も男子と伍して少しも劣るところなく働き得る事が明となり、自覺がついて来た。(二)女子の自覺により男子の壓迫から獨立しやうとの考へが入り來つた事。(三)女子獨特の職業が漸次あらはれ來り、女子の必要を認むる様になつた事。(四)經濟の壓迫は唯男子のみの収入では不足をきたし、女子も外に働くといつた氣風を生じた事。(五)一般に結婚年齢前に若干年のあきの時が出來た事。(六)個人主義の歐米の風の輸入されか事も與つてゐる。(七)主人の死等の不慮の時を考へた時身に何か一つの職を持つ必要を感じて來た。(八)一種の虛榮も之に伴ふて、これ等が其の理由中の著しきものであらう。

女子職業の種類

一、女子特有のもの。

看護婦・助産婦・海女・女工・電話交換手・女中・女給・裁縫師・女結髪・タイピスト・家政婦・保姆・モデル・踊り師匠・ガンリンガール・ダンサー・レビュー女・藝者・美容師・ゲーム採り。

二、男子に伍してやるもの。

女教員・女事務員・女賣子・出札係・バス車掌運轉手・女醫・女藥劑師・女齒科醫・女看守・料理人・筆耕・行商・女秘書・女優・映畫女優・聲樂家・女牧師・婦人記者・外交員・文藝作家・音樂家・ガイド・速

記者・製圖手・旅館料理屋營業。

三、男子を補ひ助けるもの。

農職・牧畜・物品販賣業・漁業・家内小工業。

以上は著者の思ひつきを並べたに過ぎない。一日一日と新職業が現出する。新しき婦人職業の二三を挙げれば婦人秘書・マネキンガール・ガンリンガール・エレベーターガール・麻雀ガール・アナウンサー・婦人ガイド・圓タクガール等で飛行機上で客にサービスするエヤーガールの募集が新聞に廣告される世相である。女の職業界前途知る可らざるものがある。

女子學級に於ける職業指導

男子の爲めの職業指導體系の外に女兒學級のために更に新しく職業指導の體系を立てるといふ事は非常に繁雜で出來べきではない。尋常科に於てなす各教科に附隨しての職業的取扱の考慮はこれは男子と何も區別する必要はない。全然同等同様に扱つてよい。高等科に入りてなす特殊の施設に手加減を加へる程度でよいであらう。例へば職業講話を約半數の時間に減じてある如く、其の他のことも之に準すべきである。適職への指導も相談に來た者だけにつき其の希望のあるところを聞きて指導する程度が穩當であらう。

第十章 適性考査

第一節 意義と方法

職業が人を求める場合に其の職業に最も都合のよい人を採らうとするのは明な事で、其の採用方法を科學的に合理的にするのが適性考査である。多くの學校の入學試験も亦一種の適性考査とも見られる、適材適所の理想から行ふのであるが、この考へは既に太古の昔からある。面白い一例であるが天照大神が天岩戸へお隠れになつた時八百萬の神々は岩戸の前に集ひ大神の御怒りを和げ奉るために色々の催しをされた。其の時玉を造られる神、鏡を造られる神、舞を舞はれる神、樂を奏せられる神、岩戸の戸を開けられる神とそれ／＼手別けをしてやられたといふ。既にこの時から適材適所の理想は行はれて居たのである。これが歐洲戰爭の頃から急に人間能率の研究や産業合理化科學化の研究が行はれ出した。エフィシエンシー (Efficiency) といふ言葉が流行したのがこの頃であ

る。この思想は急激に産業界に入り、適性考査は急速の進歩を見る様になつた。もう現時では少し進んだ新しき經營による大工場大商店等では適性考査によらないところはない。近くは陸海軍の工廠や軍人採用にまでも若干とり入れられる様になつた。

ところで適性指導は小學校側の仕事であるが、適性考査となると職業側の仕事であるから直接小學校の仕事ではない。しかし兒童に職業講話をする際就職の方法について説明しなければならぬし、適性指導の反對の立場にある事であるから教師としては充分了解して居なければならぬ。次に其の方法の大體——模式的のもの——を増田幸一氏の適性考査法要領により記述しやう。

適性考査順序

(一) 作業解剖 (Job analysis)

先づ作業工程作業種類に分類。そして各作業を性能種目に分解する。又所要時間・動作過程・疲勞身體的條件・豫備知識等を嚴密に調査し、これを一覽に表示する。これが第一段の作業である。

(二) 検査種目決定。

身體検査・一般智能検査・特殊性能検査等なすべき検査に割り當て、検査器購入・用紙印刷をなし從來の現業員に試みて平均能率を定める。又記入用審定紙 (Record sheet) を印刷する。

(三) 検査の実施。(身体検査・一般智能検査・特殊性能検査・人物判定の四通りの作業となる)。

A、身体検査。身長・體重・胸圍・栄養・疾病等につき検査するは勿論感覺器官の障害呼吸器・循環器・運動器官等の障害の有無、其他特殊的身體條件の診査をなす。

B、一般智能検査。個人検査及び集團検査。教育程度(算術・讀方・製圖等)

C、特殊性能検査。感覺知覺検査・注意統覺検査・聯想記憶想像検査・意志動作検査・感情氣質検査・特殊性能検査・職業検査。これ等の結果をまとめてプロフィール(Profile)を作り個人の性能状態を圖示する。

D、人物判定。願書・履歷書・寫眞・推薦狀・證明書により判定、面談(容貌・態度・言語・機智・豫備知識)及び本人の志望・興味等による判定。

(四) 採否配分決定。

右四種の検査結果の材料を照合酌量して適性を考査し採否を決定し更に作業解剖表に準據して適職に配分する。

(五) 爾後調査。

採用標準を定める。絶えず實績を調査する。實績と検査結果との相關度を研究する。次の考査種

目の改良。考査全體にわたり統計の作製をなす。

右は適性考査實施の大體の概念である。かくて實施した結果出來上つた、各種職業と必要なる性能検査との實例二三を示すことにする。即ち検査した性能と其の職業の成効度との相關係數の比較的高いものである。

(イ) タイピスト

數字照合

文字置換

色彩命名

動作動作者聯想

動詞目的物聯想

記憶容量

(ロ) 電信技手

直接記憶

反對聯想

完成法
置換法
學業成績

(六) 事務員

命令法
反對聯想
部分聯想
全部聯想
完成法
不合理發見(繪)

第二節 實施の概況

前述した様に産業を合理化し科學的管理により經營して居る工場などでは皆どんな意味に於てか

かゝる適性考査によつて雇傭人の採用を決定して居るのである。大正十二年十二月増田文學士の實地調査によれば次のところは總べてこの方法によつて居るのである。中山太陽堂工場・大阪市電氣局教習所・大阪製鐵株式會社工場・福助足袋株式會社工場・神戸市電氣局教習所・三菱電氣株式會社工場・郡是製絲株式會社工場・日本陶器株式會社工場・海軍(東京・横須賀)陸軍(高田・東京)遞信省通信局發信課・東京市電氣局教習所・貯金局・東京專賣局工場・星製藥株式會社工場・東京鐵道局運輸課・東京齒科醫學專門學校。これは東京大阪名古屋神戸等中央の二三都市についての調べである。陸海軍の工廠や貯金局其他にまだ地方に實施して居たところが少くなかつたから其の當時でも大分の數に上つて居た。まして其れから約十年がたつのであるからもつと多くのところに實施されて居ると思はれる。

これ等の中實地に行はれて居る方法の一二例具體的に示す事にする。

○海軍航空隊の採用檢査

- (1) 遺傳及既往病歴の調査
- (2) 嗜好の調査
- (3) 身長・體重・握力・胸圍・その他

- (4) 四肢運動の検査
- (5) 眼の検査——(視力・識色力・光覺力・實體視機検査)
- (6) 耳の検査——(聽力其他)
- (7) 身體的均衡検査——(兩脚直立・體軸廻轉・其他)
- (8) 呼吸保留・呼吸力・水銀保留・呼吸耐久力
- (9) 血壓検査
- (10) 感覺反應——(視覺・聽覺・觸覺の反應時間)
- (11) 筋 神 検査

検査は採用時検査(第一次と第二次とあり) 定期検査・臨時検査の三種ある。陸軍航空隊の検査は今少し複雑に精密になつて居る。

○東京煙草專賣局女工の採用検査。

- (一) 醫學的検査——(身長・體重・胸廓・視力・色盲・腕力・既往症・體格)
- (二) 性 能 検査
- A 検査——記憶・注意・構成・置換・持續性

B 検査——手指速度・手指統制・手足統制・運動適確・反應運動・聽覺・觸壓覺・模倣・思考・理解・觀察。

(三) 人物考査——氣質・言語・嗜好・情操・態度・其他

(四) 身分其他の調査——族籍・氏名・生地・前職業・家庭

○中山太陽堂職工採用検査

- (一) 精神的検査
- (1) 關係聯合能力検査
- (2) 反對聯合検査
- (3) 模倣能力検査
- (4) 注意能力検査
- (5) 比較觀察能力検査
- (6) 命令遂行能力検査
- (7) 數理能力検査
- (8) 空間知覺検査

- (9) 手指の調節検査
 - (10) 手指の制約検査
- (二) 身體的検査
- (1) 打叩検査
 - (2) 運動知覺と動作検査
 - (3) 握力検査
 - (4) 肺活量検査

右の三例共まだ性能検査研究の稍幼稚の時代であつたので固定的のものではなくすべてが幼稚であつた。今は多くの工場には心理學に造詣深き専門家をきて研究して居るからよほどまで改善された事と思ふ。

第十一章 進學指導

尋常科を卒業して中學校・高等女學校・各種實業學校へ進學するもの、高等科を卒業して實業學校・師範學校・補習學校其他の各種學校へ進學する者に對して、其の進學の可否や、學校選定について助言を與へ、指導する事も亦小學校として當然なさねばならぬ任務であり、兒童に對してなすべき親切である。而して進學の指導は同時に職業指導になるものである。中學校・高等女學校等所謂高等普通教育へ進學する場合には直ちにこれが職業決定とは考へられないけれども、それでも進學に就て考慮する場合將來の職業に就て何等かの意味に於て豫想を持つものであるし、兎に角高等の能力を要する職業を選ぶ事だけはさまるわけとなる。まして實業學校へ進學を志望するとすれば之れが直ちに職業決定となるものであるから、其の指導即ち適職指導となるわけである。本書に於て一章を設けて研究する所以茲にある。

中等學校へ進學する場合、之れが指導は學校の種類により男女の性別によりよほど趣を異にするものがあり、一概に云ふ事は出来ないけれども、次の諸項は何れの場合に於ても考へなければなら

ぬ事である。

(一) 進學希望者の資格

従来は富のみが進學希望の唯一の資格の観があつた。地方の上流の家、資産のある家であれば其の子弟の素質が如何であらうと、身體が弱からうが強からうが中學校へ入學すべきものとの如き觀念があり習慣があつた。勿論この頃の學校教育は随分多くの費用を要する事であるから、資産といふ條件を無視することは出来ないけれども、そのみが唯一の條件であつてはならぬ。次の二三の條件を是非必要とする。

(イ) 身體健康なるを要する。勿論健康の良否は決定的のものではないが、體質體格疾病の中には既にある程度まで決定的要素のある事を否定出来ない。非常に虚弱な身體と體質とを持つて、高い程度、非常に困難な學習を必要とする學校を選定するなどは失敗であり、又虚弱な人で軍人や船長などの如き特別體力を要する職業につく學校を選ぶも亦間違ひである。學校では入學試験の際身體検査はして居るけれども従來のものはあまりに形式ばかりのものが多し。

(ロ) 成績が優秀なるを要する。成績の優秀か不良かといふ事は其の原因が素質によるか、環境によるか、努力によるか等の原因があるが兎に角小學校時代の成績が不良の様では上級學校へ入りて

は學習一層困難となり、遂に中途廢學の止むなきに至るものである。學校の種類にもよるけれども小學校時代の成績が中以上でなければ中等學校へ進學してはならぬ。まして高等専門の學校へ進むべきものは小學校時代上の部の成績でなければならぬ。

(ハ) 智能素質の優秀なることを要す。生れつきの素質が悪いものは上級學校へ進學を希望しても失敗となり、中途廢學してブラ／＼となり所謂高等遊民となり易い。智的素質の低い者は之れが一つの宿命だと諦めて別の途に進むが賢明である。素質につれて上級學校へ進む標準とも考へられるものに大阪市ビネー法の研究者鈴木氏の研究がある。

『IQ(智能率) 五十未滿の子供は……尋常六學年の課程を終へる時に漸く尋常一學年に相當する學習に堪へ得るに至る。是等の程度の子供は普通爾後幾年を経過しても尋常一二年程度の學習可能力以上に達することが困難であると斯の道の多數の研究者から認められてゐる。』

IQ七十未滿の者は尋常小學六ヶ年の間に尋常三學年乃至四學年程度の學習に堪へ得る程度に進めば先づ普通とせねばならぬ。

IQ九十以上の者にして始めて尋常科の全教材を六ヶ年間に修め得る可能性がある。現今の我が國の公立中學校の課程を無難に相當の成績で通過し得る見込のものは智能百十以上の者である。それ

以下のものは漸次成績が不良となる。九十乃至百程度のものはよし中學校へ入學が出来たとしてもその中途に於て學習困難の爲に卒業し得ないものが可なり多數になると覺悟しなければならぬ。よし卒業は出来たととしても眞に中學校の卒業生としての實力あるものは極めて少數になると見ねばならぬ。

更に中等學校卒業後高等專門學校の入學試験に通過し、高等專門教育を受けて、その教育相當の實力を得て卒業し得る見込あるものは智能率百三十以上のものと見るのが安全である。勿論例外もあり、且學業成績は獨り智能率や精神年齢のみに支配されぬ場合があるから、總べてを一律に論ずることは出来ないが、學習に關する他の事情に特殊の事由が附加されない限り、大體右の標準に最も安全性があるものと見て至當である。云々』

ターマンの示した面白い例がある。『ある法律家の子供は幾度も検査せられたが常に八〇乃至八五の智能係数を示して居た。本人は園藝家たらんことを望み、又その智能からいへば、恐らくはこの方面の仕事ならば成効しさうに思はれて居たに拘らず、その父親は彼れを大學に入學せしめんことを主張し、ために彼れはその子を叱責し、激勵し、家庭教師を附けて絶えず苦しめて居たのである。然しながら父親のかゝる熱心なる努力は、單にその子が二十歳にもなりながらまだハイスクールの

二年級に間誤つてゐなければならなかつた。彼れは學課を全く理解し得ず、唯々無暗に學校を嫌惡してゐるのである。云々』

上級學校に進學を希望してよいと思はれる主要な條件は上の四通りである。即ち資力があること身體が學業に堪へる事、學校の成績が優秀である事、智能素質がすぐれて居る事、其他は家庭環境の條件や、本人の性格等も若干考慮に入るべきものであらう。

(二) 學校選定

進學の可否能否が決定したら次に何れの學校を選定すべきかといふ問題になる。これについては次の諸條件が必要となる。

(イ) 在學年限——資力や本人の能力等から考へて三年位が適當か五年も七年も在學が出来るか否かの豫想による決定。

(ロ) 職業希望——醫者や法務官外交官等大學教育を必要とするものを望めばどうしても中學校へ入學しなければならず、農業工業商業等の實業を望めば而して其の希望の程度により又(イ)項を参照して直ちに實業學校へ入るか、中學校へ入るかの決定となる。

(ハ) 本人の個性——學業の型や、好惡長所短所や、氣質性格、身體上の特性等を考慮して上級學

校を選定しなければならぬ事勿論である。

(ニ) 家庭の職業及び環境状況——家職の如何及び家職をつぐべき者か否か等も亦考慮に入れなければならぬ事勿論である。

(ホ) 學校所在其他、其の土地や近くに學校の有無等は矢張り多少考ふべきものである、理想からいへばこんな事は何の意味もないが實際の生活指導は理窟のみではない。

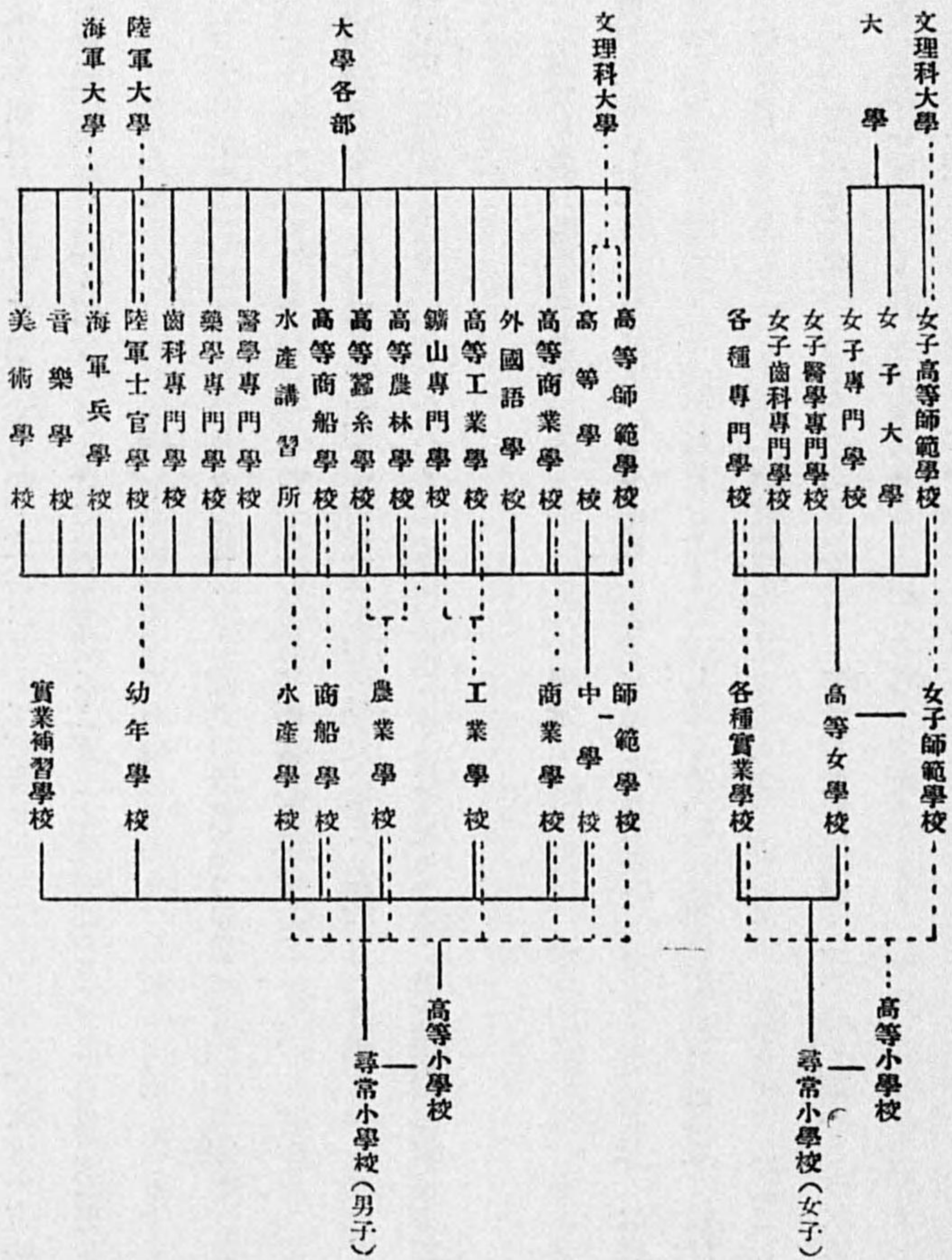
進學指導には矢張り其の保護者の主張に助言し補導する態度に出づべきもので、先づ保護者に進學指導教育をなすと考ふべきものである。次頁の如き學校系統圖を示して先づ理解を與ふべきものである。

(三) 進學指導の時期と方法

尋常科を卒業して直ちに中學校・實業學校・高等女學校へ進學を希望する者については尋常五年の終りか遅くも六年の初めには大體決定して居なければならぬ。隨て指導の時期はこの時にあるのである。高等科を卒業して實業學校や師範學校等へ進學を希望する者は高等科第一學年の末には大體わかつて居る事を必要とするから矢張り指導の時期は其の頃と考へてよからう。

兒童の進學について家庭と打ち合せをするのに三つの方法がある。父兄を學校に召集して懇談す

圖 統 系 校 學



るか、教師が家庭を訪問して懇話するか、文書によりて打合せをなすかである。大體の方法としては先づ各家庭に手紙を以て紹介し打合せをなし必要によりて家庭訪問をなすなり或は父兄を學校へ招くなりしてなすがよい。一回で大體の方針が決定する場合もあり、數回も面談しても中々決定せず、又一旦方針がきまつても、外の色々の條件から變更の餘義なき事情に立到る事も屢おこる。あまり簡單に決定してはならない。兒童の一生の方針に影響する事であるから、相當慎重でなければならぬ事勿論である。この場合、親族や伯父叔母等の意見などに左右される事も少くない、兎に角周圍の状況と調和しあまり無理のないものでなければならぬ。本人の希望志望を大切な條件としなければならぬ事勿論である。

かくて大體の方針が確定すると教師としては其の兒童が其の進學に都合のよい様に導く必要が生ずる。入學準備教育はこれである。入學準備の教育はもとより特別になすといふ意味ではない。上級學校は下級學校の基礎の上に其の教育をするのであるから、下級學校の教育が徹底すれば何も事新しく準備教育の必要はない。しかし個性尊重の教育の立場に於てはいかなる場合に於ても其の兒童に最も都合よき様教育すべきものであるから日々の教育教授に若干の手心を加へる事は當然なされて然るべき事である。これ亦進學指導の一面とも考へられる。

第十二章 職業紹介

職業紹介とはある某の人と、ある某の職業とを結びつける爲の紹介をいふのである。元來小學校で職業指導をなし適職への指導をなしたとしても、其の兒童が實際の職業へ就く事が出来なければ何にもならない。折角した適職指導が所謂畫餅に過ぎない事になる。即ち適職への指導をなすからには必ず職業紹介までの親切をしてやらねば折角の施設が點睛しない事になる。然るにこの職業紹介は中々厄介な事でこれを學校が成す爲には學校へ學校教育以外に非常に複雑な對社會の事務と研究とが混入し來る事となり、それは到底現在の小學校としてはむづかしい事である。小學校としてはそこに非常に大きなジレンマがある。然るに幸にして内務省系の社會行政方面の施設として職業紹介所があつて、専門にかゝる事の世話をする事になつて居る。隨て小學校はこの紹介所と緊密なる連絡提携をとり、以て兒童の職業紹介の實を擧ぐべきである。唯困る事は職業紹介所は今のところ大體市制を敷いて居る都市に設けられて居て外の町村にはかゝる施設が少い事で、自然一般の町村の小學校としてはある程度まで學校が代つて職業紹介の勞をとらねばならぬ事になるのである。

第一節 直接紹介

學校が直接に職業紹介をなす場合に二様ある。其の一は兒童を本位に考へて、職業を施す場合で他の一は職業方面からの申込みによつて兒童に薦める場合である。前者は兒童につき適職を考へた場合、又は兒童側から就職紹介の相談をうけた場合、教師が其の兒童の爲めに或る職業を見付けて紹介するもので、教師が保證人の形となりて職業へ兒童を引き渡す態度である。後者は商會や工場等から求人依頼して來た場合、教師が兒童の中然るべきものを見付けて其の本人及び家庭へ相談し薦めるもので、普通の小學校にしてはこの場合は前者よりも屢繁く起るものである。矢張り前者は本體でなく、小學校が直接紹介する場合としては後者が一般的であり本體であるといふべきであらう。そこで茲にはこの後者の場合に直面したとして、ざつと考へて見よう。先づ教師が兒童にすすめるためには薦めて兒童が將來不幸になる事なきやの研究と見定めをつけなければならぬ。すゝめる價值ありと斷定のつかない事を輕々にすゝめてはならぬ。特に兒童は教師の云ふ事は一も二もなく信用する傾があるから非常に注意を要する。先づ求人側につき左の條件を調査しなければならぬ。

何職か、どんな仕事をするのか。毎日どの位働くのか、其の家の基礎信用程度如何。主人公等の人物如何。

待遇如何即ち報酬及給與、休養、修養法ありや否や。

仕事の將來。有望か否か、一人前になるに要する年限、住込か通勤か。

右の中待遇の事や住込みか否か等については求人者から申出すがよい。而して兒童の個性環境等に考へて適當と思ふものにつきこの條件を提示して家庭と相談の上決定せしめる。其の場合若干日考慮の餘地を與へる事、教師があまらず、め過ぎない事等は注意すべき事で、決定の權と責任とはあくまで本人及び家庭にあらしめなければならぬ。

第二節 職業紹介所

職業の紹介は大體に於て職業紹介所を経てなすのが本體である。そこで茲に職業紹介所の機能及び小學校との連絡方法につきて述べる事にする。元來職業紹介所の本旨は大正十年四月法律第五十五號で發布された職業紹介法によるもので任務は失業防止救済と勞務の需給調節とにあるのである

が大正十四年七月に社會局第二部長と文部省普通學務局長との聯合發各府縣知事及中央職業紹介事務局長宛の「少年職業紹介ニ關スル件依命通牒」によりて小學校を卒業して直ちに求職せむとする者に對する紹介事務をとる事になつて以來、小學校と連絡提携をとる事になつたのである。次に參考のために職業紹介法及び施行令を書く事にする。

職業紹介法 (大正十年四月
法律第五十五號)

- 第一條 市町村長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第二條 市町村ハ職業紹介所ヲ設置スルコトヲ得
- 第三條 内務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ市町村ヲ指定シ職業紹介所ノ設置ヲ命スルコトヲ得
- 第四條 市町村職業紹介所ヲ設置スルトキハ市町村長之ヲ管理ス
- 第五條 市町村ニ非サル者職業紹介所ヲ設置セントスルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ
- 第六條 本法ニ依ル職業紹介所ノ職業紹介ハ之ヲ無料トシ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス報償トシテ手数料其他ノ財物ヲ受クルコトヲ得ス
- 第七條 職業紹介所ノ事業ノ連絡統一ヲ圖ル爲中央及地方ニ職業紹介事務局ヲ設ケ内務大臣之ヲ監督ス職業紹介事務局ノ管轄區域、組織及職務權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 職業紹介所ノ事業ノ經營ニ關シ職業紹介委員會ヲ置ク内務大臣之ヲ監督ス職業紹介委員會ノ組織及職務權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 市町村ノ設置スル職業紹介所ニ關スル經費ハ市町村ノ負擔トス

第十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介所ニ關スル經費ノ支出ヲ爲ス市町村ニ對シ其支出額ノ二分ノ一以內ヲ補助ス

第十一條 職業紹介所ノ設備及管理並ニ職業紹介所ノ事業ノ聯絡統一ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 職業紹介事業ハ内務大臣及職業紹介事務局ノ長之ヲ監督ス

第十三條 監督官廳ハ職業紹介事業ノ監督上必要ナル場合ニ於テハ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ業務又ハ會計ヲ檢閲スルコトヲ得

第十四條 有料又ハ營利ヲ目的トスル職業紹介事業ニ關シテハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 本法中市町村又ハ市町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニアリテハ之ニ準スヘキモノトス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第七條及第十二條ノ規定ハ勅令ヲ以テ他ノ規定ヨリ後ニ之ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第七條及第十二條ノ規定ヲ他ノ規定ヨリ後ニ施行スル場合ニ於テハ其ノ施行ニ至ル迄ノ間

職業紹介事業ノ監督ハ内務大臣地方長官及郡長之ヲ行フ

本法施行ノ際現ニ存スル職業紹介所ニシテ市町村ノ經營ニ係ルモノハ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス其ノ市町村ニ非サルモノ、經營ニ係ル無料職業紹介所ニ付テハ勅令ニ定ムル期間内ニ行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ

職業紹介法施行期日ノ件 (大正十年六月勅令第二百九十一號)

職業紹介法第七條及第十二條ノ規定ヲ除ク外大正十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

職業紹介法ノ一部施行期日ノ件 (大正十二年三月勅令第六號)

職業紹介法第七條及第十二條ノ規定ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

職業紹介法施行令 (大正十年六月勅令第二百九十二號)
(改正大正十二年三月勅令第八號)

第一條 職業紹介法第三條ノ規定ニ依リ内務大臣ニ於テ職業紹介所ノ設置ヲ命スルコトヲ得ヘキ市町村左ノ如シ

一、市

二、人口三萬以上ノ町村又ハ人口三萬ニ滿タスト雖内務大臣ニ於テ特ニ職業紹介所ノ設置ヲ必要ト認ムル町村

第二條 職業紹介法第十條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ左ノ區別ニ依リ支出精算額ニ對シ之ヲ爲ス
但シ寄附金其ノ他ノ收入アルトキハ之ヲ控除シタル額ニ對シ補助ス

一、職業紹介所建築費之ニ伴フ初度調辨費二分ノ一
二、其他ノ諸費六分ノ一

第三條 市町村ハ其ノ經營ニ係ル職業紹介所カ職業ヲ紹介スルモノニ對シ其ノ者ノ所在地ヨリ就職地ニ到ル旅費ノ全部又ハ一部ヲ貸付スルコトヲ得

第四條 職業紹介法ニ規定シタル行政官廳ノ職權ハ地方職業紹介事務局長之ヲ行フ

第五條 本令中市町村トアルハ市町村制ヲ施行セサル地ニアリテハ之ニ準スヘキモノトス

附 則

本令ハ大正十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

職業紹介法附則第三項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クヘキ期間ハ本令施行ノ日ヨリ六月トス

更に大正十四年に東京地方職業紹介事務局管内一道一府十五縣の職業紹介所長事務打合會に於て道府縣當局も參加して紹介所と小學校との連絡方法につき協議して成案を得た。これが參考となると思はれるので全文載せる事にする。

聯 絡 要 領

一、職業紹介所ハ所在地聯絡小學校ハ勿論地方職業紹介事務局ヨリ聯絡スヘキ小學校ノ通知ヲ受ケタル時ハ可成當該小學校ヲ訪問シ或ハ學校關係者ト協議會ヲ開催シ提携協力ニ努ムルコト

- 二、職業紹介所ハ少年職業選擇指導ノ爲メ必要ト認メタル場合ハ職業紹介所職員、小學校教員、醫師其他ノモノトヨリ成ル委員會ノ設置ニ努ムルコト
- 三、職業紹介所ハ小學校ニ於ケル保護者會學藝會又ハ講演會等ニハ可成出席シテ少年職業ノ選擇ニツキ指導誘掖ヲナスコト
- 四、職業紹介所ハ毎年卒業期前少年職業ニ關スル求人ノ開拓及ヒ調査ヲ行ヒ其ノ狀況ヲ聯絡小學校ニ通知スルコト (様式第三號)
- 五、職業紹介所ハ求職少年ノ職業選擇ヲ行フ場合ハ兒童保護者、小學校教員、委員、醫師等ト協議ノ上指導決定スルコト
- 六、職業紹介所ハ少年職業ノ作業狀況雇傭條件適性關係等ニツキ其ノ實際ヲ調査シ小學校其他ノ關係者ニ頒布スルコト
- 七、職業紹介所ハ少年職業ノ選擇指導紹介ヲシタル時ハ就職後ノ狀況ヲ調査シ之ヲ關係小學校ニ通報スルコト
- 八、職業紹介所ハ少年職業ノ選擇指導ニ關シ職業指導事業ヲ經營セル公共團體又ハ公益團體ト聯絡ヲ圖ルコト
- 九、職業紹介所ハ聯絡小學校ヨリ毎年兒童卒業期前左記事項ノ通報ヲ需ムルコト
 - イ、卒業兒童性別豫定人員 (一月末迄)
 - ロ、卒業兒童中就職セントスル性別希望職業別見込人員 (様式第一號、一月末迄)

ハ、就職希望兒童(個人別)ニ對スル左ノ事項(様式第二號、二月末迄)

- 一、希望職業
 - 二、學業成績
 - 三、體格
 - 四、性質
 - 五、特殊技能
 - 六、其他參考トナルヘキ事項
- 一〇、就職希望兒童ハ可成父兄同道職業紹介所ニ出頭セシメ紹介ヲナスコト但不得止場合ニ在リテハ紹介狀ヲ學校當局ニ送附シ適當ノ處置ヲ執ルコト
- 一一、職業紹介所ハ可成少年ノ性能診査ニ關スル設備ヲナスコト
 - 一二、職業紹介所ハ少年職業指導ニ關スル施設狀況竝ニ其等ノ成績ヲ調査シ地方職業紹介事務局ニ報告スルコト

様式第一號

就職希望者職業別見込人員一覽表

(男女子ノ部)

學校名

昭和 年 月 日 調

科組	氏名	年齢	希望職業	備	考
科組					
科組					
科組					
科組					
科組					

本票ハ學年未可成早ク小學校ヨリ調査記入ノ上職業紹介所へ送付スルモノトス

様式第二號

就職希望兒童調査票

學校名

昭和 年 月 日 調

第 姓 名	號	受 持 認 印
現 住 所		昭 和 年 月 日 調
家 庭	家長ノ氏名職業 家長ノ續柄	經濟狀態
體 格	身長 體重 胸圍	尺貫 寸百 分厘 既往症 備考
學 業 成 績	一般成績	好ムル科目 嫌ヒナ科目 優等科目 劣等科目
性 質	兒童ノ希望職業 保護者ノ希望職業並其ノ理由	
希 望 職 業	受持教師ノ見タル希望職業ニ對スル適否ノ意見	
特 殊 技 能 考		

本票ハ就職希望者略決定シタル後小學校ヨリ職業紹介所へ記入ノ上送付スルモノトス

児童需要口通知票

職業紹介所

昭和 年 月 日發行

氏名	屋號	職業(事業)	住所	勤務場所	使用人ノ種別	人員
第 號						
雇傭條件		勤務時間		教育ノ程度		
住居	勤務時間	夜業	採用地	休日		
待遇	住込	採	用	地		
考	通	用	望			
考	勤	希				

本票ハ職業紹介所ヨリ児童求人開拓ノ結果小學校へ通報スルモノトス

第十三章 保護者指導

日々の教育教授でも保護者との連絡を密にしてやらねばならぬ事勿論であるが、職業指導の如く事それ自身が児童の卒業後の事であるし、児童の一生に直接大影響を持つ事であつて見れば更に保護者との連繫を密接にして相談のもとに一切を運ばなければならない。学校側だけで一切を處理したり決定したりといふ事は到底許されない事である。そこで保護者指導といふ問題がおこるのである。

保護者指導に二面ある。一は児童の職業決定について保護者との相談であり、一は保護者に職業に就ての知識及職業指導の趣旨と必要との理解を與へるための教育である。前者は児童の卒業期に當り即ち進學又は求職といふ事情に直面して保護者の意見と學校の考へによる相談であり、後者はその以前に於て保護者に對する職業指導教育である。矢張り先づ保護者を教育しないと職業指導も完全にゆくものでない様である。特に學校でなす職業指導の如く新しき施設であり、新しき輿論としておこつた事であれば尙更保護者の理解を求める事が先決の問題だと考へられる。

さて保護者に職業指導教育をなすとして其の教育内容はどんな事かといふに大體左記の事を其の主要なものとする。

- (イ) 職業は一生の運命を決定する。選擇決定に充分の考慮を拂はねばならぬ事。
- (ロ) 職業界の大勢と將來。
- (ハ) 兒童の個性は種々様々で自ら適職不適職の區別のあるものなる事。
- (ニ) 適職選定の條件。選定の方法。
- (ホ) 進學について考慮しなければならぬ事。及び學校系統の概要と之れと將來の職業との關係而して保護者指導の方法は保護者懇話會・家庭訪問・通信指導・成人教育等になる。以下それ等の方法の大體について述べやう。

(一) 保護者懇話會

毎年一回若しくは二回は保護者會が行はれる事になつて居るが、尋六及び高二の保護者會は特別に職業指導打合懇話會の形に於て一回又は二回年度の初めに於て開催するがよい。而して年度始めに於てなす懇話會は主として保護者に職業指導教育をなすのであるから、教師の方から前掲した様な要項によつて講話するのである。出来る限り職業分類表とか學校系統圖とか適職指導の掛圖とか

具體的の教辨物を用意して之を示し以て懇切に講話すべきである。注意を要する事は、保護者の中には専門教育や高等教育をうけた人もあるけれども多くは識見低く智識程度も低き人が多いから大體のはなしは程度をさげる事、實例を多く用意する事、地方の職業事情に即する事即ち農村である場合に商工業等に走りすぎる様な弊があつてはならない。懇話會の時間も土地の事情によるべく或は夜間を選ぶがよい事情の地方では夜間もよい。大體一回二時間前後が適當であり、最後に二三分懇話の時間即ち質疑等を出す時間を置くがよい。

これは職業指導教育のための懇話會であるが、卒業時になつての適職指導のための懇話會は少し時期が後でなければならぬ。高等二年生(尋常六年生は省く事が多い)の第二學期末又は第三學期初頭がよい。この場合は一時に全保護者の出席を求めては都合が悪い。方法が個人別相談となるから二三人宛招集するか、一人宛にするか、或は同様な職業希望を出した者だけを同時に招集するかといふ方法がよい。この時は一人一人につき其の兒童を中心に考へて適職への相談をする。大體本人の希望と家庭の希望とに學校の所見を加へてゆくのである。

(二) 家庭訪問

小學校最高學年に於ける家庭訪問はもう下學年に於ける家庭訪問とは事情が異り、主として卒業

後の方針について相談する事になる。随てこれが職業指導懇話となるものである。年度初め四五月頃に行ふとすれば兒童の將來の方針の大體を聞き置く位の事になる。卒業期を目前に控へては相談の必要の生ずる家から家庭訪問をし打合せなすべきである。

(三) 通信指導

定期的に出して居る校友會誌風のものに毎回兒童の職業指導の必要趣旨を記述して家庭を覺醒せしめ、教導する方法や或はパンフレットにした職業指導に關する記事を以て家庭指導をする方法や或は一枚刷の謄寫刷にするとか多少は手數もかゝり、若干の經費も要するけれども家庭と學校との連絡としても、又家庭指導としても有力なよき施設である。現在の一般教養程度から考へると、文書による指導が總べての家に有効とは考へられないが懇話會の様に多くの時間をかける必要が無いところが長所である。パンフレットや謄寫刷にする場合には矢張り毎學期一回とか年四回とか隔月一回とか稍定期的のものとするがよい。

(四) 成人教育

前説通信指導も亦成人教育の一であるが、こゝにいふのは學校外に於て成人を集めて行ふ講演會講習會の類をいふのである。戸主會・壯年會・主婦會・青年團・青年訓練所・處女會等を一括して而し

てそれ等に於ける教育を一括して成人教育といつて居るのである。これは今も各地に於て行はれて居る事だし、其の方法も内容も千種萬様である。茲には其の機會に於て兒童の職業指導について講話をなし以て父兄保護者に職業指導教育をしやうとするのである。

方法としては部落別に集めるとか、集團別に學校へ集めるとかして一定のプランのもとに一定の時間時期、其の係りか又は學校長が講師となりて講話するものである。

第十四章 職業指導室

職業指導教育に關する一切の設備が一室に收めてある職業指導室が出来るとすればこれに越したことはない。即ち四圍の壁間はこれに關する色々の圖表や統計が掲げてあり、一方の棚には職業に關する參考書及印刷物が陳列してあり、他の一方の棚には特殊性能の検査をする用具一式が備付けられて居り、特別に職業相談をなす机と椅子が並べてあり尙主任の居るべき場所まで出来て居る室がそれである。近時學校の特別室として衛生室の必要が叫ばれ學校看護婦と共に衛生室は漸次設備される様になつたがこの次に必要とするは職業指導室である。

職業指導室としては位置は教員室よりあまり遠くないところで、採光通風の充分に出来る、便利なしかも静かな室がよく其の廣さは相當の面積を必要とする。先づ十六坪以下では狭いと思はれる備付くべきもの

(イ) 參考圖書雜誌の類。

直接間接職業指導に關する參考圖書及び雜誌の類。

(ロ) 參考印刷物パンフレットの類。

他の學校等の研究物パンフレット、職業紹介に關する書類一切。

(ハ) 參考記録類一切。

例へば希望職業調査・卒業生就職者感想文綴・地方の職業分布狀況調査書類等の如きもの一切。

(ニ) 特殊性能検査用具一揃。

前掲性能検査用具のところて述べた様な各種の用具。(山越製又は島津製の如きもの)

(ホ) 身體検査用具一切。

身長計・體重計・座高計・卷尺・握力計・肺活量計・血壓計・色盲検査表等の如きもの一切。

(ヘ) 各種掛圖及統計圖表。

例へば職業分類表・職業分析表・學校系統圖表・學校の職業指導系統圖表・性能と職業との關係をあらわした繪畫・貿易表等の如きもの。

(ト) 其他各種器具。

大机(性能検査に使用するもの)。

机二(主任用及び職業指導用机)椅子若干。

戸棚三(圖書用・記録用・性能検査用具用)。

(チ) 商品又は工藝製品陳列。

職業指導室は同時に職業指導の陳列展覽場に利用するので其の場合各種の商品や工藝製作品等を陳列する設備が出来れば更に結構である。一部にショーウィンドの簡易なものが出来て商業科實習等に利用すれば更に面白く且つ有効である。

其他兒童用丸腰掛二十個位も備付けて置く事が出来ると便利である。これは簡易に多人數へ職業指導の講話をなす場合利用するのである。

利用法

(イ) 性能検査。適職指導に必要な各種性能検査や個人別の一般知能検査をなす場合に利用する。
 (ロ) 身體検査。勿論學校に衛生室があれば其の方でなすのであるが、衛生室の設備なき學校ではこゝで身體検査をなす。特に感覺検査や體力測定等は直接職業指導に關係するのでこゝでなすものである。

(ハ) 職業相談。個人別に引見して希望職業の調査其他をなし、個人的指導をなす場合に利用する。

(ニ) 職業指導講話。大體は普通教室に於てなすのであるが、色々の圖表を必要とするとか、各種

の參考資料を示す場合等の指導講話は特にこの室に於てなす。

(ホ) 父兄との懇話。子弟の職業相談に關して父兄との會談の場所はこゝである。

(ヘ) 職業指導展覽會。小規模の職業指導展覽會をなす場合に利用する。

(ト) 其他職業指導に關する一切、及び研究室を兼ねるものである。

第十五章 職業指導に關する事務と簿書類

(一) 事務

職業指導の事はこゝまでは教育であり、こゝからは事務であると判然區別する事は頗る困難な點がある。職業指導講話は明かに教務と考へられ、職業紹介所との連繫交渉は事務と考へられるが、然らば兒童の希望職業調査は事務か教務か、進學指導は事務か教務か、教師引率の參觀は事務か教務かと一々點檢した場合には全く際限がない。先づ直接兒童相手に其の學級の主任がなす事は主として教務と考へ、それを全校的に統一し整理し處理する事は一切事務と見て如何なるものであらう。即ち希望職業調査にしても兒童に聞き一々カードに記入するまでは學級主任の仕事で教務と見、それを全校纏めて如何なる職業希望が多いかの統計を作成し、以て次の指導や研究の材料とする勞作は事務と見るのである。即ち全校的に一ヶ所にて整理處理する部面は總べて事務と見ていかなものであらうか。而して事務に屬する部面が中々少くない、これが學校に職業指導係主任を必要とする所以である。

而して職業指導の事は對社會の關係が多く複雑であり、又卒業後の事にも關係し、家庭保護者との關係も密である等の事情により其の事務が中々多く、且つ面倒である。これ職業指導係に其のを得なければならぬ所以である。職業指導係の任務適性については次に於て述べる事にする。

(二) 簿書類

職業指導に關係する簿書類は大抵次の如きものである。

(一) 表票様式のもの

(イ) 職業指導豫定表。

年間の月割又は週割の職業指導豫定計畫一覽表。

(ロ) 個性調査票。

職業指導用個性調査票を作成するか或は普通の個性調査票へ職業指導に必要な項目を補ふかする。

(二) 細目の類。

(イ) 職業指導講話細目。

(ロ) 職業講話豫定細目。

- (ハ) 職業參觀豫定細目。
- (ニ) 各教科にある職業指導題材の教授細目。
- (三) 調査の類。
 - (イ) 兒童家庭職業調査。
 - (ロ) 兒童志望職業調査。
 - (ハ) 卒業兒童就職狀況調査。
 - (ニ) 地方職業分類調査。
 - (ホ) 地方職業々態分析調査。
 - (ヘ) 職業研究。
 - (ト) 參考書調及び職業指導室備品調。
- (四) 其他諸帳簿。
 - (イ) 職業指導日記。
 - (ロ) 進學指導諸記錄。
 - (ハ) 職業指導諸記錄。

- (ニ) 職業紹介所との往復文書。
- (ホ) 保護者會記錄。
- (ヘ) 卒業生就職後の感想文綴。
- (ト) 雜纂。

以上は大體理想として備付けるべき簿冊を書いたのであるが何も好んで事務を繁多にする必要はない。簡單に功率的にすべきはいふまでもない。右の中職業指導豫定表・個性調査票・職業指導講話細目・參觀豫定細目・兒童の家庭職業調査・兒童希望職業調査・職業研究・諸記錄等は是非省く事の出來ぬものである。

右簿冊の様式は大抵それ／＼其の項目の下に於て述べた。必ずしも一定の様式たるを必要としない。係主任の立案によればよいであらう。

第十六章 職業指導係

總べて先決問題は人にある。其の人を得ればどんな事業も進展するけれども、その人を得なければよい案もよい計畫も進歩も發展もしない。職業指導の如き新しき施設經營に於て尙更然りて、眞面目な熱心な研究的な適材を得なければ決して其の成績を擧げる事は出来ない。勿論下學年から其の心構へで扱ふのであるから、全校職員職業指導に關する精神を持して、日々の教育に携はらなければならぬけれども、前章にも述べた様に事務的方面も随分多く複雑であるし、對社會の關係も多く又之に伴ふて智能検査だの性能検査だのといった技術に馴れる必要もあり、どうしても職業指導の主任といつたもの、即ち職業指導係を設置する必要があると思はれる。而して其の人数は學校の大き學級數によつて一定する事は出来ないけれども大體左の標準が適當である。

十二學級以下の學校では、一人。又は二人

二十四學級以下の學校で、二人乃至四人。

二十五學級以上となりては三人乃至五人。

係二人以上設置の場合に於ては其の中に主任を決定しておくが便利である事は勿論である。

其の任務

其の任務の主要なるものは、

イ 全校職業指導の一切を統轄し、事務を執る。

ロ 職業指導の諸計畫及實施の實際に當る。

ハ 其の記録一切を司る。

ニ 外部との交渉一切に任ずる。

ホ 職業指導に關する報告一切を司る。

其の保管整理に任ずるものは、

イ 職業指導室の保管整理。

ロ 職業指導に關する記録簿冊一切の保管整理。

即ち職業指導の計畫をなし、實施の實際に當るのであるから、職業指導講話細目を立案したり、職業參觀の豫定案を立てたり、職業參加の計畫をなし、其の參加先きとの交渉をしたり等一切の任務を有し、又兒童の一般智能検査をなし、特殊性能の検査をしたり等も其の任務とするところであ

る。従て個性研究についても相當の識見を持ち職業についても相當の識見を持つて居なければならぬから中々大きな任務があるわけである。どんな人がよいかといふに次の諸條件を備へて居なければならぬ。

其の適性

職業指導主任の備ふべき條件は大體次の如き人物性格なるを要する。

- 一 誠意を持つた高潔な人格者。教育の事すべて不誠實であつてはならぬが、特に對社會的信用を要するし極めてまじめな高潔な人格者でなければならぬ。
- 二 常識に富み且高い識見ある人。人間の個人性と社會の趨向とを洞察し得るの識見のある人でなければならぬ。
- 三 親切で同情心に富んだ人。人の子の事ではない。己れの子の事として考へるだけの深い同情に立つた親切のある人でなければならぬ。
- 四 圓滿な性格で交際のうまい人。多數の社會の人を相手にする仕事であるから社交的の愛嬌のある人たるを要する。
- 五 勞を厭はぬこまめな性格。何事をなしても勞を厭はぬ、よく氣のつく人でありたい。

六 研究心の旺盛な人。新時代と共に生きる人間指導の任務であるから、常に社會の動きや人間個性研究の動きに敏感である研究的の人でありたい。

これ等の外に尙出來れば次の條件が欲しい。

- 七 高等學年受持。これは職業指導その事が高學年に多く關係するが故である。
- 八 相當の年齢に達した人。對社會の信用の點より見て。
- 九 地位のあまり低くない人。右同理由。
- 一〇 相當長く一校に勤續して居る人。地方學校の事情に精通しないと都合が悪い。
- 一一 父兄や一般の人に信用のある人。

右の條件は大分理想に走せた憾があるが少くも職業指導の主任に當る人は出來るだけかゝる條件の人でありたいものである。尙ほ條件の中大切な事は如何なる知識を有すべきか、如何なる技術を有すべきかであるが、それは次に職業指導主任の修養のところ述べる事にする。

其の修養

右述べた様な高潔な人格、高い識見、親切な心持、交際のうまい事、勞を厭はぬ性格、旺盛な研究心等の如き事に對する修養法については茲に述べない事にして、茲では主として職業指導係とし

て心得なければならぬ知識技能についての修養に就て書く事にする。

先づ職業指導の趣旨や意義其の必要・方法等について十二分の理解を持たねばならぬ事はいふまでもない。それが爲めには讀むべき本はもう數十種の著書となつて出て居る。今自分は誰にすゝめでもよき書籍數種宛書き上げて参考にしやう（總べて邦文のもの、著者が見た中でよいと思つたもの隨て著者の見ぬ更に優良のものもあらう）。

淡路圓次郎 職業心理學。

谷口政秀 職業選抜法。

田中寛一、丸山良二 小學校に於ける職業指導。

水野常吉 兒童生徒の個性に適應せる職業指導法。

稻葉幹一、小野磐彦 我子の職業。

尙ほ適性考査の參考書としては

増田幸一 適性考査法要領。

次に兒童研究及び個性調査について充分の知識が無くてはならない。これ等に關しての參考書はあまり多くない、次の二三は是非讀まねばならぬ。

關寛之 兒童學原論。

上野陽一 兒童心理學精義。

久保良英 兒童研究所紀要 一乃至十三。

檜崎淺太郎 個性教育の原理と方法。

守田 保 實際的個性調査法。

淡路圓次郎 材能研究。

武政太郎 個性調査法

特に精神検査や智能測定を知るための參考書は、

上村福幸 智能測定法。

これは主としてターマン (Terman) の本 (Measurement of Intelligence) の邦譯で參考になる。

久保良英 兒童研究所紀要 (一・三・五・六・七・九)

鈴木治太郎 實際的個別的智能測定法。

檜崎淺太郎 一般素質検査法の試み

大伴 茂 教育診斷學。上。

智能査定の個人別の方法(ビネー法)は一種の技術を要するので唯書籍で理窟を知つただけでは充分でない。技術は理窟だけではないからである。實習し實驗して、技に馴れる事を必要とする。更にこれ等の結果を正しくよみ得るためには統計の知識を必要とする。次のものは優良の書籍である。

田中寛一 教育的統計法。

本庄精次 教育測定法講話。

佐藤良一郎 統計法概要。

教育成績の測定をなす方面の優良参考書は、

田中寛一 教育的測定學。

岡部彌太郎 教育的測定。

渡邊平三郎 各科成績考査法。

これ等の外に教育の理論や學習心理一般修養に關するものとして二三を挙げれば、

篠原助市 理論的教育學。

吉田熊治 陶冶と價值。

久保良英 學習心理學。

東京帝大教育教室 教育思潮研究。

廣島文理科大學 精神科學。

宇都宮仙太郎 商工心理學。

菰田萬一郎 實業道德精義。

雜誌では職業指導・教育心理研究・心理學研究・兒童研究・應用心理等の外教育研究・教育論叢等も参考になり、實業修養雜誌としての實業之日本なども優良なものの一である。

これ等の外に宗教・倫理・藝術・政治・經濟等に關しても或る程度の理解を持ち、常に人間らしき修養をして居なければならぬものである。

第十七章 結 論

小學校に於ける職業指導の理論と實際とについて必要と思ふものは大概述べ盡した。事それ自身が大きな問題である上に、小學校として如何に課すべきかに就て研究未了の状態にあるが爲めに論ずる事も多く、施設する事も亦少くない。自然随分大部のものとなつた。しかし大體の理論は極めて明瞭で些の曖昧も無い筈である。唯何事にもあり、何時もある事であるが、古い考へ方になつみ、新研究と新施設とを憶劫に思ふところに其の實際が進展しないのである。

本書は大體二部より成る。第一部は理論之部で第二部は實際之部である。理論之部としては職業指導の思潮的根據と概念と主旨と沿革とについて書いた。實際之部に於ては第七章第八章第九章の三章に於て小學校として成すべき職業指導の方法を詳細に具體的に記述した。就中第七章は小學校の教科内容施設を従來の儘にしてやる方面であり、第八章は特に新しき施設をなすとして如何なすべきかである。而して第九章は所謂適職への指導をなす爲めに必要とする知識と心得について稍詳述した。この章が大きく二つに別けられる。個性研究と職業研究とがこれである。第十章以下即ち

適性考査・進學指導・職業紹介・保護者指導・職業指導室・職業指導の事務と簿冊・職業指導係のことはまづ附録の性質があり、餘論の性質があり、つけ足しである。本書の中核は何といつても七・八・九章である。だから頁數に於て全卷の四分の三はこの三章にとつて居る。かくて本書著述の動機目的をも達し、本書を小學校の實際教育界へ送る趣旨にも叶ふものだと思つて居る。

最後に職業指導上特に考慮しなければならぬ若干の問題を述べて本書の結論として終末づけやう。

第一に考慮しなければならぬ事は、一般に職業に對する考へ方が實利的經濟的になり、偏狹な利己的個人主義となるために、職業指導の理想が低くなり易い事に對する猛省である。職業とは個人及び家族の生活のためのもの、金錢儲けにやるものだと考へる考へ方より來る無理想沒價値の考へ方がある。勿論職業には生活のためといふ要素がある事を認めなければならぬけれども、更に大切な問題は人間が人間としての理想實現のための活動だと考へる事と、社會生活の一部面の擔當をなすための活動だと考へる事との必要である。職業は社會共同團體が理想への無限の發展をなす爲めに各人が擔當する使命の遂行である。この思想は職業指導をなす場合常に教師の念頭にあり、極めて明瞭な信念として打ち込まねばならぬ。そうでないと職業指導教育が墮落したものとなり、學校教

育へとり入れる事は出来ないものとなる。公民教育の狙ひ所も亦こゝにあると思ふ。木村實業學務局長曰く『公民科の中心思想は我が國家社會を完成する爲めに各人をして之に寄與貢獻せしめんが爲の教育的努力である』と。而して職業も亦國家社會をより完全により幸福にせんが爲めの各人の負擔である。つまりは國家意識社會意識の擴充に其の出發がなければならぬ。

第二に考慮しなければならぬ事は適職指導が唯兒童の現在のあるがまゝの心理的生理的環境的事情のみに立脚して行はれてはならぬといふ事である。其の不足を補ひてなやみつゝも努力するところに向上の人生が展開するのである。即ちザインに基くのみではならぬ。ゾルレンの問題として考へるべきだといふ事である。倉敷勞働科學研究所の桐原文學士曰く『前者は實驗的心理學的職業指導で後者は理想的倫理的職業指導であります。即ち人間を一種又は一の自然物と見て、其の技能によりて最も能率多き方に向けようとする實用主義が前者であります。これでは決して完全な職業指導ではないと思ひます。…職業は個人的人格完成の方法でなければならぬ。自己實現の道場でなければならぬ。人をして其の人格完成への最も良き道程を指示してやることでなければならぬ。…私はこれを人格的職業指導と名ける。この點に於て私は現下一般の職業意識を嫌らす思ひます。…職業が人格完成の道場であり、仕事がその道程であつて初めて眞の文化は進んで行く。こゝに

於て職業指導は教育のクライマックスであります』と。

以上考慮第一は職業の社會化であり、第二は職業の人格化である。共に職業の道德化であるが、今一つ職業指導教育をあまり下學年より成す爲めに兒童が早くより現實の人生に關心し過ぎ、ために幼年期少年期の幻想に満ちた空想に満ちた、美しい童心を傷けてはならぬといふ事である。子供は子供の生活をさせなければならぬ。幼少年から老人臭い人間となる事は好まじき事ではない。著者思ふに近來どうも子供の野心が小さくなつたのではなからうか。昔は少年青年の心は天空を走り大臣大將を夢みて居た者が近時の子供は小さいものに捕へられて居る様に思はれる。下手な職業指導をあまり早くより濃厚にやるとかうした弊害を生じまいものでもない。こゝ等にも亦留意すべき部面があらう。

(終)